



Microsoft®

SharePoint® Server 2010

SharePoint Server 2010

バックアップ・リストア ガイド

著作権

このドキュメントに記載されている情報（URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む）は、将来予告なしに変更することがあります。別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のもので、実在する名称とは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用をお願いします。マイクロソフトは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

2011 Microsoft Corporation. All rights reserved.

SharePoint、System Center、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。記載されている会社名、製品名には、各社の商標のものもあります。

Contents

はじめに.....	4
変更履歴.....	5
前提環境について.....	6
第 1 章 SharePoint 2010 バックアップ・リストア概要.....	7
1.1 SharePoint Server 2010 バックアップ・リストアの機能.....	8
1.2 SharePoint Server 2010 バックアップ・リストアに必要な権限.....	10
第 2 章 SharePoint 2010 標準機能を利用した バックアップ・リストア.....	12
2.1 SharePoint Server 2010 標準機能を利用したバックアップ.....	13
2.1.1 SharePoint ファームのバックアップ.....	14
2.1.2 Web アプリケーションのバックアップ.....	19
2.1.3 コンテンツデータベースのバックアップ.....	21
2.1.4 User Profile Service のバックアップ.....	23
2.1.5 Search Service のバックアップ.....	26
2.1.6 Secure Store Service のバックアップ.....	28
2.1.7 その他サービスアプリケーションのバックアップ.....	30
2.2 SharePoint Server 2010 標準機能を利用したリストア.....	32
2.2.1 SharePoint ファームのリストア.....	33
2.2.2 Web アプリケーションのリストア.....	39
2.2.3 コンテンツデータベースのリストア.....	41
2.2.4 User Profile Service のリストア.....	43
2.2.5 Search Service のリストア.....	45
2.2.6 Secure Store Service のリストア.....	47
2.2.7 その他サービスアプリケーションのリストア.....	49
第 3 章 System Center Data Protection Manager 2010 を利用したバックアップ・リストア.....	51
3.1 System Center Data Protection Manager 2010 の導入.....	52
3.1.1 System Center Data Protection Manager 2010 サーバーのインストール.....	53
3.1.2 System Center Data Protection Manager エージェントのインストール.....	58
3.1.3 System Center Data Protection Manager への接続.....	59
3.1.4 SharePoint 実行サーバーの登録.....	64
3.2 System Center Data Protection Manager 2010 を利用したバックアップ.....	65
3.3 System Center Data Protection Manager 2010 を利用したリストア.....	74
3.3.1 コンテンツデータベースのリストア.....	76
3.3.2 コンテンツのリストア.....	80
第 4 章 カスタムソリューションのバックアップ・リストア.....	87
4.1 カスタムソリューションの形式と展開方式.....	88
4.2 ファームソリューションのバックアップ・リストア.....	89

4.3 サンドボックスソリューションのバックアップ・リストア	92
Appendix 98	
Appendix1. PowerShell バックアップスクリプトのタスク登録	99
Appendix2. 接続されていないコンテンツデータベースの復元	102
Appendix3. 障害によりクエリコンポーネントが認識されなくなった際の復元手順	105

はじめに

Microsoft SharePoint Server 2010（以下、SharePoint 2010）では標準機能としてバックアップ・リストア機能が提供されています。

本書は、SharePoint 2010における、バックアップ・リストアの方法、および手順について記載した自習書です。また、本書では SharePoint 標準機能を利用したバックアップ・リストアに加え、System Center Data Protection Manager 2010（以下、SCDPM 2010）を利用したバックアップ・リストアについても対象とします。

変更履歴

バージョン	リリース時期	変更内容
Version 1.0	2011年6月	初版リリース

前提環境について

評価用の Active Directory 環境と SharePoint サーバーが既にあることを前提環境とします。
本自習書を記述する際に使用した前提環境は下記の通りです。



•Active Directory

サーバーOS : Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64)

サーバー名 : SPS2010Farm-AD

サーバーの役割 : AD DS、DNS

ドメイン名 : Contoso.com

ドメイン機能レベル : Windows Server 2003 ネイティブ

•SharePoint Server 2010

サーバーOS : Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64)

サーバー名 : SPS2010Farm-SPS

SharePoint Server : SharePoint Server 2010 Enterprise

更新プログラム : 2011年2月の累積的な更新プログラム パッケージ 適用

- 2011年2月の累積的な更新プログラムに関しては以下のホームページを参照してください。

<http://support.microsoft.com/kb/2475878/ja>

•SQL Server 2008 R2

サーバーOS : Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64)

サーバー名 : SPS2010Farm-SQL

SQL Server : SQL Server 2008 R2 Enterprise

また、以下のユーザーアカウントを作成しています。

- contoso¥Administrator : DomainAdmins
- contoso¥spadmin : SharePoint 2010 のシステムアカウント
- contoso¥sqladmin : SQL Server のシステムアカウント

第1章 SharePoint 2010 バックアップ・リストア概要

1.1 SharePoint Server 2010 バックアップ・リストアの機能

本書では、SharePoint 2010 標準機能および SCDPM2010 を利用したバックアップについて記載しています。それぞれ、以下のような特徴があります。

- SharePoint2010 標準機能によるバックアップ・リストア
 - GUI（サーバーの全体サイト管理サイト）またはコマンド（PowerShell）を利用可能
 - フルバックアップと差分バックアップが可能



- SCDPM2010 によるバックアップ・リストア
 - GUI による操作が可能
 - 最大 512 個の回復ポイントを保持し、最短 30 分ごとの保護が可能
 - データベース、サイト、リスト、ファイル単位の回復が可能
 - ディスクとテープの両方をサポート



また、SharePoint2010 標準機能と SCDPM2010 では、バックアップ・リストアが可能な単位が異なります。以下にバックアップ・リストア可能な範囲を記載します。詳細については、次の URL を参照してください。

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc261687.aspx>

	SharePoint 2010 標準機能	SCDPM 2010
ファーム	○	△ (※)
Search Service および その他のサービスアプリケーション	○	
Web アプリケーション	○	
コンテンツ DB	○	○
サイトコレクション	○	○
サイト	○	○
ライブラリ・リスト	○	○
ドキュメント・リストアイテム		○
リモート BLOB ストアに格納されたコンテンツ	○	○
ソリューション パッケージとして展開されたカスタマイズ	○	○
サーバーの全体管理または API を使用して Web.config に加えられた変更	○	○
構成設定 (SharePoint)	○	○
ソリューション パッケージとして展開されていないカスタマイズ		○
サーバーの全体管理または API を使用せずに Web.config に加えられた変更		○
SharePoint で設定されていない IIS 構成		○
SQL Server Reporting Services データベース		○

(※) SCDPM 2010 のデータ保護機能だけでは、ファーム全体を復旧することは出来ません。サービスアプリケーションを復旧する際は、SharePoint 2010 の標準機能のバックアップ・リストア機能を用いるか、サービスアプリケーションの再構成を行う必要があります。

SQL Server 単独によるバックアップはこの文書の対象外ですが、SQL Server 管理者の力を借りてバックアップと復元を行うこともできます。

1.2 SharePoint Server 2010 バックアップ・リストアに必要な権限

SharePoint 2010 のバックアップ・復元を行う前に、適切な権限を割り当てる必要があります。ここでは、バックアップ・リストア操作に必要な権限について記載します。

- SPTimerV4 Timer Service と SQL Server アカウントの権限
 - バックアップ フォルダーに対するフル コントロール権限

SharePoint Server 2010 の Windows SharePoint Services Timer V4 (SPTimerV4) および SQL Server サービス アカウントは、ユーザーに代わってバックアップと復元の操作を実行します。これらのサービス アカウントは、すべてのバックアップ フォルダーに対するフル コントロールの権限を必要とします。

- Windows PowerShell でバックアップ・リストアを実行するユーザーアカウントの権限
 - データベースの SharePoint_Shell_Access ロール
 - バックアップ対象ごとに必要なグループ メンバーシップは次の表の通り

ファーム コンポーネント	ローカル コンピューターの Administrators グループ	Farm Administrators SharePoint グループ	バックアップ フォルダーに対するフル コントロール
ファーム	要	不要	要
サービス アプリケーション	要	不要	要
コンテンツ データベース	要	不要	要
サイト コレクション	不要	要	要
サイト、リスト、ドキュメント ライブラリ	要	不要	要

- サーバーの全体管理でバックアップ・リストアを実行するユーザーアカウントの権限
 - バックアップ対象ごとに必要なグループ メンバーシップは次の表の通り

ファーム コンポーネント	ローカル コンピューターの Administrators グループ	Farm Administrators SharePoint グループ
ファーム	要	不要
サービス アプリケーション	要	不要
コンテンツ データベース	要	不要
サイト コレクション	不要	要
サイト、リスト、ドキュメント ライブラリ	不要	要

本書で示される手順では、以下の権限を持ったアカウントを利用しています。

- SharePoint2010 標準機能を利用したバックアップ・リストア
 (「サーバーの全体管理サイト」、[Windows PowerShell] とともに、以下の権限を持ったアカウントを利用しています。)
 - アカウント名 : contoso¥spadmin
 - 権限 :
 - SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
 - SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

- SCDPM2010 を利用したバックアップ・リストア
 - アカウント名 : contoso¥dpmadmin
 - 権限 :
 - SCDPM サーバーのローカル Administrators グループのメンバー

第2章 SharePoint 2010 標準機能を利用した バックアップ・リストア

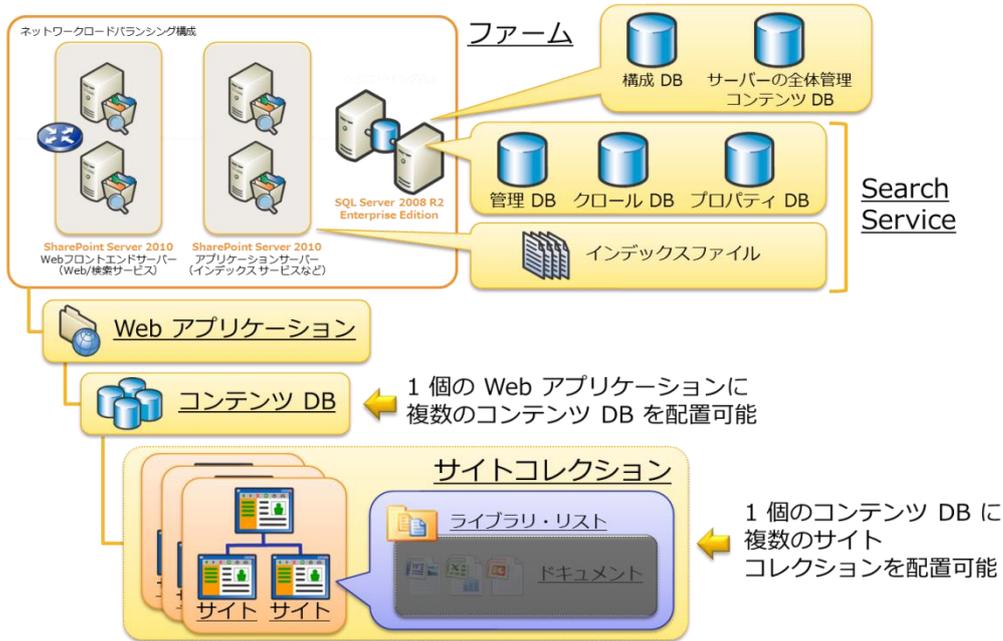
2.1 SharePoint Server 2010 標準機能を利用したバックアップ

SharePoint2010 標準機能では、以下の方法でバックアップ・リストアを行うことが可能です。

- Windows PowerShell : コマンド
- サーバーの全体管理 : GUI

これらの手法でフルバックアップまたは差分バックアップを取得することが可能ですが、定期的に行うようなタスク処理には対応していません。タスクとして定期的に行いたい場合は、PowerShell で作成したコマンドを、タスクスケジューラ等に組み込む必要があります。この方法については、「Appendix2」を参考にしてください。

SharePoint2010 の標準機能では、以下に示される単位でバックアップ・リストアを行うことが可能です。



本章では、SharePoint2010 標準機能である、サーバーの全体管理 (GUI) と Windows PowerShell (コマンド) を利用したバックアップ方法について記載します。

ここでは、事前に SharePoint サーバー上に共有フォルダー“spbackup”を作成しておき、そこにバックアップデータを保存します。



2.1.1 SharePoint ファームのバックアップ

SharePoint 標準機能を利用したバックアップは、サーバーの全体管理（GUI）と Windows PowerShell（コマンド）の 2 種類の方法が提供されています。ここでは、サーバーの全体管理と Windows PowerShell 両方の手順について記載します。

- サーバーの全体管理サイト（GUI）からバックアップを実行する

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. サーバーの全体管理サイト上で、[バックアップと復元] を選択します。



2. [バックアップの実行] をクリックします。



3. [バックアップするコンポーネントの選択] 画面で、[ファーム] を選択します。

選択	コンポーネント	種類	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	☐ ファーム	ファーム	サーバー ファーム全体用のコンテンツおよび構成データです。サーバー ファーム全体に対する構成データです。
	SharePoint_Config	Configuration Database	サーバー ファーム用のコンテンツと設定です。
<input checked="" type="checkbox"/>	☐ InfoPath Forms Services	サーバーの設定とコンテンツ	管理者承認済みのサーバー ファーム用のコンテンツと設定です。
<input checked="" type="checkbox"/>	設定	設定	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	データ接続	データ接続	管理者承認済みのデータ接続ファイルです。
<input checked="" type="checkbox"/>	フォーム テンプレート	フォーム テンプレート	管理者承認済みのフォーム テンプレートです。
<input checked="" type="checkbox"/>	☐ 適用除外ユーザー エージェント	適用除外ユーザー エージェント	Web ページに代わって InfoPath フォームを受信する、ユーザー エージェントのコレクションです。
<input checked="" type="checkbox"/>	☐ SharePoint Server State Service	State Service	SharePoint Server のさまざまな機能で使用される、一時的な状態情報の保管場所を提供するサービスです。
	State Service	State Service アプリケーション	
<input checked="" type="checkbox"/>	☐ Microsoft SharePoint Foundation Web Application	Microsoft SharePoint Foundation Web Application	Web アプリケーションのコレクションです。
<input checked="" type="checkbox"/>	SharePoint - 1000	Web アプリケーション	この Web アプリケーションのコンテンツおよび構成データです。

すべてのコンポーネントが選択されていることを確認し、画面下部の [次へ] をクリックします。

4. [バックアップの種類] [構成設定のみのバックアップ] [バックアップファイルの場所] を設定します。

ここでは、以下のように設定します。

- [バックアップの種類] : [完全]
- [構成設定のみのバックアップ] : [コンテンツと構成設定をバックアップ]
- [バックアップファイルの場所] : 「[¥¥SP2010FARM-SPS¥spbackup¥FarmGUI](#)」

※ [構成設定のみのバックアップ]オプションについて

[構成設定のみのバックアップ]オプションは、以下の2つから選択します。

- コンテンツと構成設定をバックアップ
- 構成設定のみをバックアップ

[構成設定のみをバックアップ]は、SharePoint ファームの構成情報のみをバックアップします。Web アプリケーション・コンテンツ・サービスアプリケーションなどはバックアップ対象に含まれません。

サイトの操作 -  システム アカウント -

サーバーの全体管理
アプリケーション構成の管理
システム設定
監視
バックアップと復元
セキュリティ
アップグレードと移行
アプリケーションの全般設定
構成ウィザード

準備

- 進行中のバックアップ処理または復元処理はありません。バックアップと復元のジョブ状態
- タイマー サービスが実行中です。
- 管理サービスが実行中です。

コンポーネントのバックアップ

これは、バックアップ対象として選択したトップ レベルのアイテムです。

バックアップするコンポーネント:
ファーム ▼

バックアップの種類

開始するバックアップの種類を指定してください。

完全: 選択したコンテンツをすべての履歴と共に完全にバックアップします。
差分: 選択したコンテンツの、前回の完全バックアップ以降に変更された部分をすべてバックアップします。

バックアップの種類

- 完全
- 差分

構成設定のみのバックアップ

このファームのコンテンツはバックアップせず、構成設定のみをバックアップするかどうかを指定します。この機能は、別のファームに構成設定のみを復元する場合に選択してください。既定では、構成設定とコンテンツが共にバックアップされます。

バックアップするデータ

- コンテンツと構成設定をバックアップ
- 構成設定のみをバックアップ

バックアップ ファイルの場所

各バックアップ ジョブは、指定した場所にあるフォルダーに個別に保存されます。各オブジェクトは、そのフォルダーに保存されているファイルに個別にバックアップされます。
[バックアップの場所に関する詳細](#)

バックアップの場所:

`%1010FARM-SPS%spbackup%FarmGUI`
例: `%backup%SharePoint`

推定必要ディスク領域: 797.90 MB

前へ バックアップの開始 キャンセル

設定内容を確認し、[バックアップの開始] をクリックします。

5. バックアップ処理が進行します。

6. バックアップが完了したことを確認します。

サイトの操作 -  システム アカウント -

Microsoft SharePoint 2010 サーバーの全体管理 > バックアップと復元のジョブ状態
このページを使用して、バックアップおよび復元のジョブ状態を表示します。

お気に入り タグとメモ

サーバーの全体管理
アプリケーション構成の管理
システム設定
監視
バックアップと復元
セキュリティ
アップグレードと移行
アプリケーションの全般設定
構成ウィザード

準備

- 進行中のバックアップ処理または復元処理はありません。
- タイマー サービスが実行中です。
- 管理サービスが実行中です。

 更新  履歴の表示

バックアップ

担当者	CONTOSO%spadmin
フェーズ	完了
開始時刻	2011/05/24 20:13
完了時刻	2011/05/24 20:29
トップ コンポーネント	ファーム
バックアップ ID	eb615da4-e7b7-4157-8f63-3d297f13e699
ディレクトリ	%SP2010FARM-SPS%spbackup%FarmGUI%spbr0000%
バックアップ方法	完全
バックアップ スレッド	3
警告数	0
エラー	0

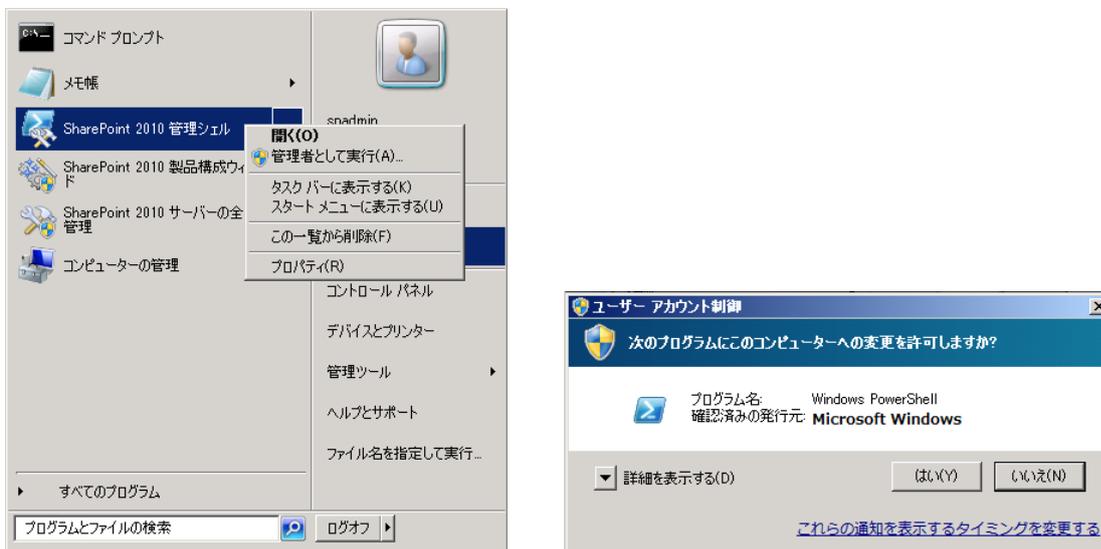
名前	進行状況	最終変更日時	エラー	メッセージ
ファーム	完了	2011/05/24 20:22		
SharePoint Config	完了	2011/05/24 20:14		

● Windows PowerShell (コマンド) からバックアップを実行する

ここでは、以下のアカウントを使用します。

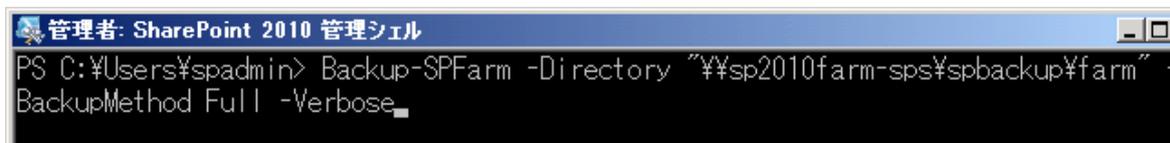
- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Backup-SPFarm -Directory <BackupFolder> -BackupMethod {Full | Differential} [-Verbose]
```



3. バックアップが正常に完了したことを確認します。

```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e4515957
bb4da0c9de094]¥
    [クロール-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb1
9ff35b5f2834df70]¥
    [インデックスのパーティション 0]¥
        [クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
共有サービス プロキシ¥
    Business Data Connectivity Service¥
    Word Automation Services¥
    Managed Metadata Service¥
    PerformancePoint Service Application¥
    Secure Store Service¥
    Search Service Application¥
    Web Analytics Service アプリケーション¥
    User Profile Service アプリケーション¥
    Visio Graphics Service¥

終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
バックアップが正常に完了しました。
-----
詳細: Backup-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Backup-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:\Users\spadmin>
```

サーバーの全体管理を利用したバックアップは、必要に応じて即時にバックアップを行いたい場合に使用することができます。

定期的にバックアップを実行したい場合、バックアップ用の PowerShell コマンドレットをスクリプトに記述し、タスクスケジューラで定期的に行うことで対応できます。

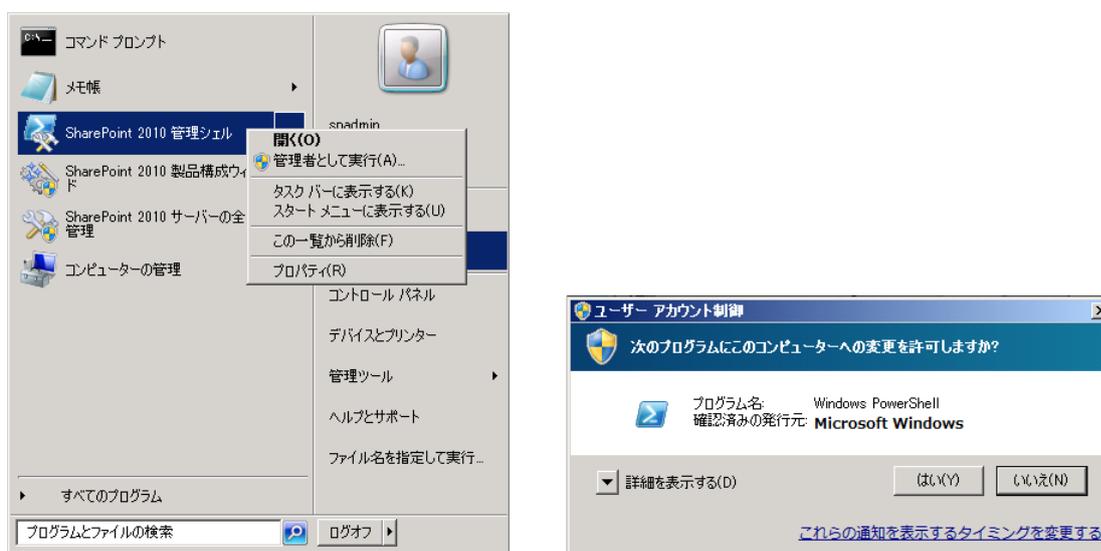
これから後の手順は、PowerShell のコマンドレットでバックアップを実行する手順のみ記載します。

2.1.2 Web アプリケーションのバックアップ

ここでは、以下のアカウントを使用します。

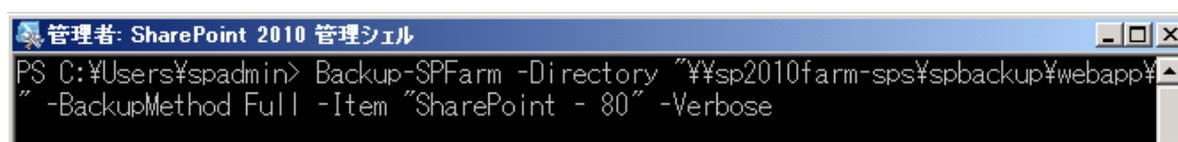
- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Backup-SPFarm -Directory <BackupFolder> -BackupMethod {Full | Differential} -Item  
<WebApplicationName> [-Verbose]
```



3. バックアップが正常に完了したことを確認します。

```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
*[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e4515957bb4da0c9de094]¥
    *[クローラー-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
    *[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb19ff35b5f2834df70]¥
        *[インデックスのパーティション 0]¥
            *[クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
    *Business Data Connectivity Service¥
    *Word Automation Services¥
    *Managed Metadata Service¥
    *PerformancePoint Service Application¥
    *Secure Store Service¥
    *Search Service Application¥
    *Web Analytics Service アプリケーション¥
    *User Profile Service アプリケーション¥
    *Visio Graphics Service¥

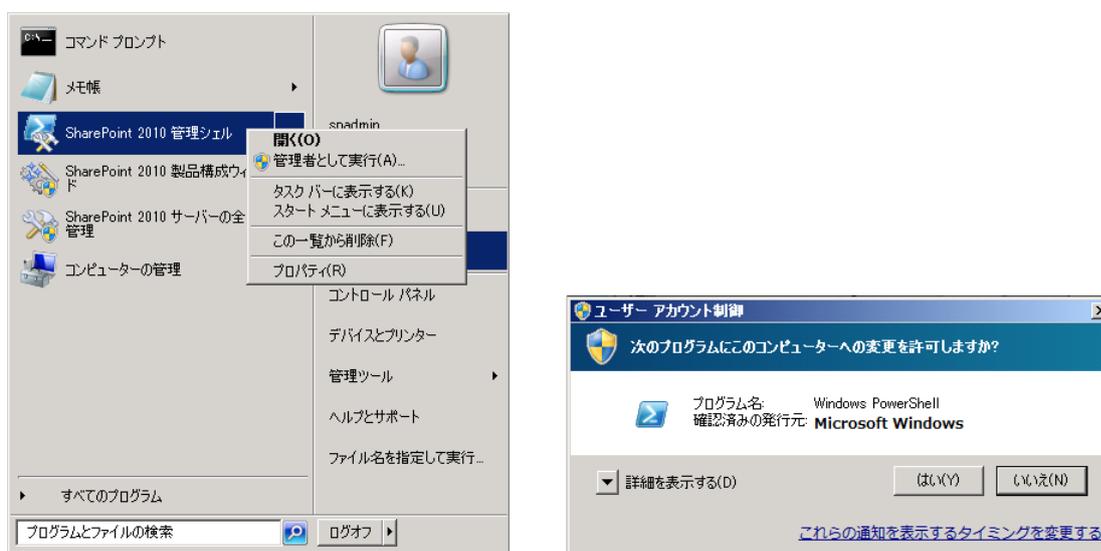
終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
バックアップが正常に完了しました。
-----
詳細: Backup-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Backup-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:\Users\spadmin>
```

2.1.3 コンテンツデータベースのバックアップ

ここでは、以下のアカウントを使用します。

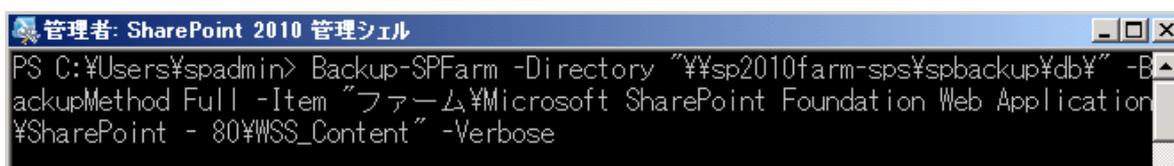
- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Backup-SPFarm -Directory <Backup folder> -BackupMethod {Full | Differential} -Item <Content database name> [-Verbose]
```



3. バックアップが正常に完了したことを確認します。

```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
*[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e4515957bb4da0c9de094]¥
    *[クローラー-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
    *[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb19ff35b5f2834df70]¥
        *[インデックスのパーティション 0]¥
            *[クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
    *Business Data Connectivity Service¥
    *Word Automation Services¥
    *Managed Metadata Service¥
    *PerformancePoint Service Application¥
    *Secure Store Service¥
    *Search Service Application¥
    *Web Analytics Service アプリケーション¥
    *User Profile Service アプリケーション¥
    *Visio Graphics Service¥

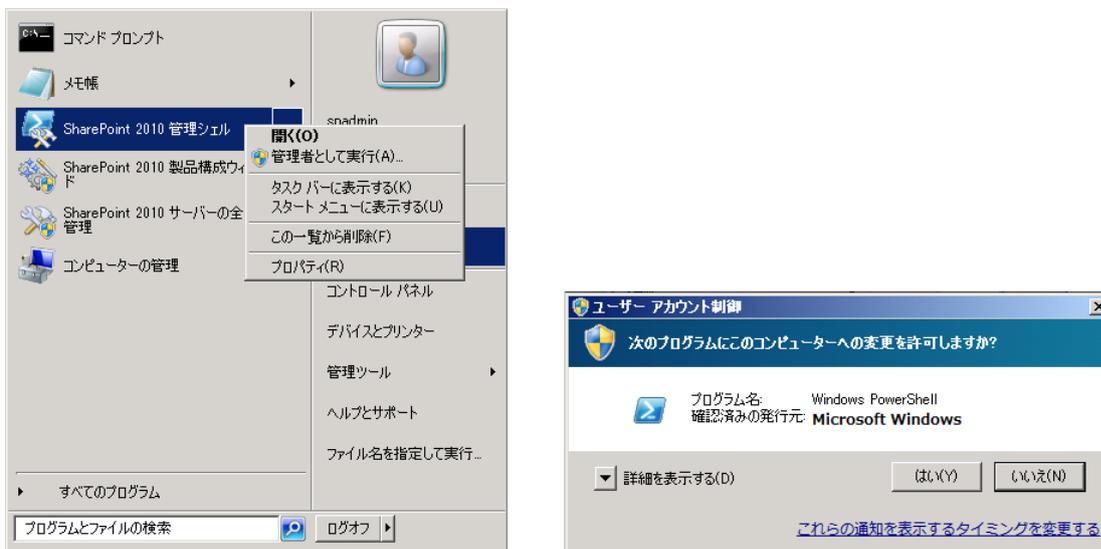
終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
バックアップが正常に完了しました。
-----
詳細: Backup-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Backup-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:\Users\spadmin>
```

2.1.4 User Profile Service のバックアップ

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。

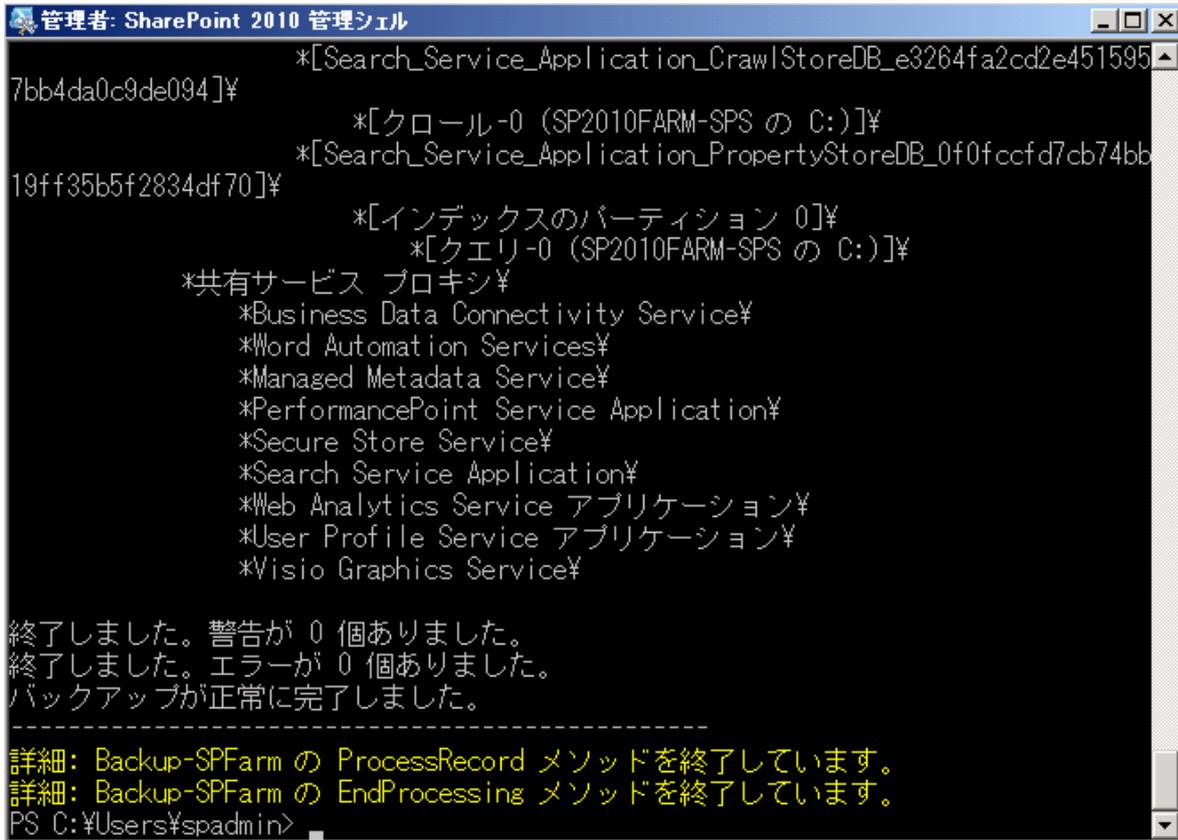


2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Backup-SPFarm -Directory <BackupFolder> -BackupMethod Full -Item Shared Services¥Shared  
Service Applications¥<ServiceApplicationName> [-Verbose]
```



3. バックアップが正常に完了したことを確認します。



```
管理: SharePoint 2010 管理シェル
*[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e4515957bb4da0c9de094]¥
    *[クローラー-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
    *[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb19ff35b5f2834df70]¥
        *[インデックスのパーティション 0]¥
            *[クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
    *Business Data Connectivity Service¥
    *Word Automation Services¥
    *Managed Metadata Service¥
    *PerformancePoint Service Application¥
    *Secure Store Service¥
    *Search Service Application¥
    *Web Analytics Service アプリケーション¥
    *User Profile Service アプリケーション¥
    *Visio Graphics Service¥

終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
バックアップが正常に完了しました。
-----
詳細: Backup-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Backup-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:¥Users¥spadmin>
```

4. サービスアプリケーションプロキシをバックアップするため、Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Backup-SPFarm -Directory <BackupFolder> -BackupMethod Full -Item Shared Services¥Shared
Service Proxies¥<ServiceApplicationProxyName> [-Verbose]
```



```
管理: SharePoint 2010 管理シェル
PS C:¥Users¥spadmin> Backup-SPFarm -Directory "¥¥sp2010farm-sps¥spbackup¥userprofile¥" -BackupMethod Full -Item "ファーム¥共有サービス¥共有サービス アプリケーション¥User Profile Service アプリケーション" -Verbose
```

5. サービスアプリケーションプロキシのバックアップが正常に完了したことを確認します。

```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
7bb4da0c9de094]¥
    *[/クローラ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
    *[/Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb
19ff35b5f2834df70]¥
    *[/インデックスのパーティション 0]¥
    *[/クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
  *Business Data Connectivity Service¥
  *Word Automation Services¥
  *Managed Metadata Service¥
  *PerformancePoint Service Application¥
  *Secure Store Service¥
  *Search Service Application¥
  *Web Analytics Service アプリケーション¥
  *User Profile Service アプリケーション¥
  *Visio Graphics Service¥

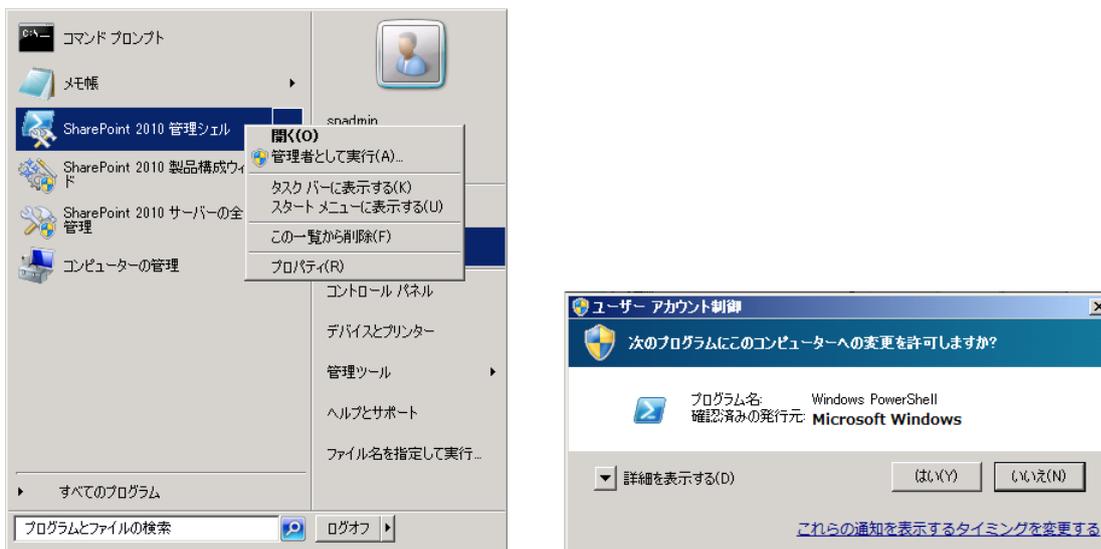
終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
バックアップが正常に完了しました。
-----
詳細: Backup-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Backup-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:\Users\spadmin>
```

2.1.5 Search Service のバックアップ

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Backup-SPFarm -Directory <Backup folder> -BackupMethod {Full | Differential} -Item <Search service application name> [-Verbose]
```



3. バックアップが正常に完了したことを確認します。



```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e4515957
bb4da0c9de094]¥
      [クローラー-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb1
9ff35b5f2834df70]¥
      [インデックスのパーティション 0]¥
      [クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
  *Business Data Connectivity Service¥
  *Word Automation Services¥
  *Managed Metadata Service¥
  *PerformancePoint Service Application¥
  *Secure Store Service¥
  *Search Service Application¥
  *Web Analytics Service アプリケーション¥
  *User Profile Service アプリケーション¥
  *Visio Graphics Service¥

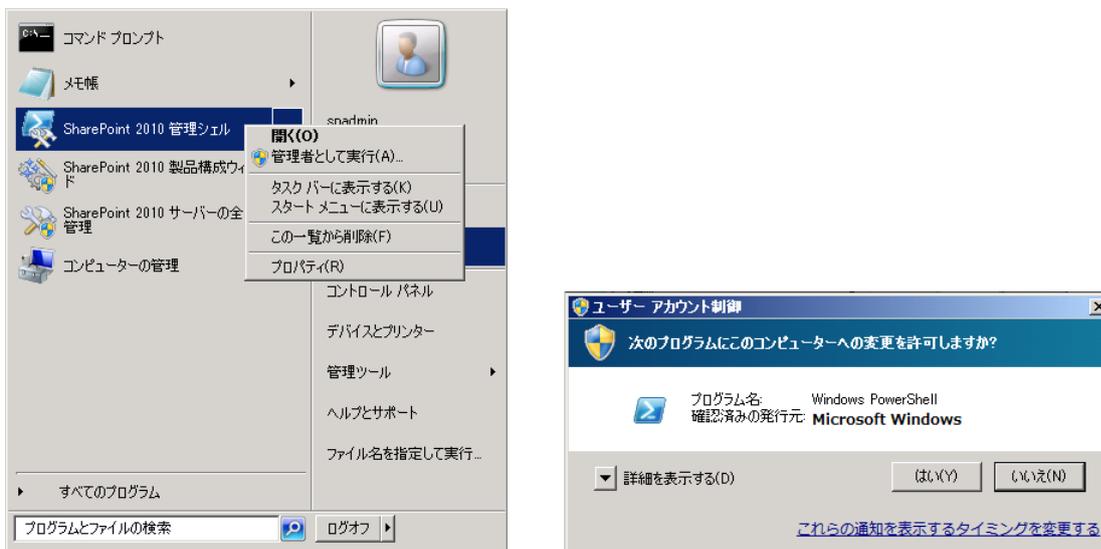
終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
バックアップが正常に完了しました。
-----
詳細: Backup-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Backup-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:¥Users¥spadmin>
```

2.1.6 Secure Store Service のバックアップ

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。

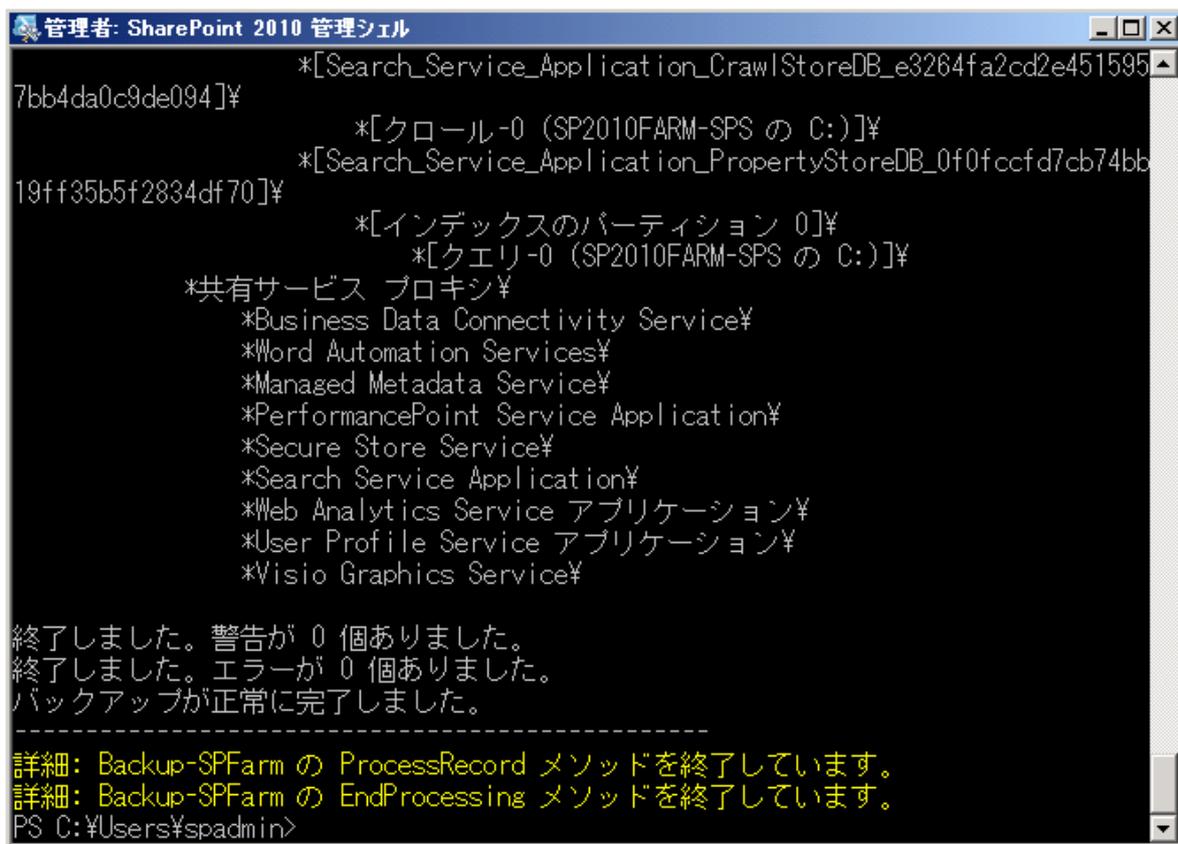


2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Backup-SPFarm -Directory <Backup folder> -BackupMethod {Full | Differential} -Item <Secure Store Service> [-Verbose]
```



3. バックアップが正常に完了したことを確認します。



```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
*[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e4515957bb4da0c9de094]¥
  *[クローラー-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
  *[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb19ff35b5f2834df70]¥
    *[インデックスのパーティション 0]¥
    *[クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
  *Business Data Connectivity Service¥
  *Word Automation Services¥
  *Managed Metadata Service¥
  *PerformancePoint Service Application¥
  *Secure Store Service¥
  *Search Service Application¥
  *Web Analytics Service アプリケーション¥
  *User Profile Service アプリケーション¥
  *Visio Graphics Service¥

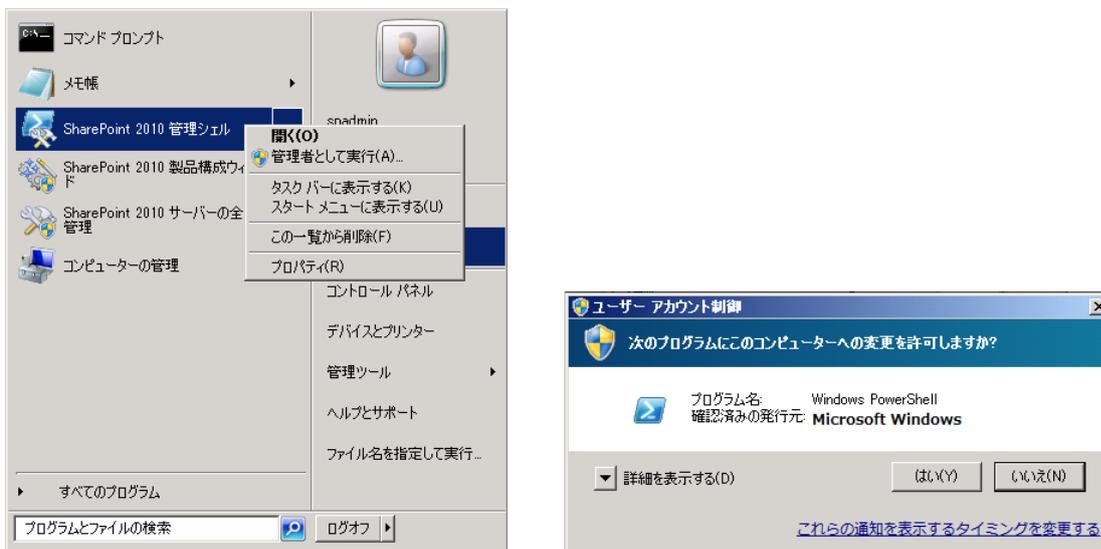
終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
バックアップが正常に完了しました。
-----
詳細: Backup-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Backup-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:\Users\spadmin>
```

2.1.7 その他サービスアプリケーションのバックアップ

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。

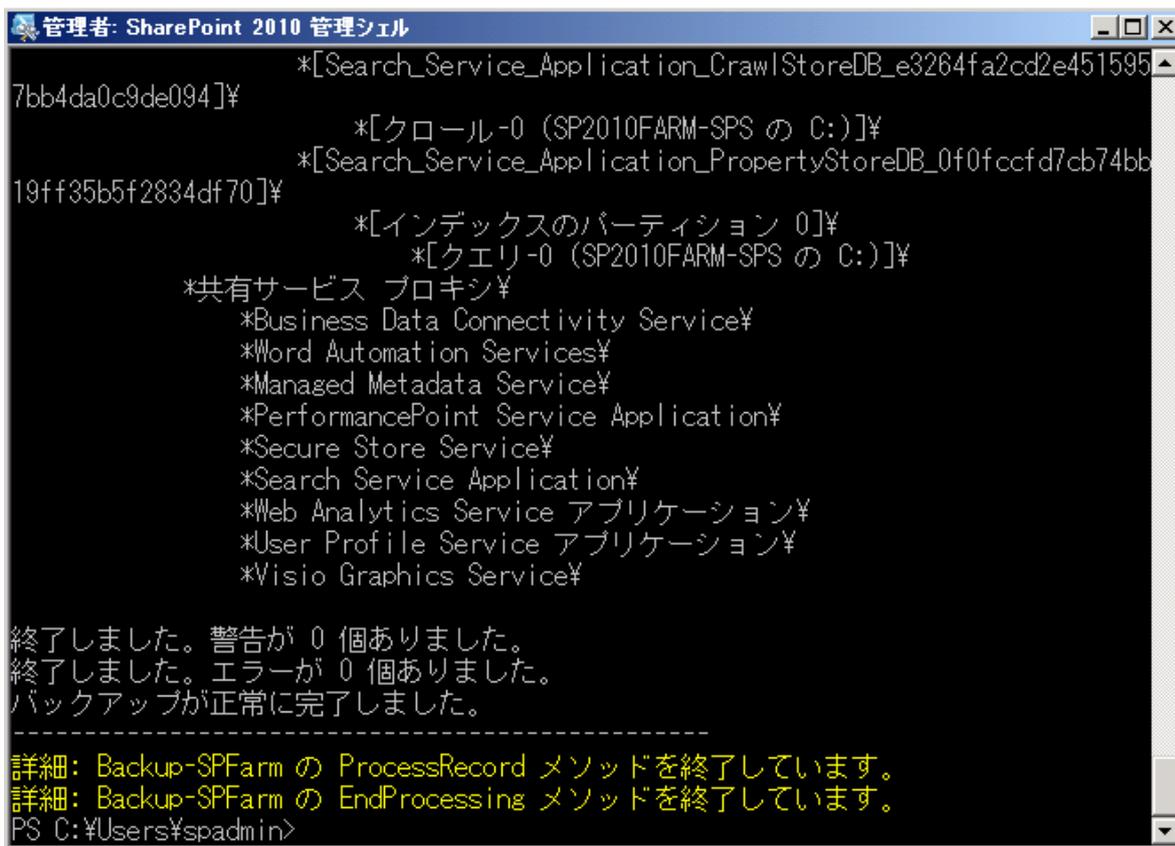


2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Backup-SPFarm -Directory <BackupFolder> -BackupMethod {Full | Differential} -Item  
<ServiceApplicationName> [-Verbose]
```



3. バックアップが正常に完了したことを確認します。



```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
*[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e451595
7bb4da0c9de094]¥
    *[クローラー-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
    *[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb
19ff35b5f2834df70]¥
        *[インデックスのパーティション 0]¥
        *[クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
    *Business Data Connectivity Service¥
    *Word Automation Services¥
    *Managed Metadata Service¥
    *PerformancePoint Service Application¥
    *Secure Store Service¥
    *Search Service Application¥
    *Web Analytics Service アプリケーション¥
    *User Profile Service アプリケーション¥
    *Visio Graphics Service¥

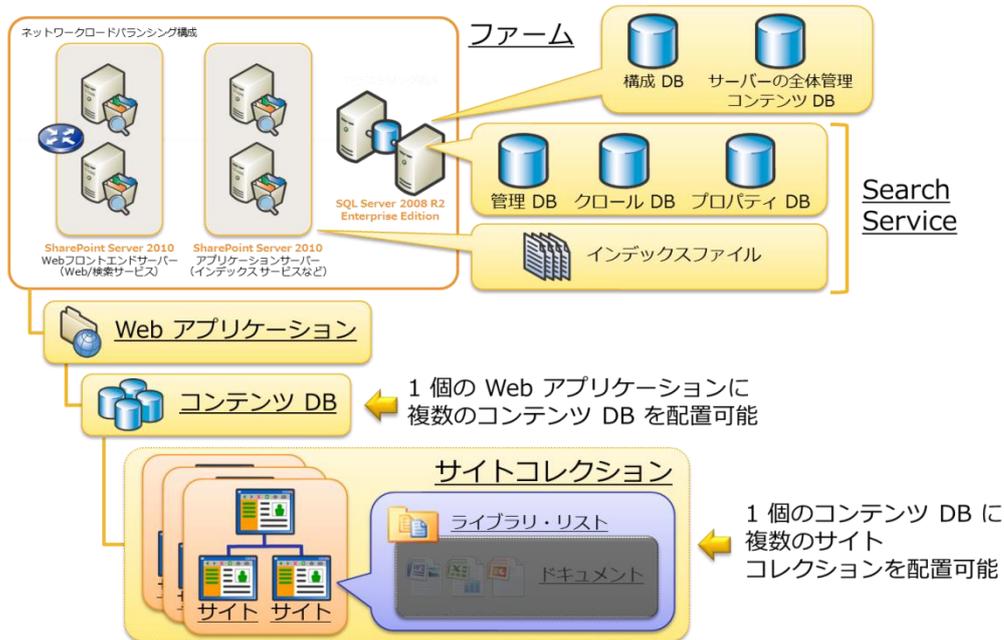
終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
バックアップが正常に完了しました。
-----
詳細: Backup-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Backup-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:¥Users¥spadmin>
```

2.2 SharePoint Server 2010 標準機能を利用したリストア

SharePoint2010 標準機能では、以下の方法でバックアップ・リストアを行うことが可能です。

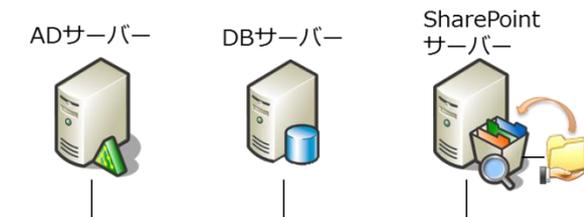
- Windows PowerShell : コマンド
- サーバーの全体管理 : GUI

SharePoint2010 の標準機能では、以下に示される単位でバックアップ・リストアを行うことが可能です。
SharePoint2010 標準機能では、ライブラリ内のアイテムやリストアイテム単位でのリストアには対応していません。これらのリストアが必要な場合、「第 3 章」に記載している SCDPM2010 が必要となります。



本章では、SharePoint2010 標準機能である、サーバーの全体管理 (GUI) と Windows PowerShell (コマンド) を利用したバックアップ方法について記載します。

ここでは、事前に SharePoint サーバー上に共有フォルダー“spbackup” を作成しておき、そこに保存されたバックアップデータからリストアを行います。



2.2.1 SharePoint ファームのリストア

SharePoint 標準機能を利用したリストアは、サーバーの全体管理（GUI）と Windows PowerShell（コマンド）の 2 種類の方法が提供されています。ここでは、サーバーの全体管理と Windows PowerShell 両方の手順について記載します。

- サーバーの全体管理サイト（GUI）からリストアを実行する

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. サーバーの全体管理サイト上で、**【バックアップと復元】** を選択します。



2. **【バックアップからの復元】** をクリックします。



3. 【復元するバックアップの選択】画面で、バックアップジョブ一覧から復元したいバックアップジョブを選択します。

※ ここで表示される一覧には、サーバーの全体管理から画面操作で取得したバックアップだけでなく、PowerShell スクリプトを用いて取得したバックアップも表示されます。

サーバーの全体管理 > バックアップからの復元 - ステップ 1/3: 復元するバックアップの選択
このページを使用して、バックアップ処理および復元の履歴を確認します。

準備

- 進行中のバックアップ処理または復元処理はありません。バックアップと復元のジョブ状態
- タイマー サービスが実行中です。
- 管理サービスが実行中です。

バックアップ ディレクトリの場所: \\SP2010FARM-SPSP\$backup\Far 更新

1 件のジョブの結果 1-1

選択	トップ コンポーネント	種類	方法	完了時刻	エラー メッセージ
<input checked="" type="checkbox"/>	ファーム	バックアップ	完全	2011/05/24 20:29	

次へ キャンセル

選択後、画面下部の【次へ】をクリックします。

4. 【復元するコンポーネントの選択】画面で、復元したいコンポーネントを選択します。

サーバーの全体管理 > バックアップからの復元 - ステップ 2/3: 復元するコンポーネントの選択
復元するコンポーネントを選択してください。

コンポーネントが表示されているのに選択できない場合は、バックアップにコンポーネントが含まれていないか、バックアップ中にエラーが発生しています。これに関連するエラー メッセージは「バックアップ エラー メッセージ」見出しの下に表示されます。復元処理を続けるには、「次へ」をクリックしてください。別のコンポーネント セットを含む他のバックアップ ファイルを選択する場合は、「前へ」をクリックしてください。

準備

- 進行中のバックアップ処理または復元処理はありません。バックアップと復元のジョブ状態
- タイマー サービスが実行中です。
- 管理サービスが実行中です。

復元するコンポーネントの選択

復元するトップレベルのコンポーネントを選択してください。

選択	コンポーネント	種類	バックアップ エラー メッセージ
<input checked="" type="checkbox"/>	ファーム	ファーム	
<input checked="" type="checkbox"/>	SharePoint_Config	Configuration Database	
<input checked="" type="checkbox"/>	InfoPath Forms Services	サーバーの設定とコンテンツ	
<input checked="" type="checkbox"/>	設定	設定	
<input checked="" type="checkbox"/>	データ接続	データ接続	
<input checked="" type="checkbox"/>	フォーム テンプレート	フォーム テンプレート	
<input checked="" type="checkbox"/>	適用除外ユーザー エージェント	適用除外ユーザー エージェント	
<input checked="" type="checkbox"/>	SharePoint Server State Service	State Service	
<input checked="" type="checkbox"/>	State Service	State Service アプリケーション	
<input checked="" type="checkbox"/>	Microsoft SharePoint Foundation Web Application	Microsoft SharePoint Foundation Web Application	
<input checked="" type="checkbox"/>	SharePoint - 1000	Web アプリケーション	
<input checked="" type="checkbox"/>	SharePoint - 80	Web アプリケーション	
<input checked="" type="checkbox"/>	WSS Administration	サーバーの全体管理	

すべてのコンポーネントが選択されていることを確認し、画面下部の【次へ】をクリックします。

5. 【復元オプションの選択】画面で、【復元オプション】や【ログイン名とパスワード】を設定します。

ここでは、以下のように設定します。

- 【構成設定のみを復元】：【コンテンツと構成設定を復元】
- 【復元オプション】：【同じ構成】
- 【ログイン名とパスワード】 - ログイン名：「CONTOSO¥spadmin」
- 【ログイン名とパスワード】 - パスワード：「P@ssw0rd」
- 【新しい名前】：（規定値）

サイトの操作		システム アカウント	
アプリケーション構成の管理	準備	<ul style="list-style-type: none"> 進行中のバックアップ処理または復元処理はありません。バックアップと復元のジョブ状態 タイマー サービスが実行中です。 管理サービスが実行中です。 	
システム設定	復元するコンポーネント	復元対象のコンポーネント	
監視	これは、復元対象として選択したトップ レベルのアイテムです。	ファーム	
バックアップと復元	構成設定のみを復元	復元するデータ	
セキュリティ	このバックアップ パッケージの構成設定のみを復元するかどうかを指定します。新しいハードウェアに設定を復元する場合は、【構成設定のみを復元】を選択してください。既定では、構成設定とコンテンツの両方が復元されます。	<input checked="" type="radio"/> コンテンツと構成設定を復元 <input type="radio"/> 構成設定のみを復元	
アップグレードと移行	復元オプション	復元の種類	
アプリケーションの全般設定	コンピュータ名、Web アプリケーション名、およびデータベース サーバーがバックアップ ファームと同じファームに復元する場合は、【同じ構成】を選択します。コンピュータ名、Web アプリケーション名、またはデータベース サーバーがバックアップ ファームと異なるファームに復元する場合は、【新しい構成】を選択します。	<input type="radio"/> 新しい構成 <input checked="" type="radio"/> 同じ構成	
構成ウィザード	ログイン名とパスワード	SharePoint - 1000	
	各オブジェクトまたはオブジェクトのグループに、使用するログイン名とパスワードを指定してください。Web アプリケーションとサービス アプリケーションには、関連するアプリケーション プールで使用するログイン名とパスワードを指定します。SQL Server 認証を使用している場合は、一覧表示されている各データベースに SQL Server のログイン名とパスワードを指定してください。	ログイン名: CONTOSO¥spadmin パスワード: ●●●●●●●●	
		SharePoint - 80	
		ログイン名: CONTOSO¥spadmin パスワード: ●●●●●●●●	

設定内容を確認し、画面下部の【復元の開始】をクリックします。

※ 【構成設定のみを復元】オプションについて

【構成設定のみを復元】オプションは、以下の 2 つから選択します。

- コンテンツと構成設定を復元
- 構成設定のみを復元

新しいハードウェアに SharePoint ファームの構成情報を復元する場合は、【構成設定のみを復元】を選択してください。

※ [復元オプション]オプションについて

[復元オプション]オプションは、以下の 2 つから選択します。

- 新しい構成
- 同じ構成

バックアップをした対象のコンピューター名、Web アプリケーション名、データベースサーバーが同一な場合は、[同じ構成]を選択してください。異なる場合は、[新しい構成]を選択してください。

6. 復元処理が実行されます。

7. 復元が完了したことを確認します。



Microsoft SharePoint 2010 サーバーの全体管理 ▶ バックアップと復元のジョブ状態
このページを使用して、バックアップおよび復元のジョブ状態を表示します。

準備

- 進行中のバックアップ処理または復元処理はありません。
- タイマー サービスが実行中です。
- 管理サービスが実行中です。

更新 履歴の表示

復元

担当者	CONTOSO¥spadmin
フェーズ	完了
開始時刻	2011/05/26 18:00
完了時刻	2011/05/26 18:17
トップ コンポーネント	ファーム
バックアップ ID	3f4d17c6-72e9-44ed-98f1-7fd81284ca41
ディレクトリ	¥¥SP2010FARM-SPS¥spbackup¥FarmGU¥spsbr0001¥
バックアップ方法	完全
スレッドの復元	3
警告数	0
エラー	0

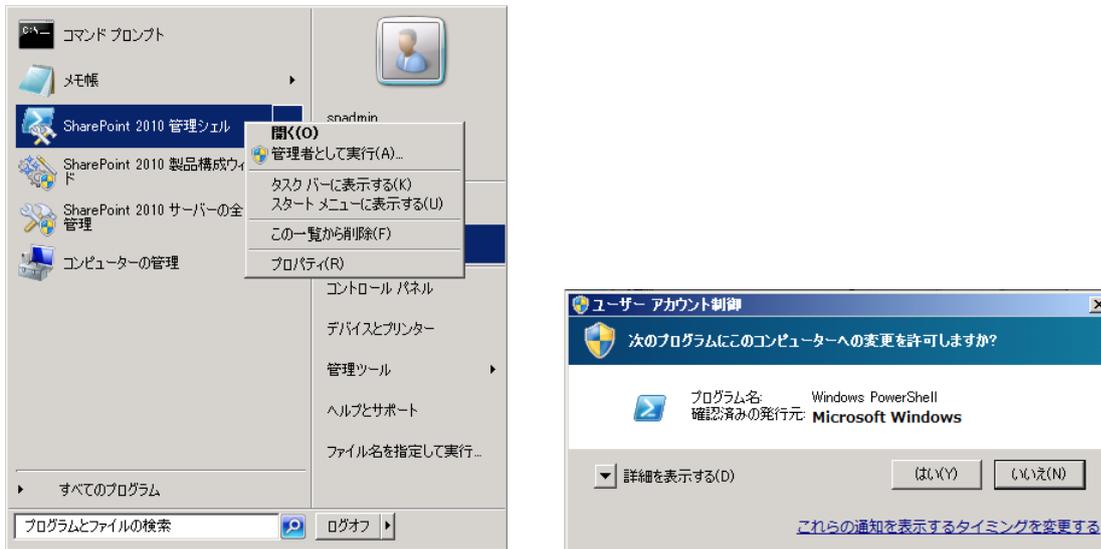
名前	進行状況	最終変更日時	エラー メッセージ
ファーム	完了	2011/05/26 18:08	
SharePoint Config		2011/05/26 17:59	

- Windows PowerShell (コマンド) からリストアを実行する

ここでは、以下のアカウントを使用します。

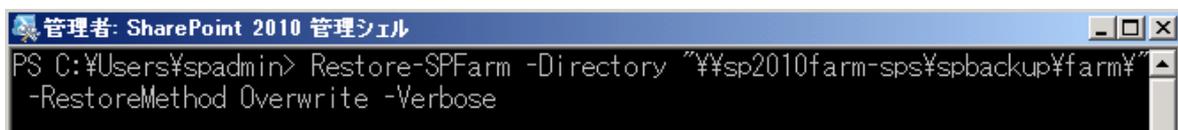
- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

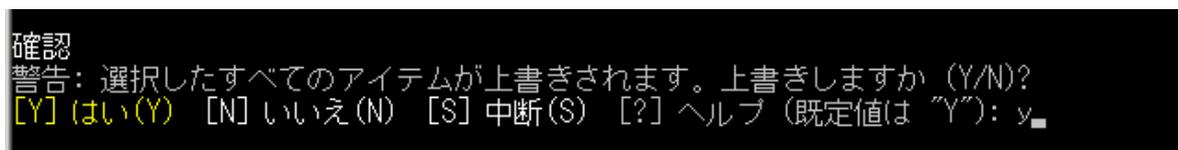
```
Restore-SPFarm -Directory <BackupFolder> -RestoreMethod Overwrite [-BackupId <GUID>]
```



3. 実行確認の画面が表示されるので、[Y]を入力します。



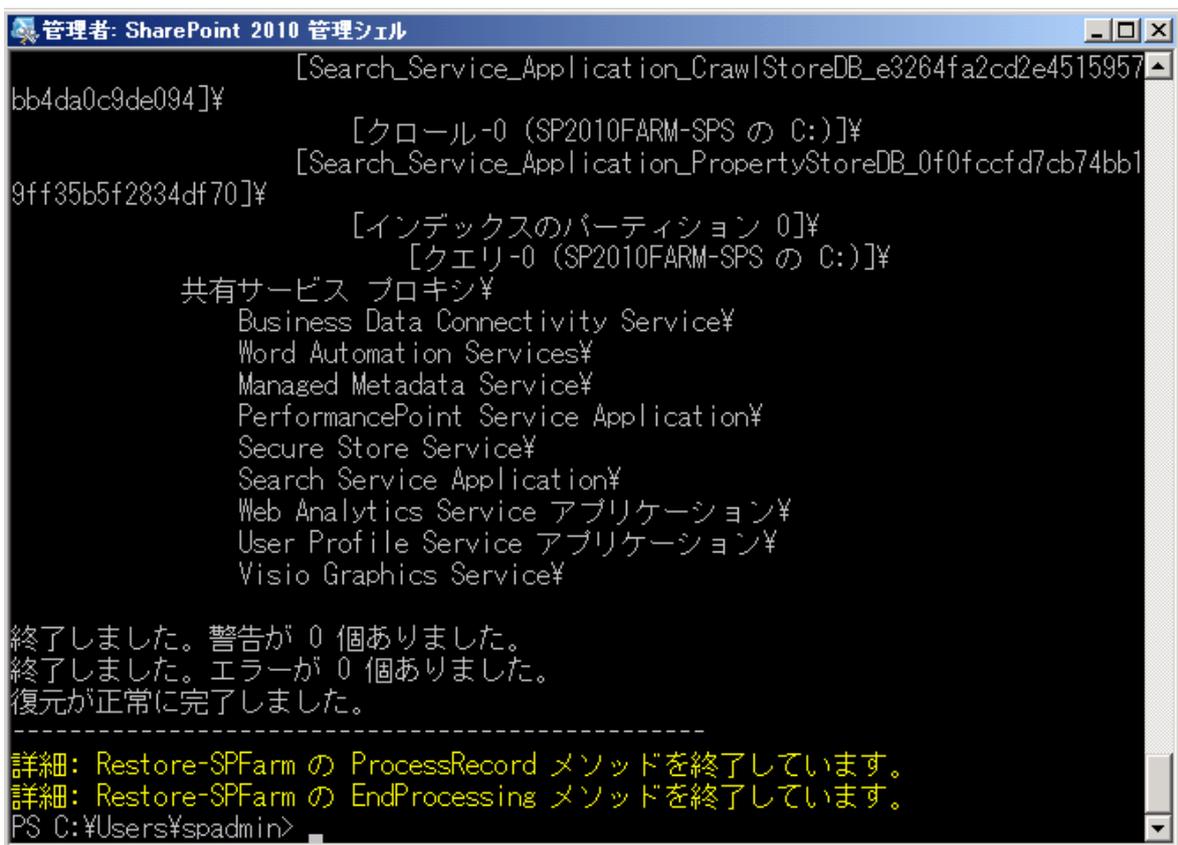
4. 上書きの確認画面が表示されるので、[Y]を入力します。



5. リストアする Web アプリケーションごとに、リストアを実行する[ユーザー名]と[パスワード]を入力します。

```
ファーム¥Microsoft SharePoint Foundation Web Application¥SharePoint - 1000
Need login name and password for:
ログイン名: (previous: CONTOSO¥spadmin):
contoso¥spadmin
パスワード:
*****
```

6. リストアが正常に完了したことを確認します。



```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e4515957
bb4da0c9de094]¥
      [クローラ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb1
9ff35b5f2834df70]¥
      [インデックスのパーティション 0]¥
      [クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
共有サービス プロキシ¥
  Business Data Connectivity Service¥
  Word Automation Services¥
  Managed Metadata Service¥
  PerformancePoint Service Application¥
  Secure Store Service¥
  Search Service Application¥
  Web Analytics Service アプリケーション¥
  User Profile Service アプリケーション¥
  Visio Graphics Service¥

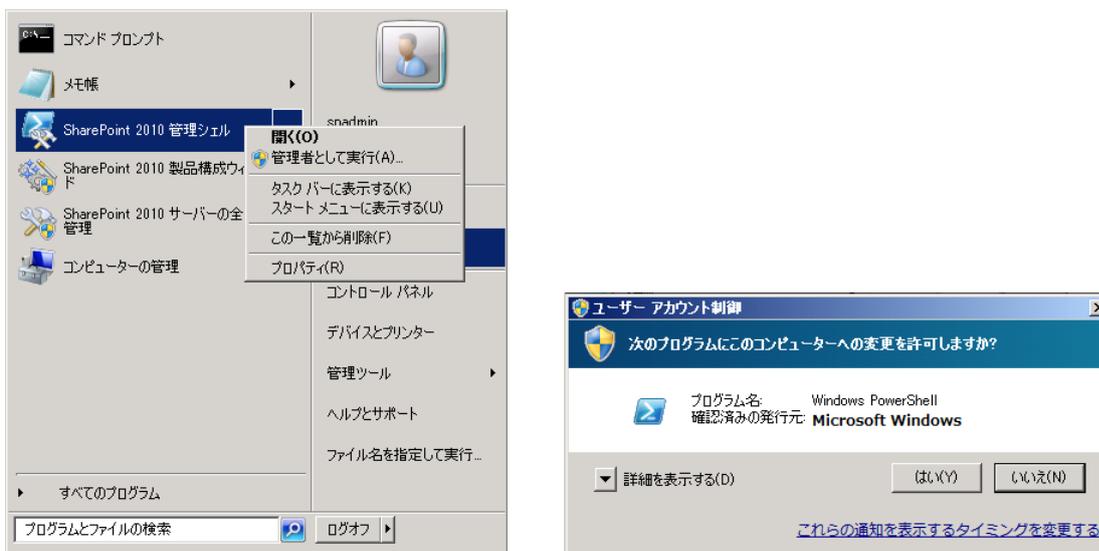
終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
復元が正常に完了しました。
-----
詳細: Restore-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Restore-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:¥Users¥spadmin>
```

2.2.2 Web アプリケーションのリストア

ここでは、以下のアカウントを使用します。

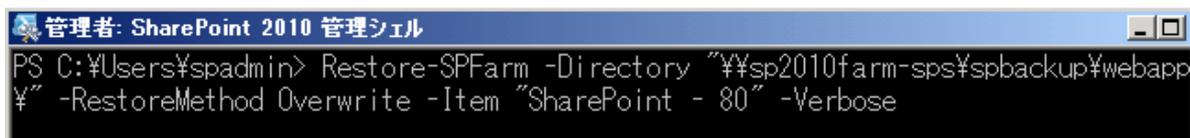
- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Restore-SPFarm -Directory <BackupFolder> -RestoreMethod Overwrite -Item  
<WebApplicationName> [-BackupId <GUID>] [-Verbose]
```



BackupId を指定しない場合は、最新のバックアップが使用されます。構成専用のバックアップを使用して Web アプリケーションを復元できません。ファームのバックアップを表示するには、Windows PowerShell のコマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Get-SPBackupHistory -Directory <BackupFolder> -ShowBackup [-Verbose]
```

3. 実行確認の画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
この操作を実行しますか？
対象 "SP2010FARM-SPS" に対して操作 "Restore-SPFarm" を実行しています。
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S)
[?] ヘルプ(既定値は "Y"): y
```

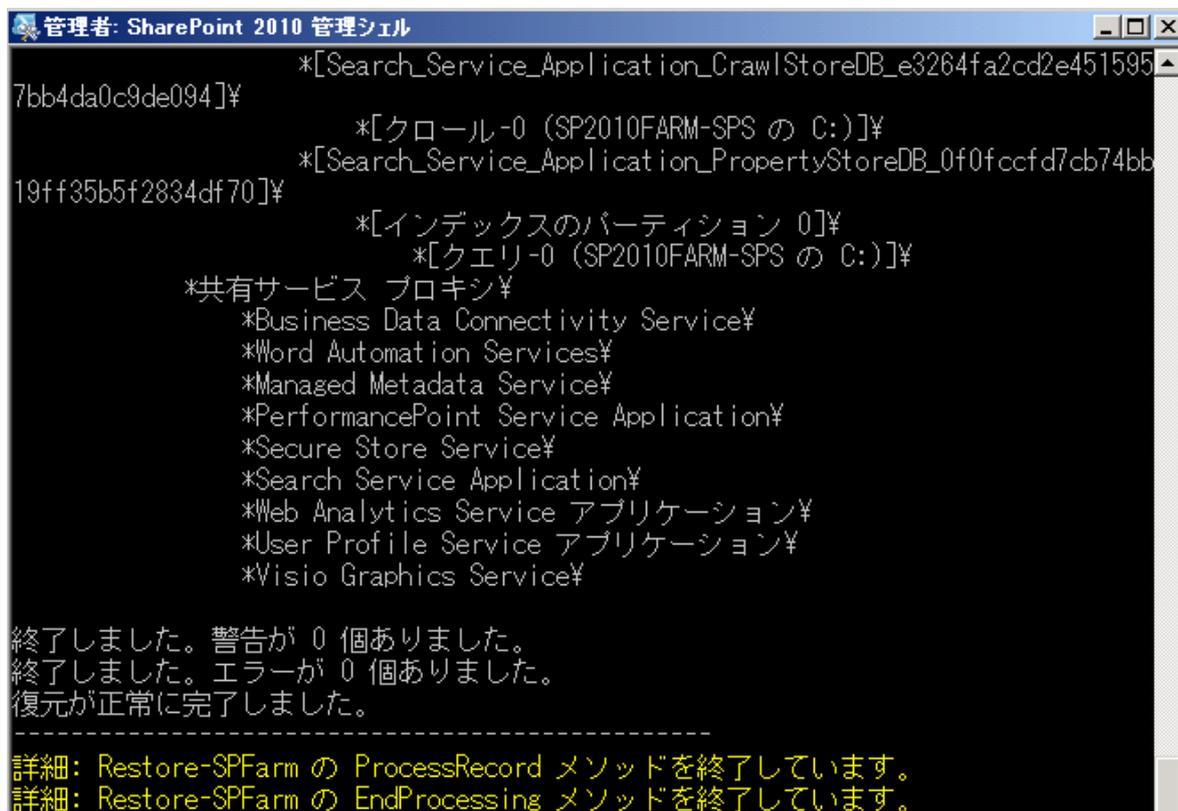
4. 上書きの確認画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
確認
警告: 選択したすべてのアイテムが上書きされます。上書きしますか (Y/N)?
[Y] はい(Y) [N] いいえ(N) [S] 中断(S) [?] ヘルプ(既定値は "Y"): y
```

5. リストアを実行する[ユーザー名]と[パスワード]を入力します。

```
ファーム¥Microsoft SharePoint Foundation Web Application¥SharePoint - 80
Need login name and password for:
ログイン名: (previous: CONTOSO¥spadmin):
contoso¥spadmin
パスワード:
*****
```

6. リストアが正常に完了したことを確認します。



```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
*[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e4515957bb4da0c9de094]¥
*[クローラ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb19ff35b5f2834df70]¥
*[インデックスのパーティション 0]¥
*[クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
*Business Data Connectivity Service¥
*Word Automation Services¥
*Managed Metadata Service¥
*PerformancePoint Service Application¥
*Secure Store Service¥
*Search Service Application¥
*Web Analytics Service アプリケーション¥
*User Profile Service アプリケーション¥
*Visio Graphics Service¥

終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
復元が正常に完了しました。

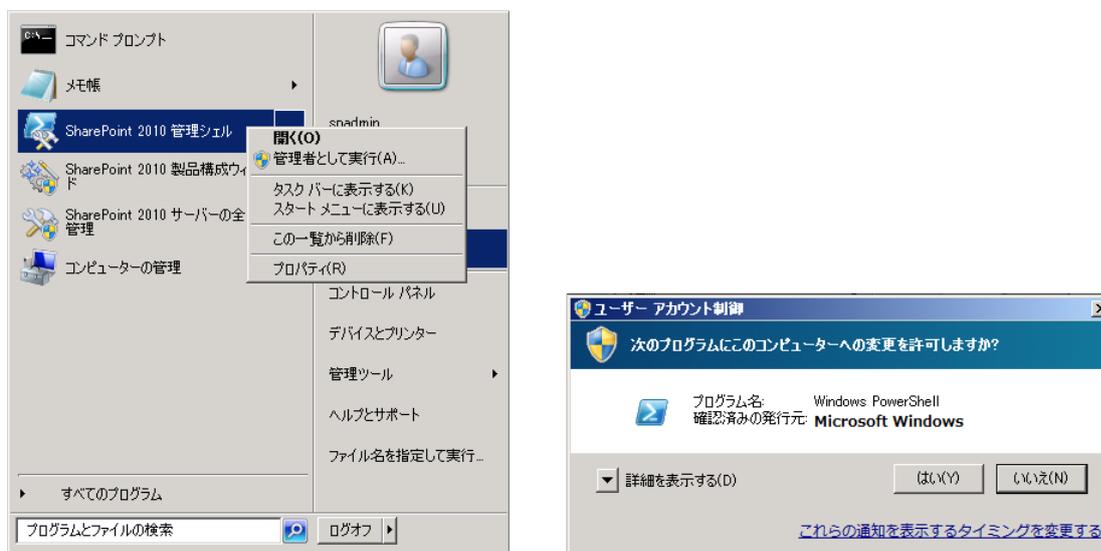
-----
詳細: Restore-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Restore-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
```

2.2.3 コンテンツデータベースのリストア

ここでは、以下のアカウントを使用します。

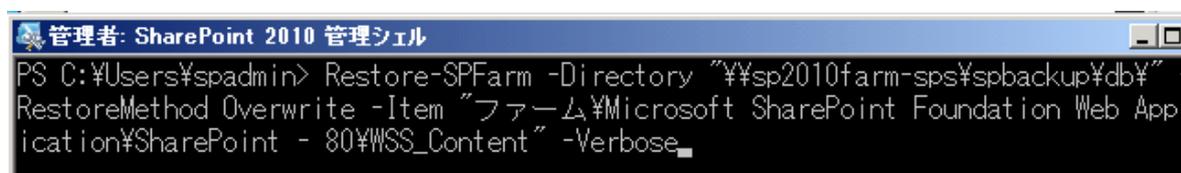
- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Restore-SPFarm -Directory <BackupFolder> -RestoreMethod Overwrite -Item <Content database name> [-BackupId <GUID>]
```



BackupId を指定しない場合は、最新のバックアップが使用されます。ファームのバックアップを表示するには、Windows PowerShell のコマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Get-SPBackupHistory -Directory <BackupFolder> -ShowBackup [-Verbose]
```

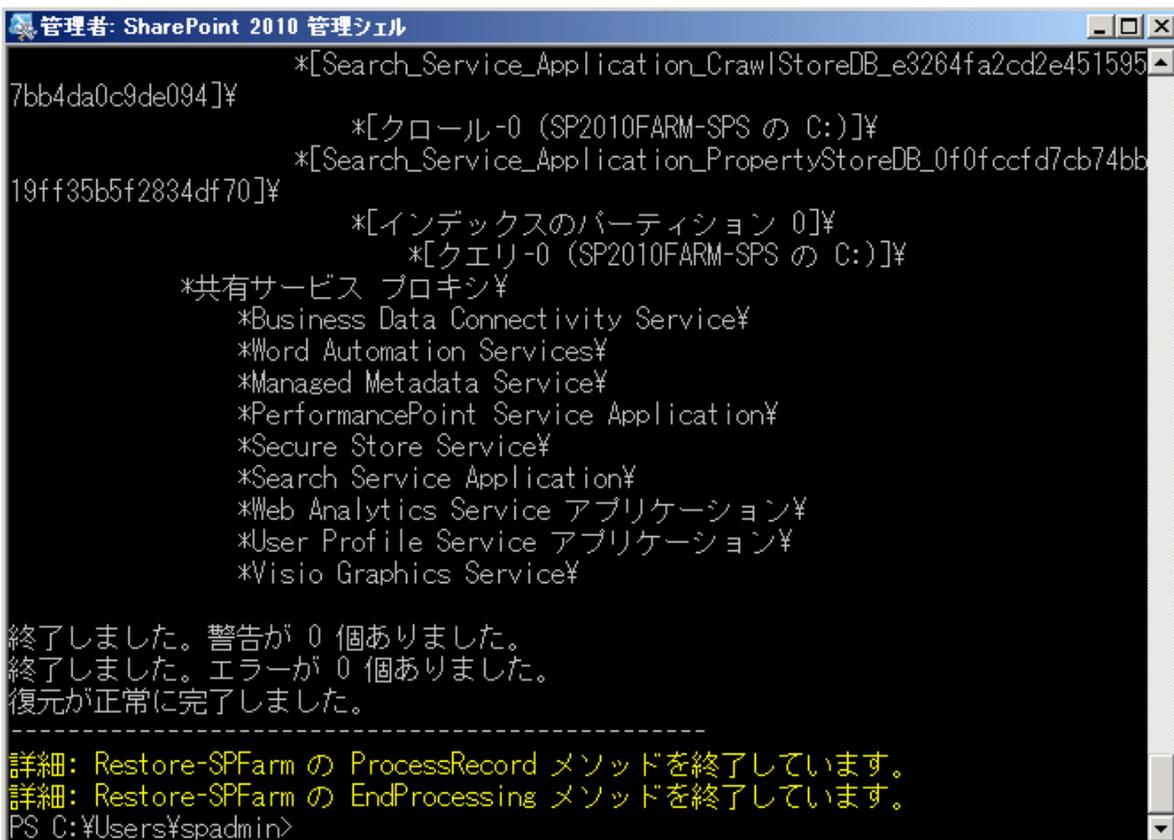
3. 実行確認の画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
この操作を実行しますか？
対象 "SP2010FARM-SPS" に対して操作 "Restore-SPFarm" を実行しています。
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S)
[?] ヘルプ(既定値は "Y"): y
```

4. 上書きの確認画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
確認
警告: 選択したすべてのアイテムが上書きされます。上書きしますか (Y/N)?
[Y] はい(Y) [N] いいえ(N) [S] 中断(S) [?] ヘルプ(既定値は "Y"): y
```

5. リストアが正常に完了したことを確認します。



```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
*[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e4515957bb4da0c9de094]¥
  *[クローラ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb19ff35b5f2834df70]¥
  *[インデックスのパーティション 0]¥
    *[クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
  *Business Data Connectivity Service¥
  *Word Automation Services¥
  *Managed Metadata Service¥
  *PerformancePoint Service Application¥
  *Secure Store Service¥
  *Search Service Application¥
  *Web Analytics Service アプリケーション¥
  *User Profile Service アプリケーション¥
  *Visio Graphics Service¥

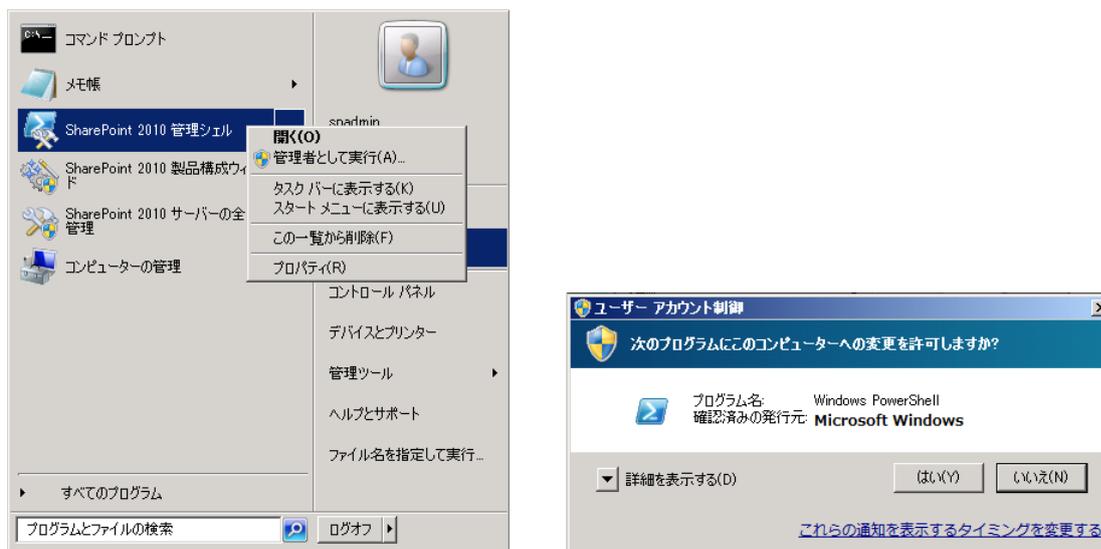
終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
復元が正常に完了しました。
-----
詳細: Restore-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Restore-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:\Users¥spadmin>
```

2.2.4 User Profile Service のリストア

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Restore-SPFarm -Directory <BackupFolder> -Item Shared Services¥Shared Services  
Applications¥<ServiceApplicationName> -RecoveryMethod Overwrite [-BackupId <GUID> ]  
[-Verbose]
```



BackupId を指定しない場合は、最新のバックアップが使用されます。構成専用のバックアップを使用してサービスアプリケーションを復元できません。ファームのバックアップを表示するには、Windows PowerShell のコマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Get-SPBackupHistory -Directory <BackupFolder> -ShowBackup [-Verbose]
```

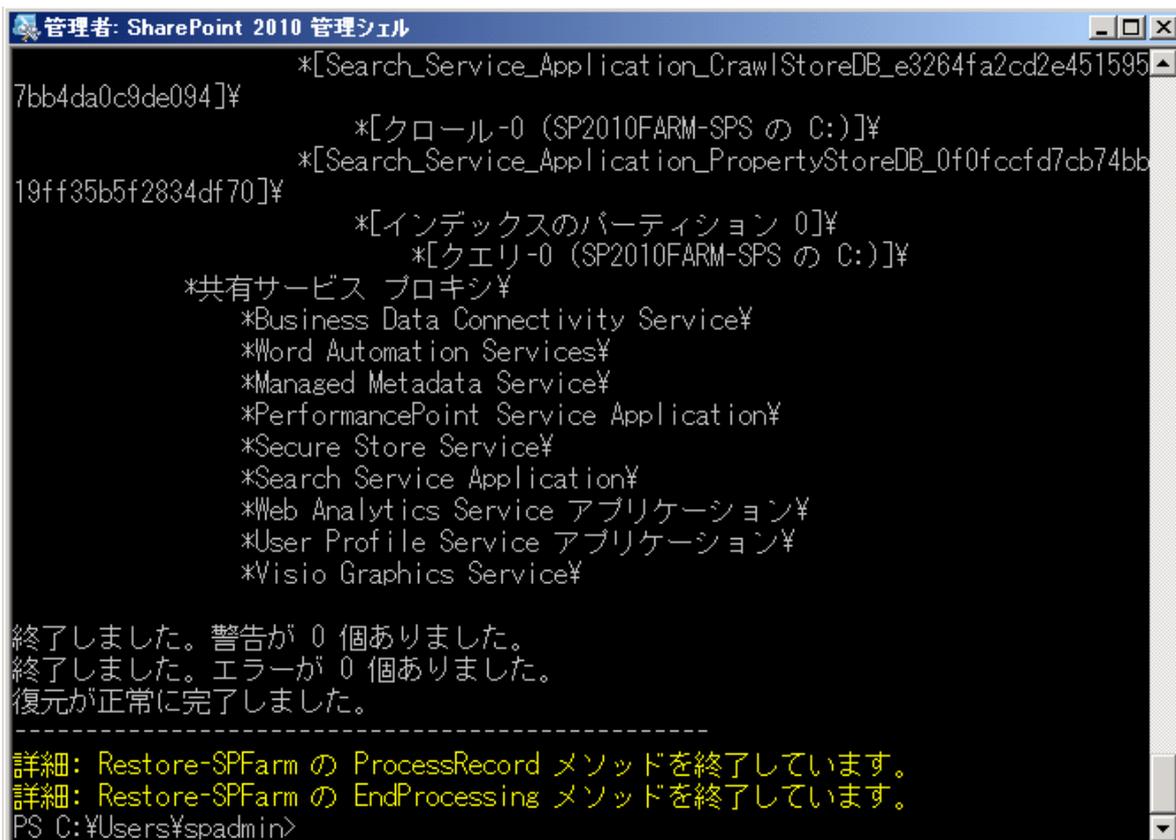
3. 実行確認の画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
この操作を実行しますか？
対象 "SP2010FARM-SPS" に対して操作 "Restore-SPFarm" を実行しています。
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S)
[?] ヘルプ(既定値は "Y"): y
```

4. 上書きの確認画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
確認
警告: 選択したすべてのアイテムが上書きされます。上書きしますか (Y/N)?
[Y] はい(Y) [N] いいえ(N) [S] 中断(S) [?] ヘルプ(既定値は "Y"): y
```

5. リストアが正常に完了したことを確認します。



```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
*[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e4515957bb4da0c9de094]¥
    *[クローラ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb19ff35b5f2834df70]¥
    *[インデックスのパーティション 0]¥
    *[クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
    *Business Data Connectivity Service¥
    *Word Automation Services¥
    *Managed Metadata Service¥
    *PerformancePoint Service Application¥
    *Secure Store Service¥
    *Search Service Application¥
    *Web Analytics Service アプリケーション¥
    *User Profile Service アプリケーション¥
    *Visio Graphics Service¥

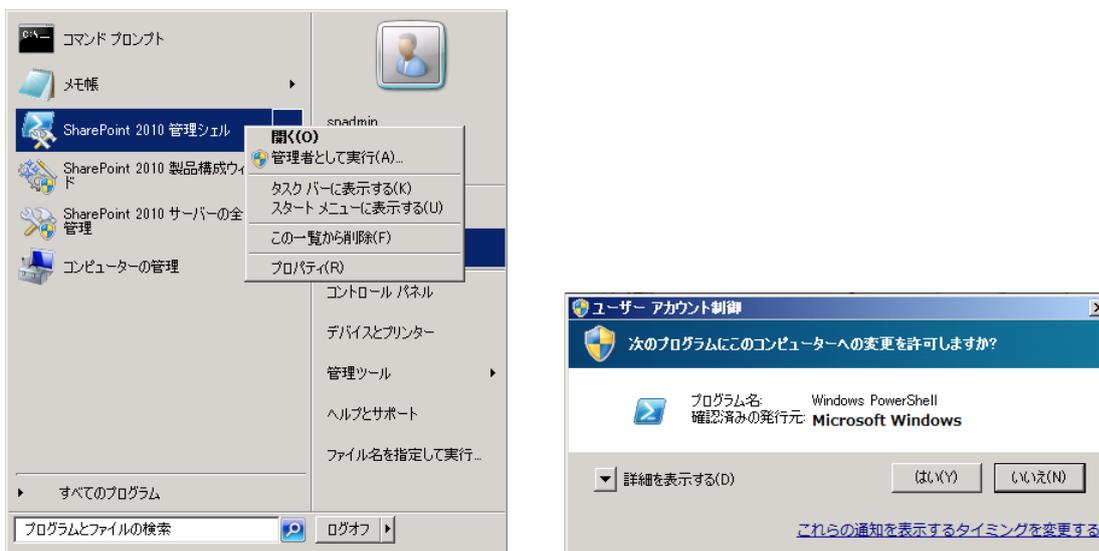
終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
復元が正常に完了しました。
-----
詳細: Restore-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Restore-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:\Users\spadmin>
```

2.2.5 Search Service のリストア

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Restore-SPFarm -Directory <Backup folder> -Item <Search service application name> -RecoveryMethod Overwrite [-BackupId <GUID>] [-Verbose]
```



BackupId を指定しない場合は、最新のバックアップが使用されます。構成専用のバックアップを使用して検索を復元できません。ファームのバックアップを表示するには、Windows PowerShell のコマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Get-SPBackupHistory -Directory <BackupFolder> -ShowBackup [-Verbose]
```

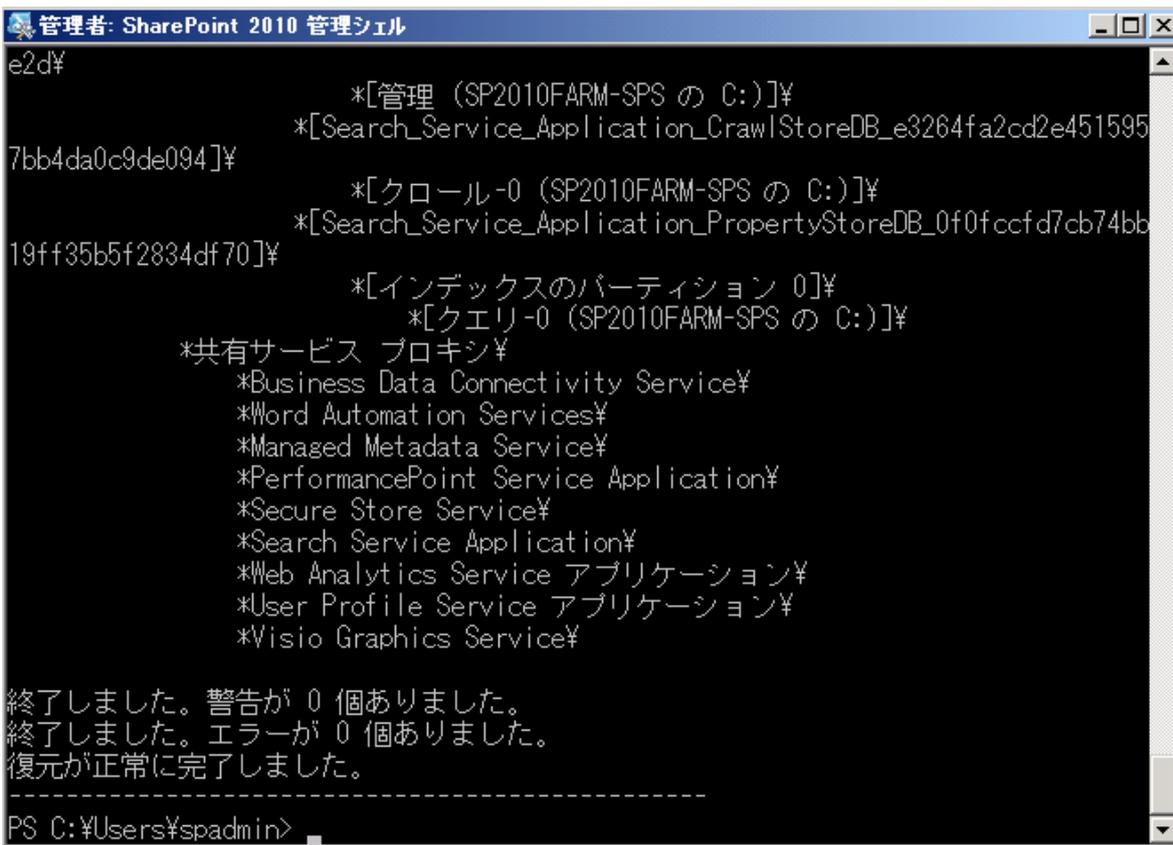
3. 実行確認の画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
この操作を実行しますか？
対象 "SP2010FARM-SPS" に対して操作 "Restore-SPFarm" を実行しています。
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S)
[?] ヘルプ(既定値は "Y"): y
```

4. 上書きの確認画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
確認
警告: 選択したすべてのアイテムが上書きされます。上書きしますか (Y/N)?
[Y] はい(Y) [N] いいえ(N) [S] 中断(S) [?] ヘルプ (既定値は "Y"): y
```

5. リストアが正常に完了したことを確認します。



```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
e2d¥
    *管理 (SP2010FARM-SPS の C:)¥
    *Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e451595
7bb4da0c9de094]¥
    *クローラ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)¥
    *Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb
19ff35b5f2834df70]¥
    *インデックスのパーティション 0]¥
    *クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)¥
*共有サービス プロキシ¥
    *Business Data Connectivity Service¥
    *Word Automation Services¥
    *Managed Metadata Service¥
    *PerformancePoint Service Application¥
    *Secure Store Service¥
    *Search Service Application¥
    *Web Analytics Service アプリケーション¥
    *User Profile Service アプリケーション¥
    *Visio Graphics Service¥

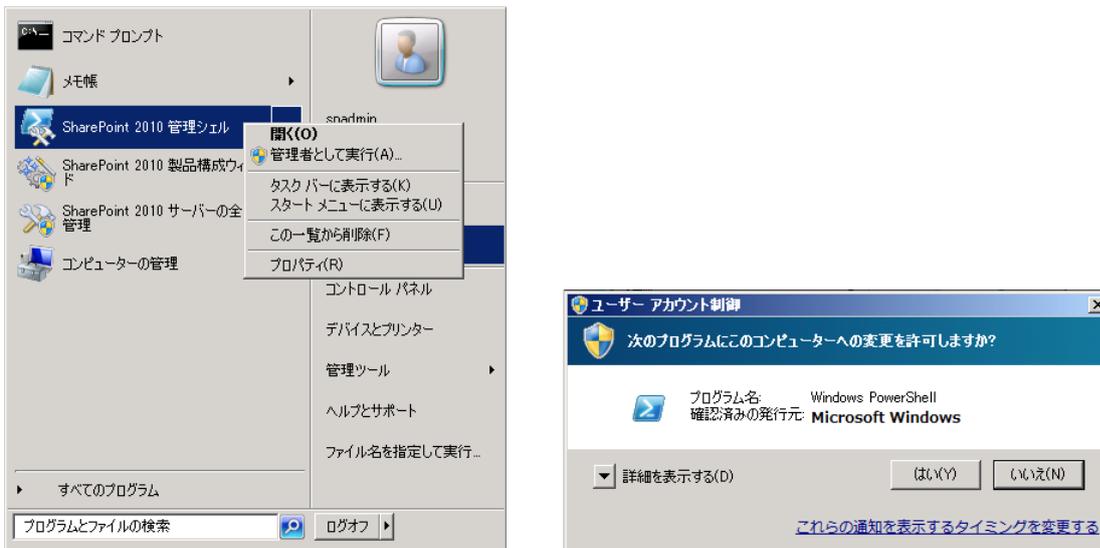
終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
復元が正常に完了しました。
-----
PS C:¥Users¥spadmin>
```

2.2.6 Secure Store Service のリストア

ここでは、以下のアカウントを使用します。

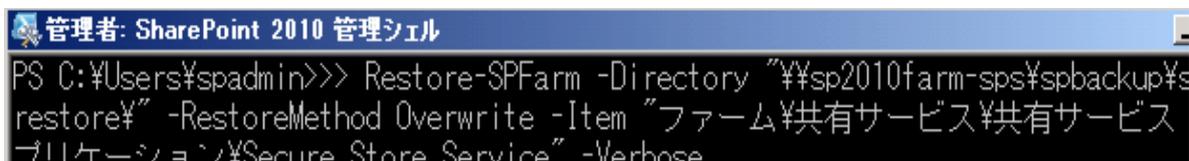
- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Restore-SPFarm -Directory <Backup folder> -Item <Secure Store Service name> -RecoveryMethod Overwrite [-BackupId <GUID>] [-Verbose]
```



BackupId を指定しない場合は、最新のバックアップが使用されます。構成専用のバックアップを使用してサービスアプリケーションを復元できません。ファームのバックアップを表示するには、Windows PowerShell のコマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Get-SPBackupHistory -Directory <BackupFolder> -ShowBackup [-Verbose]
```

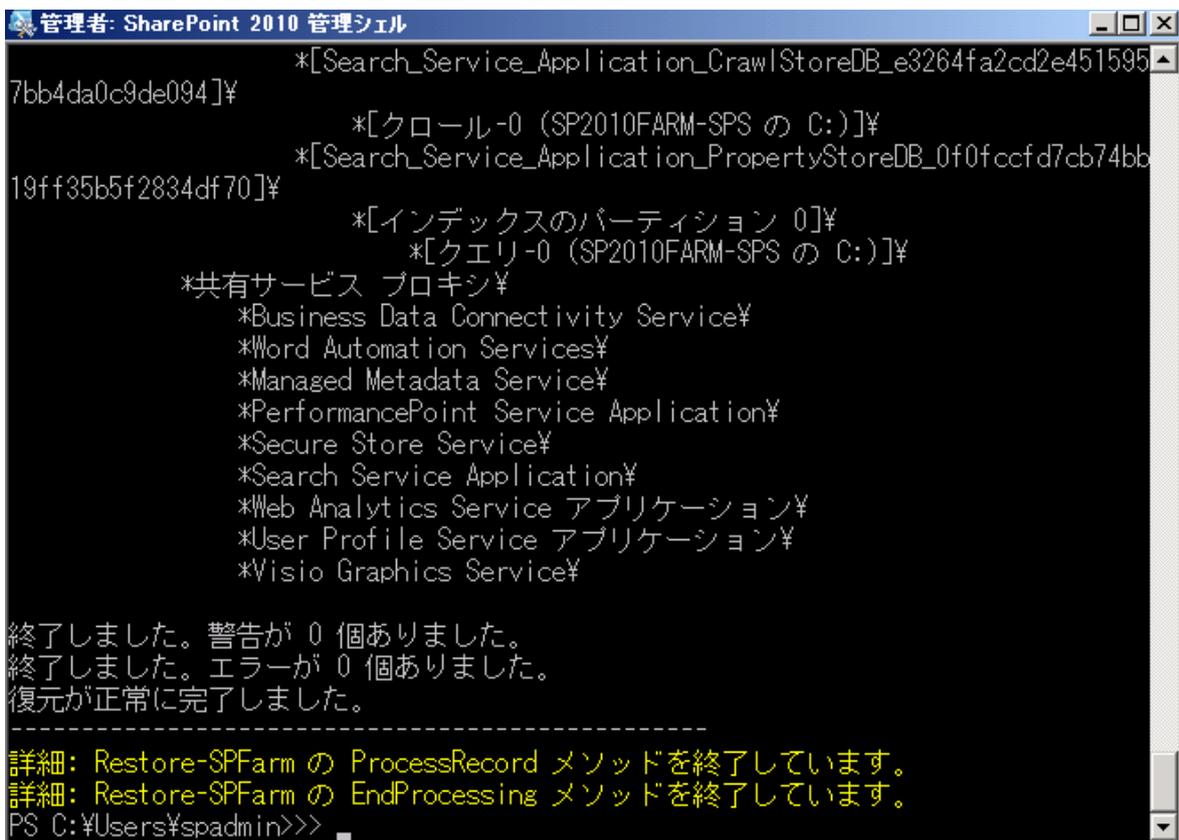
3. 実行確認の画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
この操作を実行しますか？
対象 "SP2010FARM-SPS" に対して操作 "Restore-SPFarm" を実行しています。
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S)
[?] ヘルプ(既定値は "Y"): y
```

4. 上書きの確認画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
確認
警告: 選択したすべてのアイテムが上書きされます。上書きしますか (Y/N)?
[Y] はい(Y) [N] いいえ(N) [S] 中断(S) [?] ヘルプ (既定値は "Y"): y
```

5. リストアが正常に完了したことを確認します。



```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
*[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e4515957bb4da0c9de094]¥
  *[クローラー-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
  *[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb19ff35b5f2834df70]¥
    *[インデックスのパーティション 0]¥
      *[クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
  *Business Data Connectivity Service¥
  *Word Automation Services¥
  *Managed Metadata Service¥
  *PerformancePoint Service Application¥
  *Secure Store Service¥
  *Search Service Application¥
  *Web Analytics Service アプリケーション¥
  *User Profile Service アプリケーション¥
  *Visio Graphics Service¥

終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
復元が正常に完了しました。
-----
詳細: Restore-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Restore-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
PS C:\Users\spadmin>>>
```

6. パスフレーズを更新するため、Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

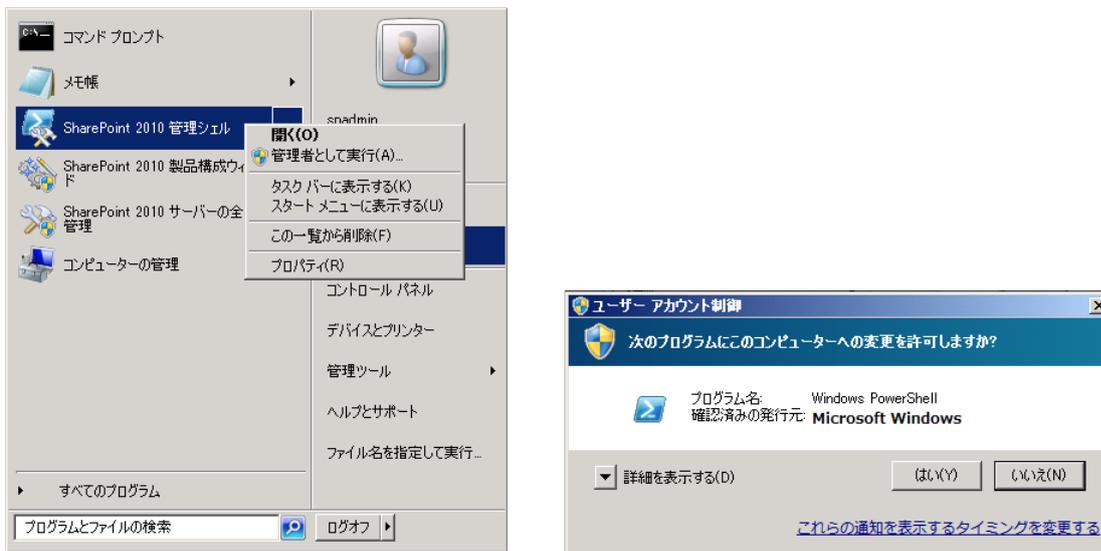
```
Update-SPSecureStoreApplicationServerKey -Passphrase <Passphrase>
```

2.2.7 その他サービスアプリケーションのリストア

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Restore-SPFarm -Directory <BackupFolder> -Item <ServiceApplicationName> -RecoveryMethod  
Overwrite [-BackupId <GUID>] [-Verbose]
```



BackupId を指定しない場合は、最新のバックアップが使用されます。構成専用のバックアップを使用してサービスアプリケーションを復元できません。ファームのバックアップを表示するには、Windows PowerShell のコマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Get-SPBackupHistory -Directory <BackupFolder> -ShowBackup [-Verbose]
```

3. 実行確認の画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
この操作を実行しますか？
対象 "SP2010FARM-SPS" に対して操作 "Restore-SPFarm" を実行しています。
[Y] はい(Y) [A] すべて続行(A) [N] いいえ(N) [L] すべて無視(L) [S] 中断(S)
[?] ヘルプ(既定値は "Y"): y
```

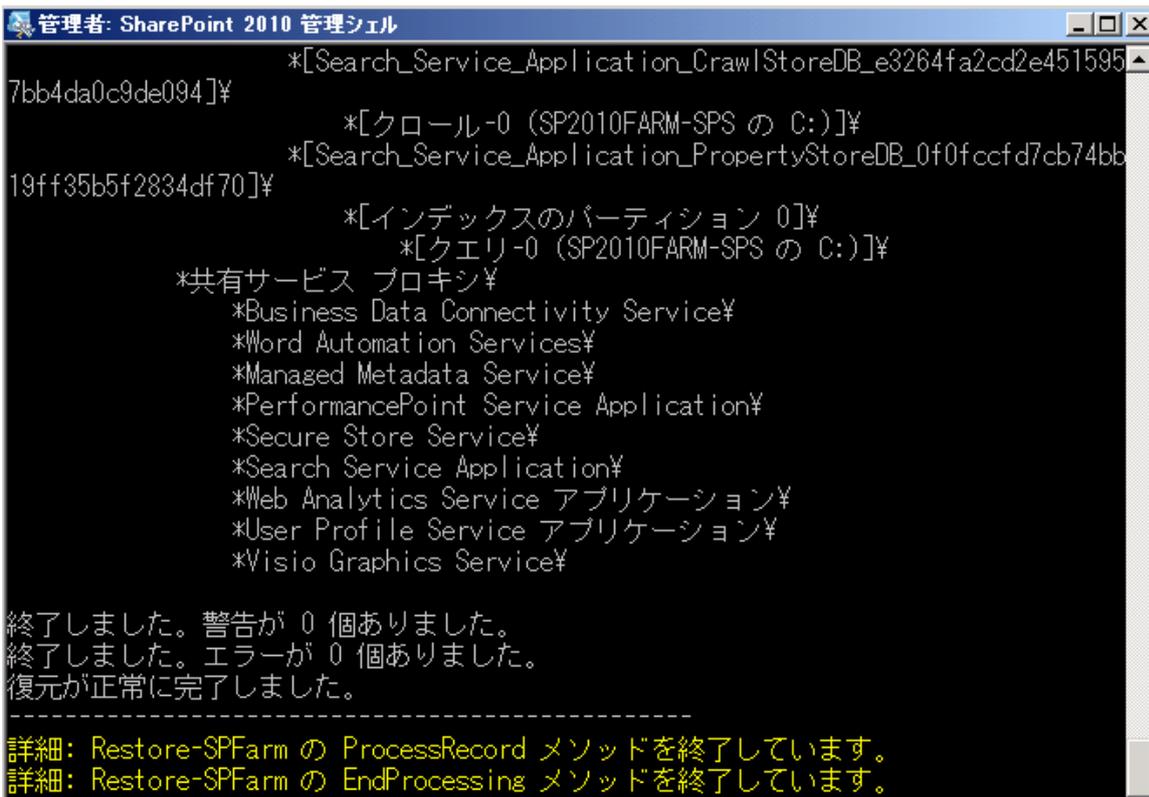
4. 上書きの確認画面が表示されるので、[Y]を入力します。

```
確認
警告： 選択したすべてのアイテムが上書きされます。上書きしますか (Y/N)?
[Y] はい(Y) [N] いいえ(N) [S] 中断(S) [?] ヘルプ(既定値は "Y"): y
```

5. リストアを実行する[ユーザー名]と[パスワード]を入力します。

```
ファーム¥共有サービス¥共有サービス アプリケーション¥Excel Services アプリケーシ
ョン
Need login name and password for:
ログイン名: (previous: CONTOSO¥spadmin):
contoso¥spadmin
パスワード:
*****
```

6. リストアが正常に完了したことを確認します。



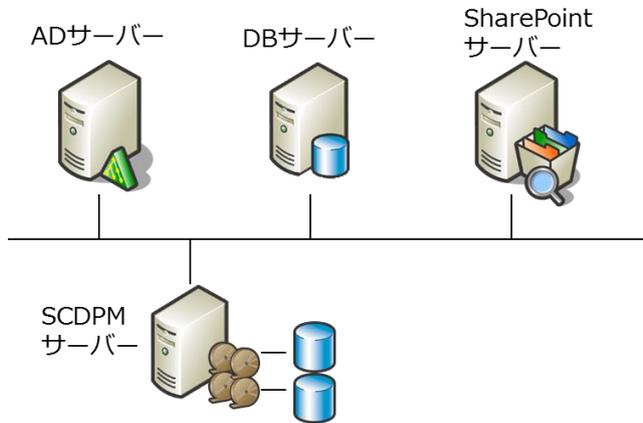
```
管理者: SharePoint 2010 管理シェル
*[Search_Service_Application_CrawlStoreDB_e3264fa2cd2e451595
7bb4da0c9de094]¥
    *[クローラー-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
    *[Search_Service_Application_PropertyStoreDB_0f0fccfd7cb74bb
19ff35b5f2834df70]¥
        *[インデックスのパーティション 0]¥
            *[クエリ-0 (SP2010FARM-SPS の C:)]¥
*共有サービス プロキシ¥
    *Business Data Connectivity Service¥
    *Word Automation Services¥
    *Managed Metadata Service¥
    *PerformancePoint Service Application¥
    *Secure Store Service¥
    *Search Service Application¥
    *Web Analytics Service アプリケーション¥
    *User Profile Service アプリケーション¥
    *Visio Graphics Service¥

終了しました。警告が 0 個ありました。
終了しました。エラーが 0 個ありました。
復元が正常に完了しました。
-----
詳細: Restore-SPFarm の ProcessRecord メソッドを終了しています。
詳細: Restore-SPFarm の EndProcessing メソッドを終了しています。
```

第3章 System Center Data Protection Manager 2010 を利用したバックアップ・リストア

3.1 System Center Data Protection Manager 2010 の導入

SCDPM 2010 を利用するにあたり、SCDPM サーバーの導入および SCDPM エージェントのインストールが必要となります。本章では、SCDPM サーバーの構築、および SharePoint サーバーへの SCDPM エージェントインストールの方法について記載します。ここでは、以下の環境を構築します。



SharePoint2010 のバックアップを行うためには、SCDPM サーバーにレプリカ用と回復ポイント用の 2 つのボリュームが必要です。事前に SCDPM サーバーに 2 つ以上のボリュームを準備してください。

- System Center Data Protection Manager 2010

- サーバー OS : Windows Server 2008 R2 Enterprise (x64)

- サーバー名 : SP2010Farm-DPM

- SQL Server : SQL Server 2008

- SCDPM : System Center Data Protection Manager 2010

- 更新プログラム : 2011 年 3 月の修正プログラム ロールアップパッケージ 適用

- 2011 年 3 月の修正プログラム ロールアップパッケージに関しては以下のホームページを参照してください。

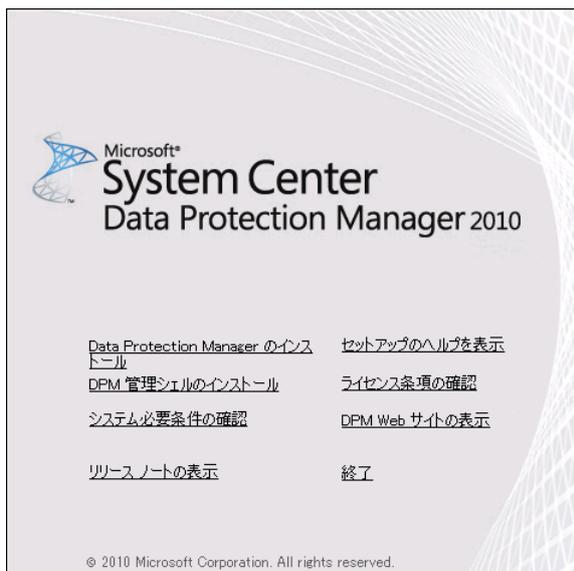
- <http://support.microsoft.com/kb/2465832/ja>

- SCDPM2010 用アカウント : contoso¥dpmadmin

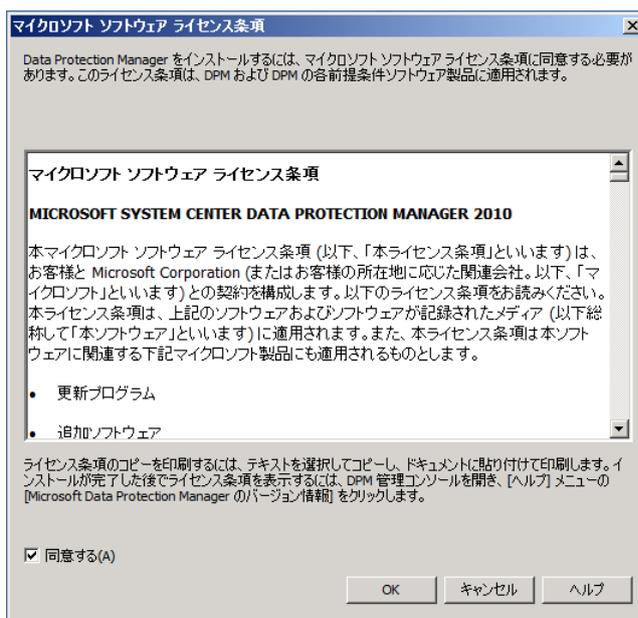
3.1.1 System Center Data Protection Manager 2010 サーバーのインストール

ここでは、SCDPM サーバーのインストール手順について記載します。

1. SCDPM サーバーに SCDPM2010 のディスクを挿入し、Setup.exe を実行します。
2. **【Data Protection Manager のインストール】** をクリックします。



3. **【同意する】** にチェックを入れ、**【OK】** をクリックします。

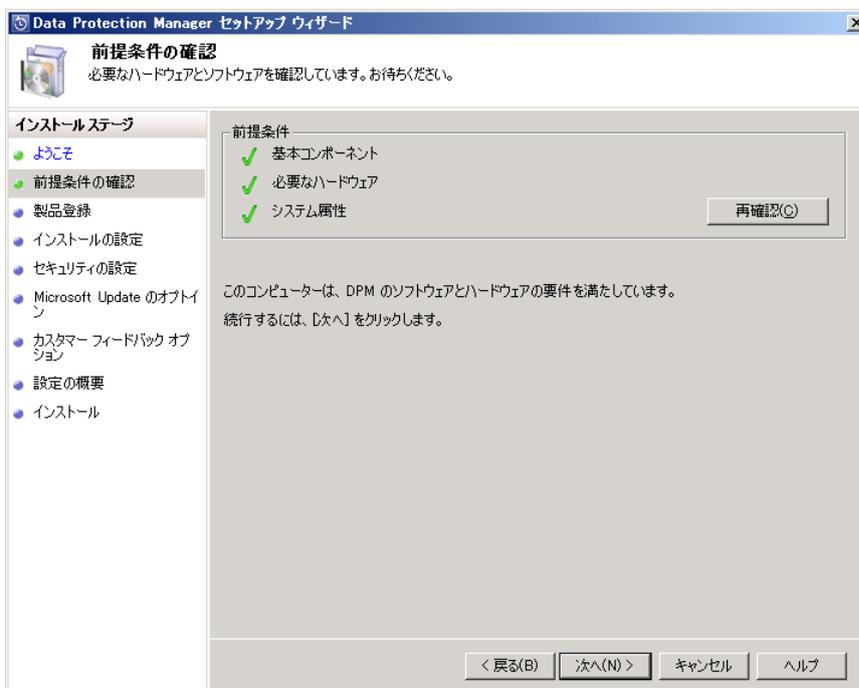


4. **【よろこそ】** 画面で、**【次へ】** をクリックします。

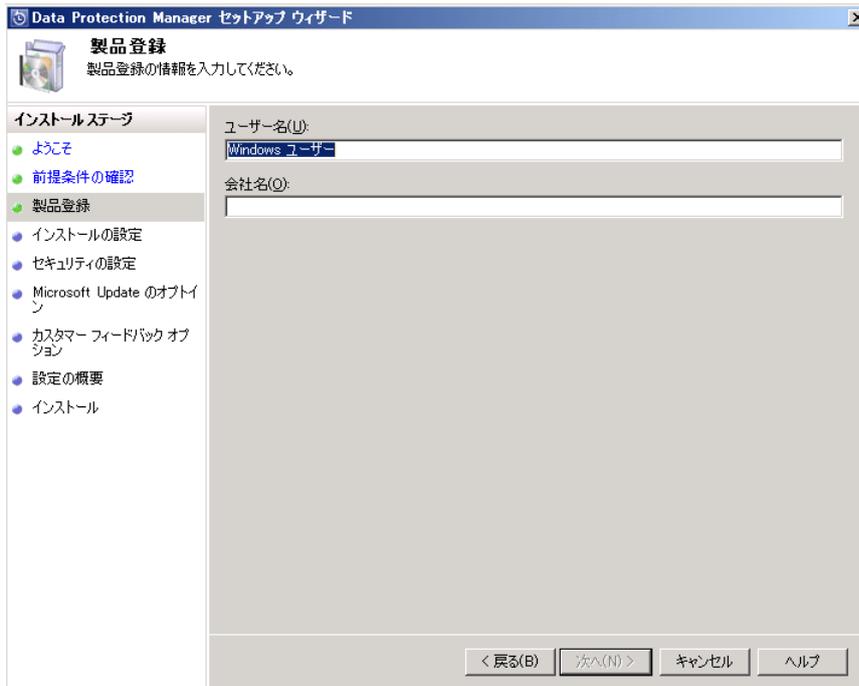


5. **【前提条件の確認】** 画面で、前提条件がすべてクリアされていることを確認し、**【次へ】** をクリックします。

前提条件がクリアされていない場合、**【次へ】** をクリックすると、自動的に不足コンポーネントのインストールが行われます。この場合、再起動が必要な場合があります。再起動後は手順 1 から再度行ってください。



6. **【製品登録】** 画面で、**【ユーザー名】** と **【会社名】** を入力し、**【次へ】** をクリックします。



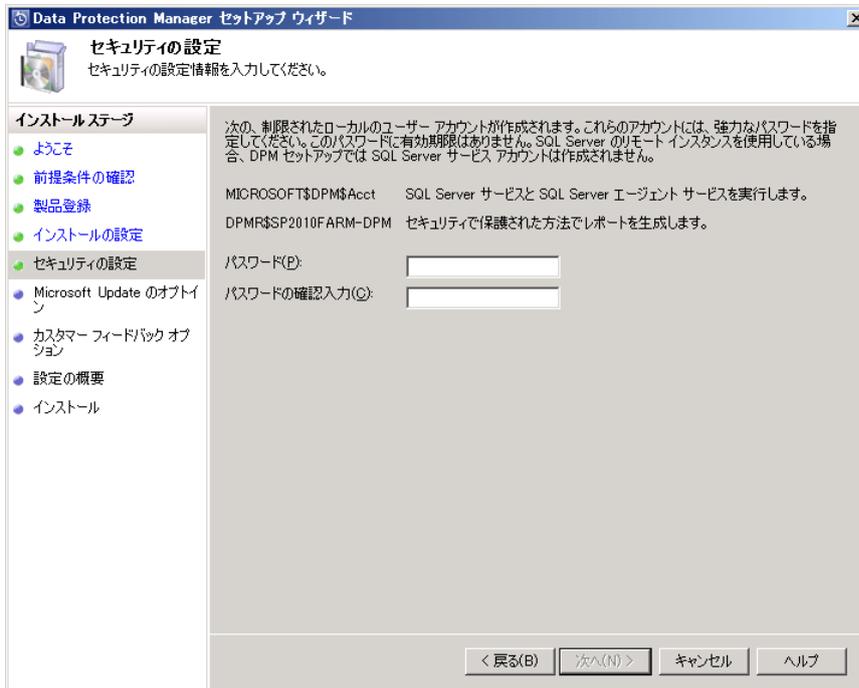
7. 【インストールの選択】画面で、SCDPM用のSQL Serverを新規インストールするか、既存SQL Serverを利用するかを選択し、【次へ】をクリックします。

ここでは、以下のように設定します。

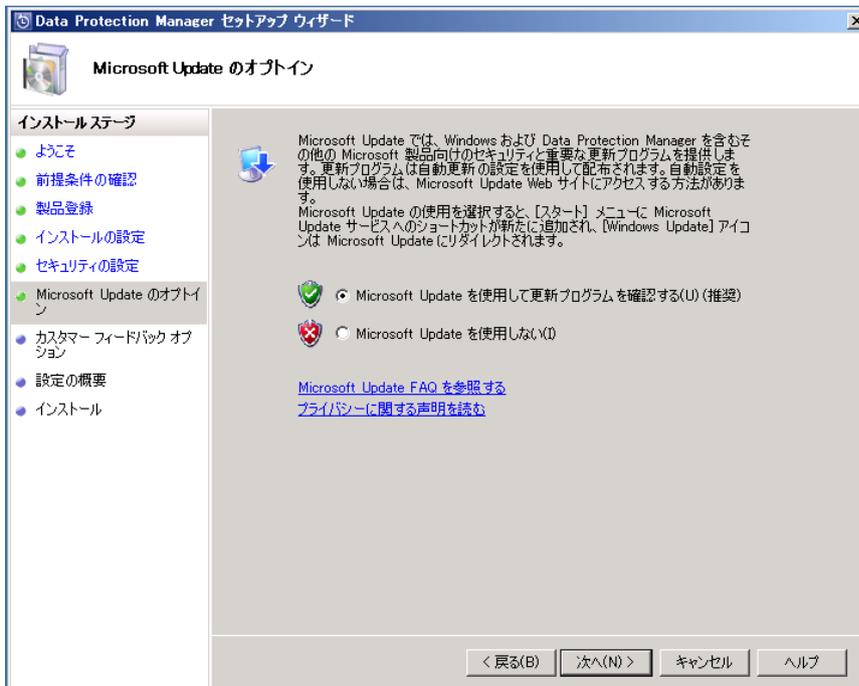
- 【SQL Serverの設定】：【SQL Serverの専用のMSDPM2010インスタンスを使用する（必要に応じて、DPMのインストール場所にインストール）】



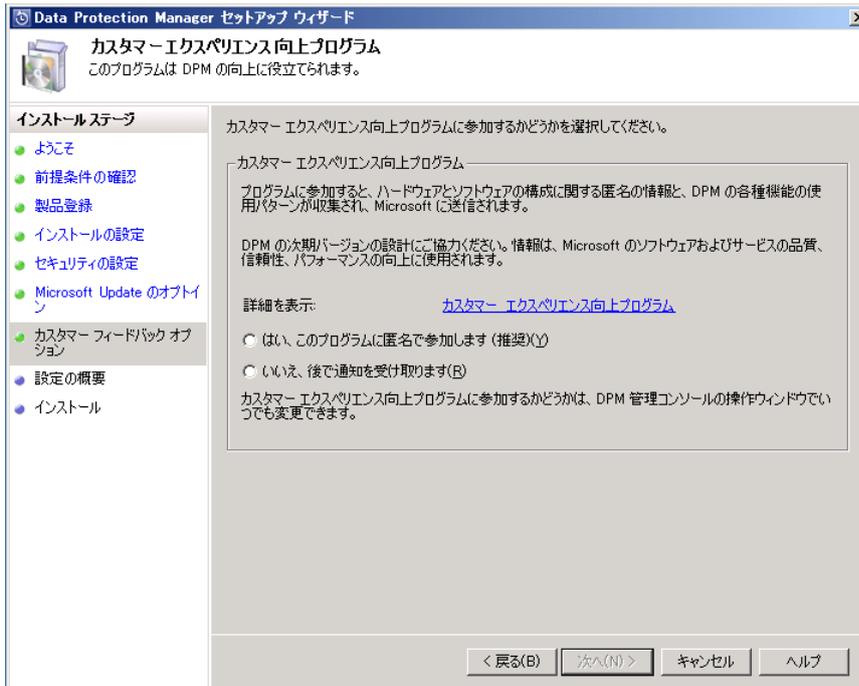
8. 【セキュリティの設定】画面で、パスワードを入力し、【次へ】をクリックします。



9. 【Microsoft Update のオプトイン】画面で、Microsoft Update を使用するかどうかを選択し、【次へ】をクリックします。



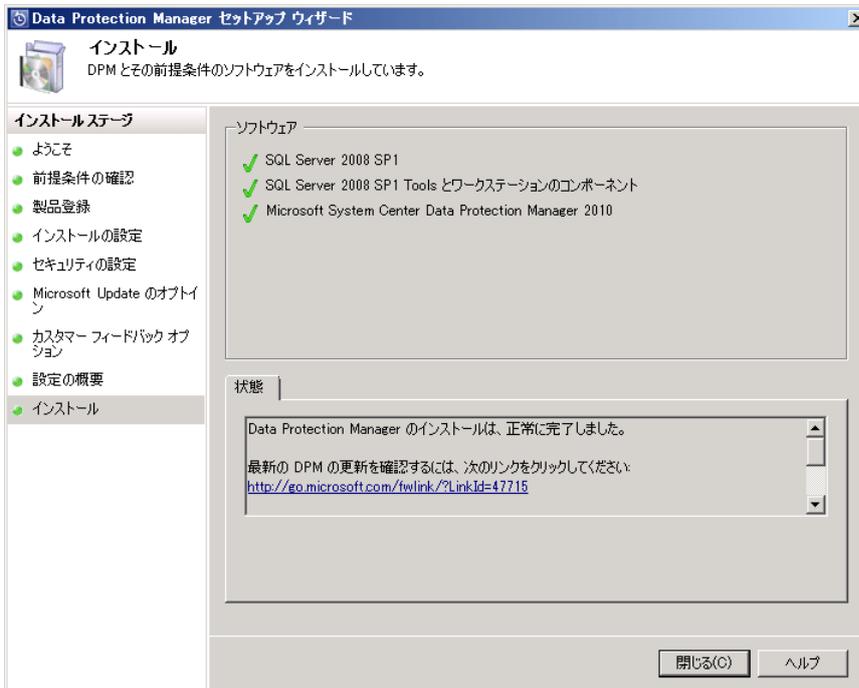
10. 【カスタマー エクスペリエンス向上プログラム】に参加するかどうかを選択し、【次へ】をクリックします。



11. 【設定の概要】画面で、設定内容を確認し、【インストール】をクリックします。



12. 【インストール】画面で、インストールが正常に完了したことを確認し、【閉じる】をクリックします。



3.1.2 System Center Data Protection Manager エージェントのインストール

SharePoint2010 サーバーに SCDPM2010 のエージェントをインストールする手順について記載します。
SCDPM2010 エージェントのインストールには、以下の 2 つがあります。

- 手動インストール
- 自動インストール

ここでは、手動インストールの手順について記載します。自動インストールを行う場合は、ファイアウォール設定等を事前に行う必要があります。

1. SharePoint2010 サーバーに SCDPM2010 のディスクを挿入します。
2. 【コマンドプロンプト】を【管理者として実行】します。
3. 「SCDPM2010 ディスクのディレクトリ」内の「Agents」フォルダーに移動し、以下のコマンドを実行します。

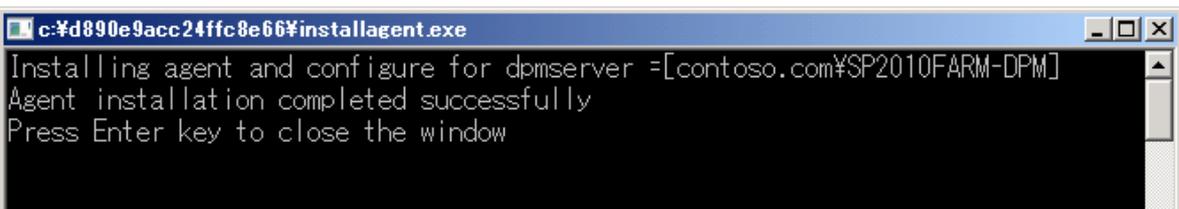
```
DPMAgentInstaller_[プラットフォーム名].exe [DPM のサーバー名]
```

ここでは、以下のように実行しています。

- フォルダ : D:\Agents
- コマンド : 「DPMAgentInstaller_x64.exe SP2010FARM-DPM.contoso.com」



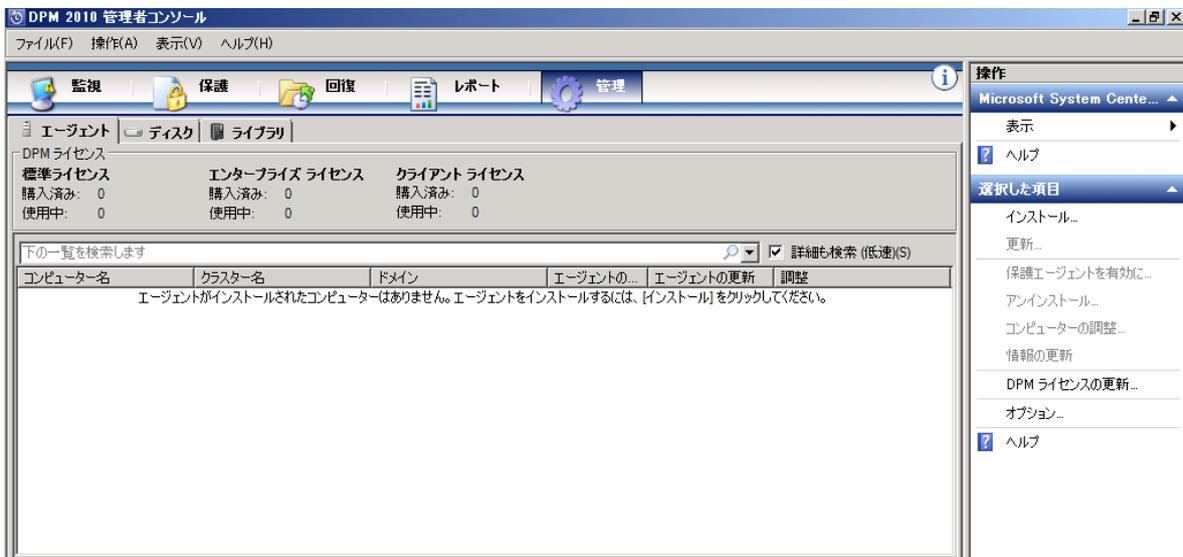
4. インストールが正常に完了したことを確認し、コマンドプロンプトを終了します。



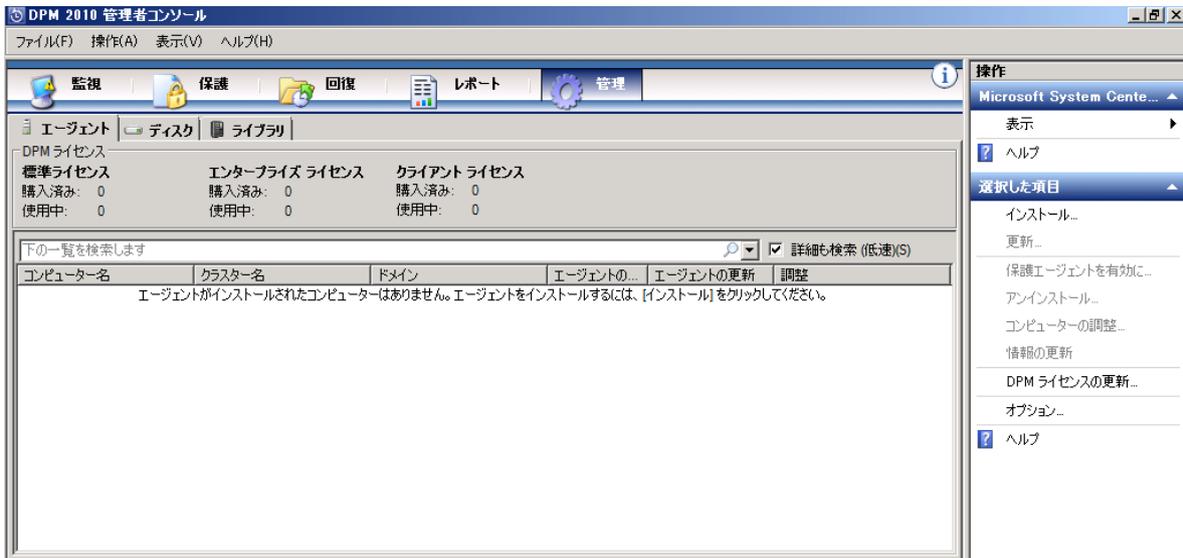
3.1.3 System Center Data Protection Manager への接続

SharePoint2010 サーバーで SCDPM2010 エージェントのインストール完了後、SharePoint2010 サーバーを SCDPM へ接続する必要があります。ここでは、SCDPM への接続に必要な手順について記載します。

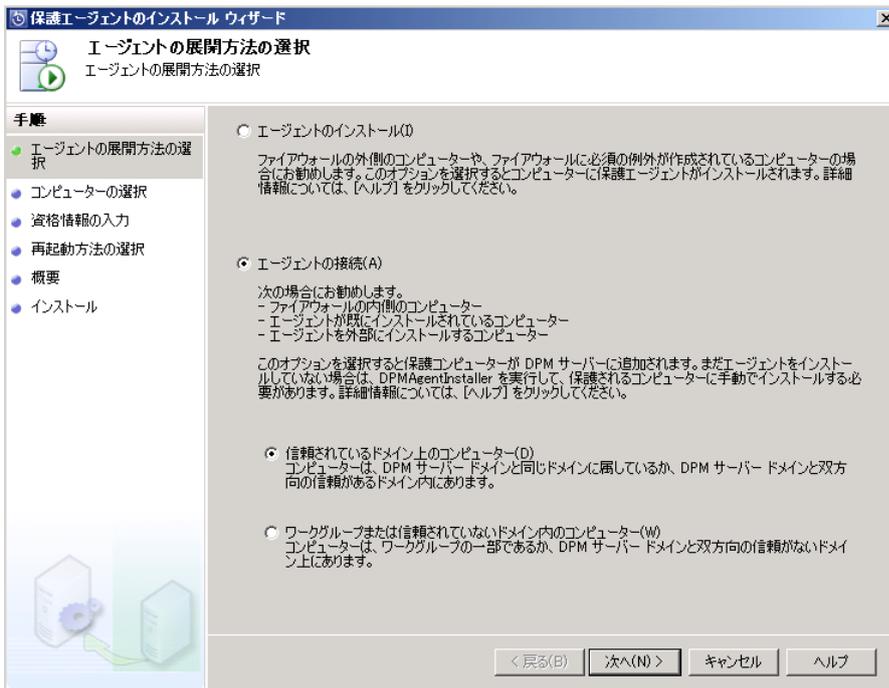
1. SCDPM 2010 サーバーで **[DPM2010 管理者コンソール]** を起動します。
2. ナビゲーションバーから **[管理]** をクリックし、**[エージェント]** タブを開きます。



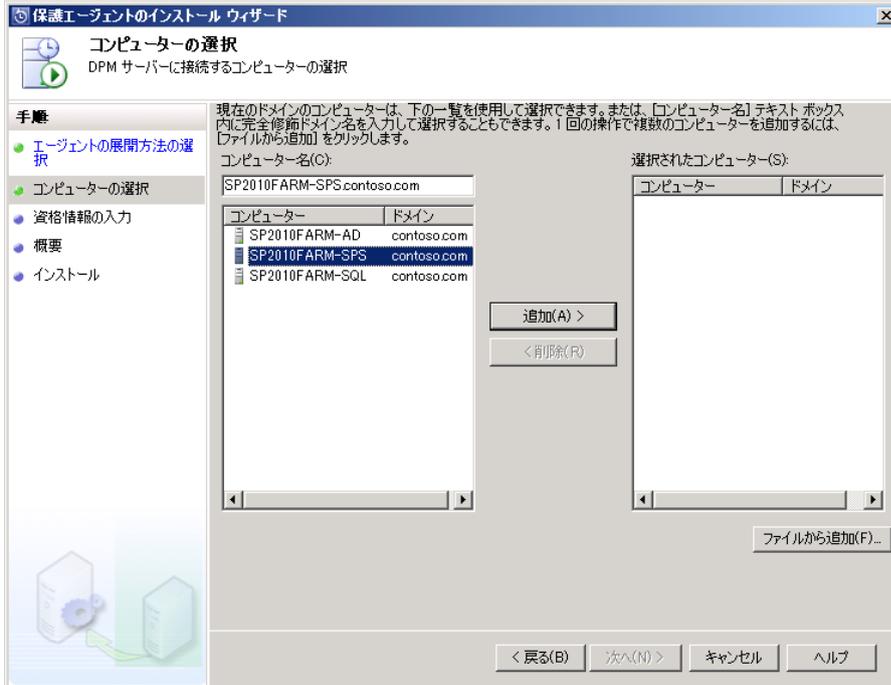
3. 右側操作ウィンドウから【インストール】を選択します。



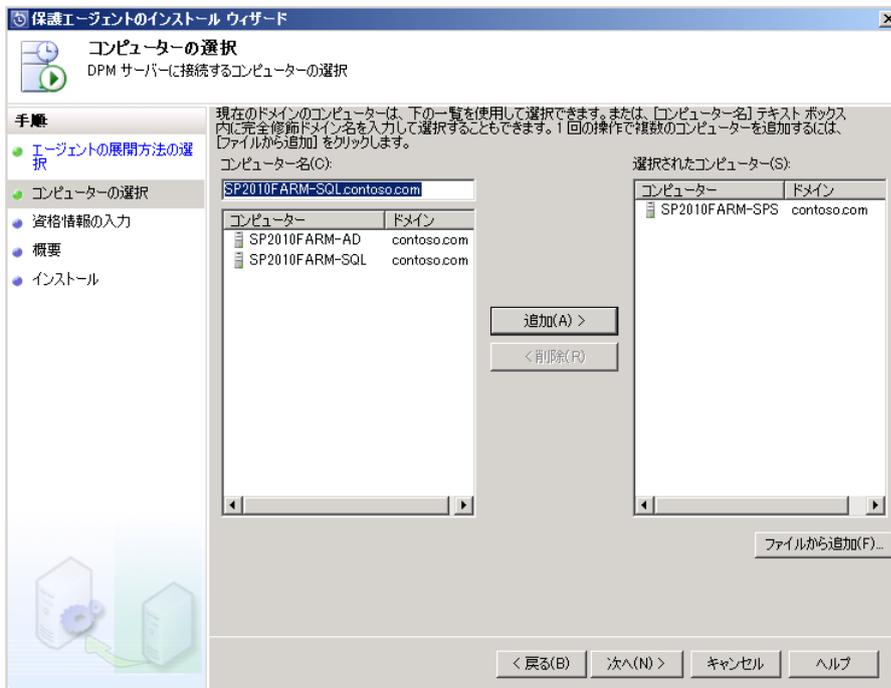
4. 【エージェントの展開方法の選択】画面で、既定のまま【次へ】をクリックします。



5. 【コンピューターを選択】画面で、【コンピューター名】から SharePoint2010 サーバーを選択し、【追加】をクリックします。



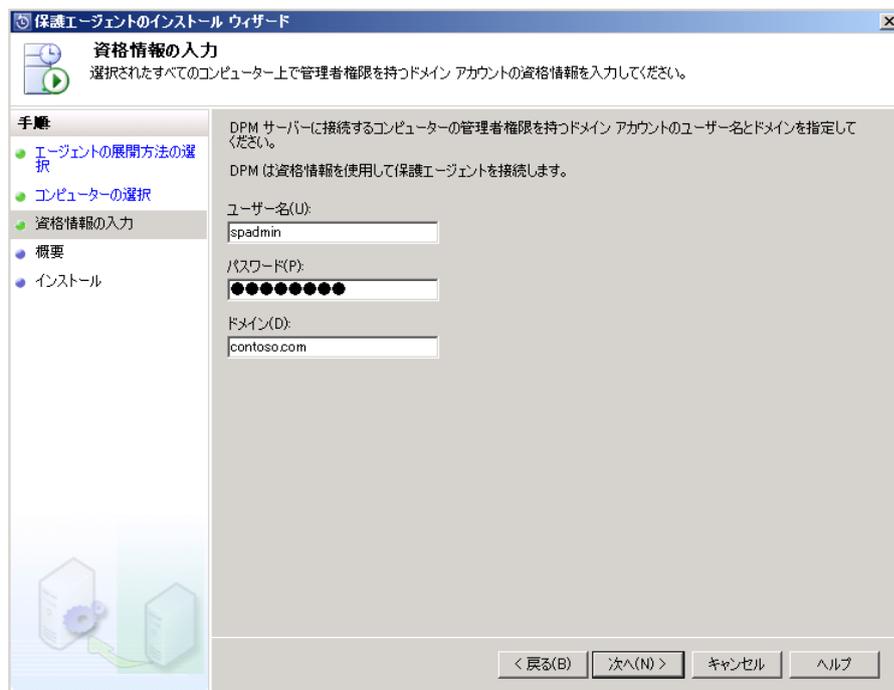
6. 【選択されたコンピュータ】に SharePoint2010 サーバーが含まれていることを確認し、【次へ】をクリックします。



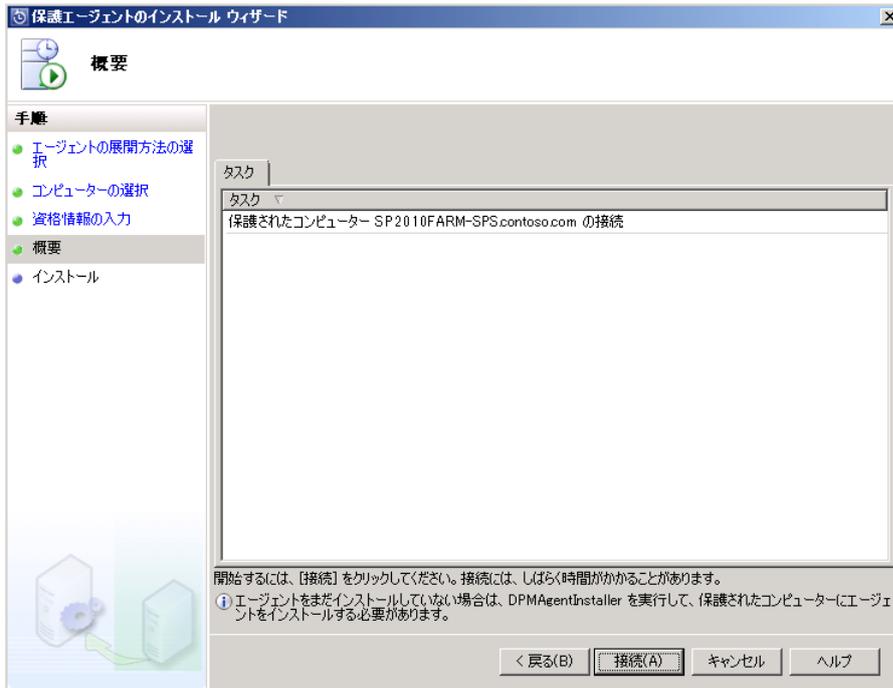
7. 【資格情報の入力】画面で、【ユーザー名】、【パスワード】、【ドメイン名】を入力し、【次へ】をクリックします。

ここで入力するユーザーアカウントは、SharePoint サーバーのローカル Administrators グループに所属しているドメインアカウントである必要があります。ここでは、以下のように実行しています。

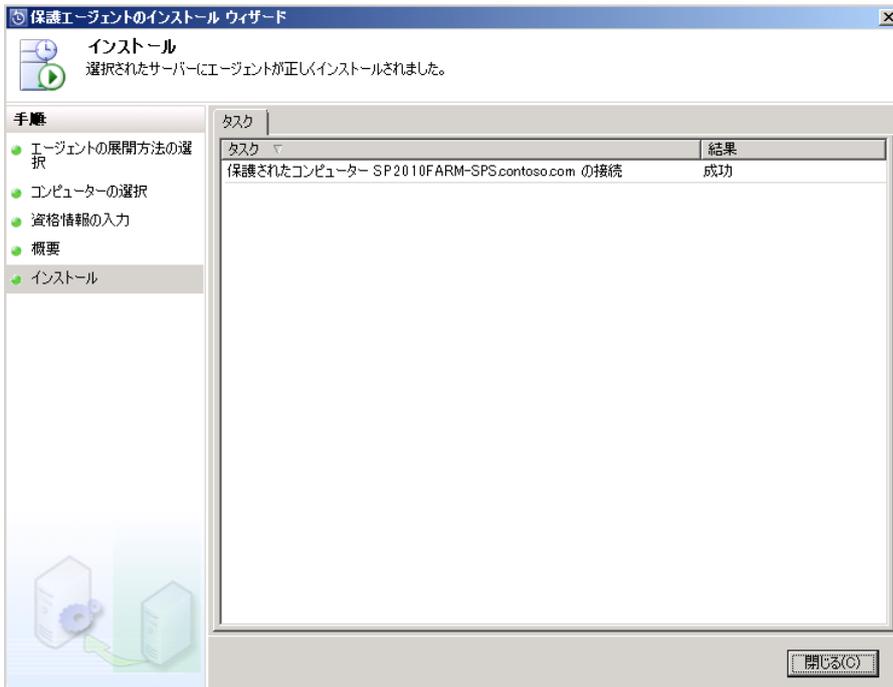
- 【ユーザー名】 : spadmin



8. 【概要】画面で【接続】をクリックします。



9. 【インストール】画面で、結果が「成功」と表示されていることを確認し、【閉じる】をクリックします。



3.1.4 SharePoint 実行サーバーの登録

SCDPM2010 でバックアップ・リストアを行う前に、SharePoint2010 サーバーが Microsoft SharePoint Server 2010 を実行するサーバーであることを、SDCPM2010 サーバーに認識させる必要があります。ここでは、その手順について記載します。

1. 【コマンドプロンプト】を【管理者として実行】します。
2. 「Program Files¥Microsoft Data Protection Manager¥DPM¥bin」に移動し、以下のコマンドを実行します。

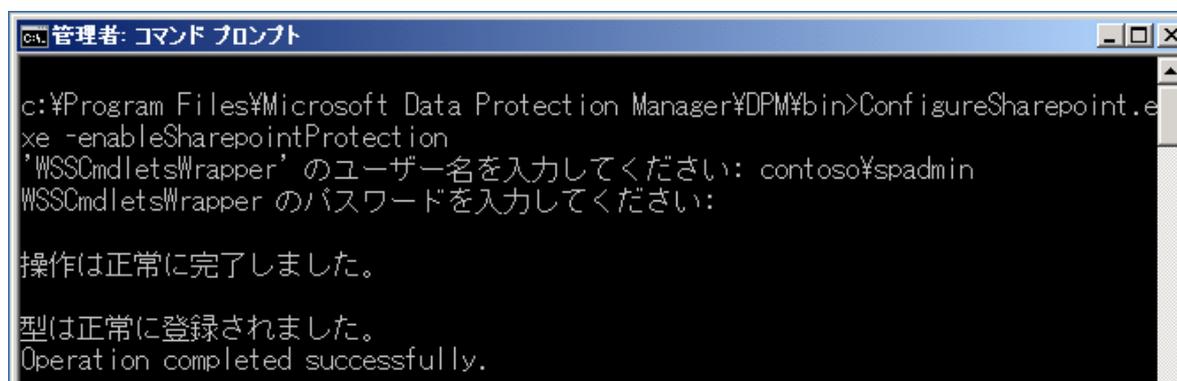
```
ConfigureSharePoint.exe -enableSharePointProtection
```



3. SharePoint システムアカウントの【ユーザー名】と【パスワード】を入力します。



4. 操作が成功したことを確認します。

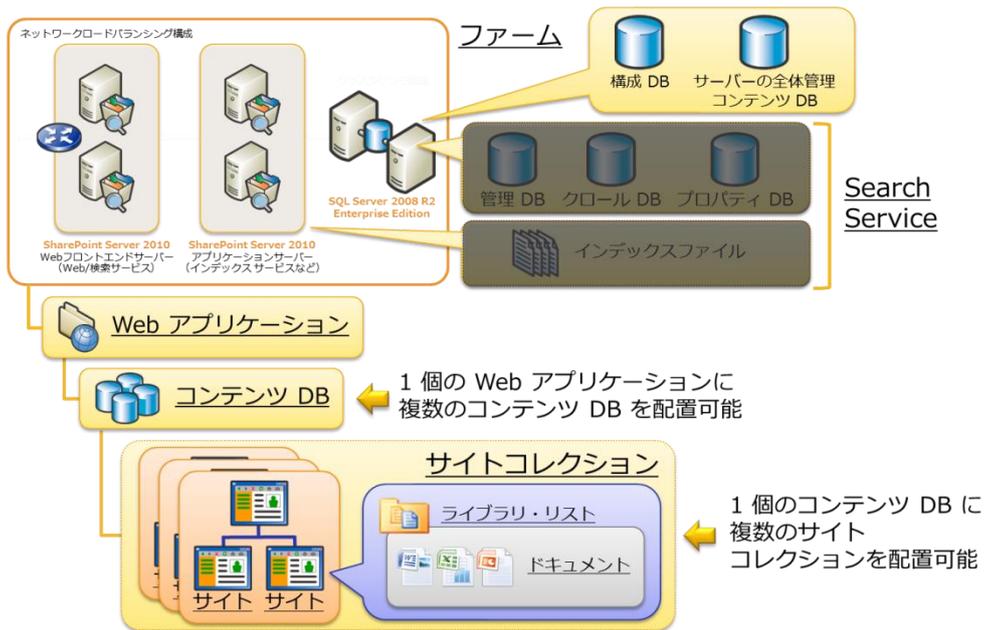


3.2 System Center Data Protection Manager 2010 を利用したバックアップ

SCDPM2010 を利用することで、以下のような、SharePoint2010 標準機能より高機能なバックアップを実現することが可能です。

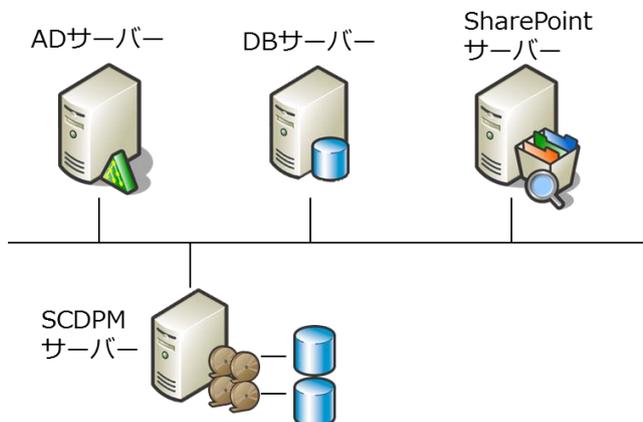
- バックアップ スケジューリング
- 高速なバックアップ
- バックアップ容量の圧縮
- テープバックアップ
- レポート

SharePoint2010 の標準機能では、以下に示される単位でバックアップ・リストアを行うことが可能です。



本章では、SCDPM2010 を利用したバックアップ方法について記載します。SCDPM では、リストア単位でバックアップ方法が異なりません。そのため、1 つのバックアップから上記の単位でリストアを行うことが可能です。

ここでは、SCDPM サーバー上に準備したディスクにバックアップを行います。



- バックアップ用にディスクを構成する

バックアップで使用するディスクを構成します。本手順は 1 度実行しておけば、再度実行する必要はありません。

ここでは、以下のアカウントを使用します。

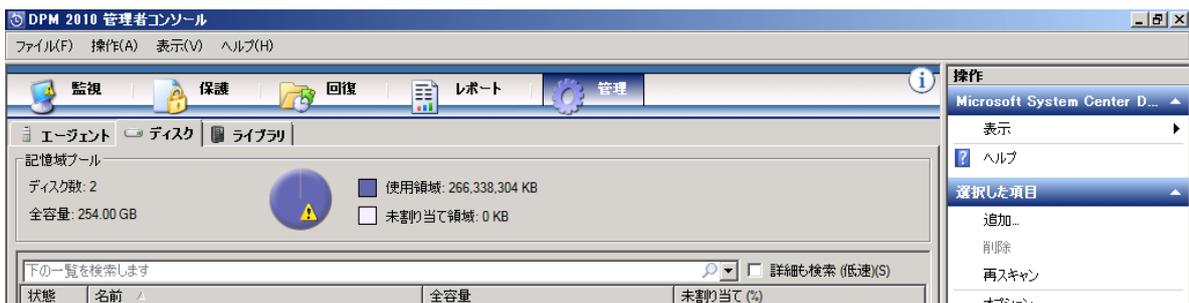
- アカウント名 : contoso¥dpmadmin
- 権限 : SCDPM サーバーのローカル Administrators グループのメンバー

1. **【DPM 2010 管理者コンソール】** を起動します。

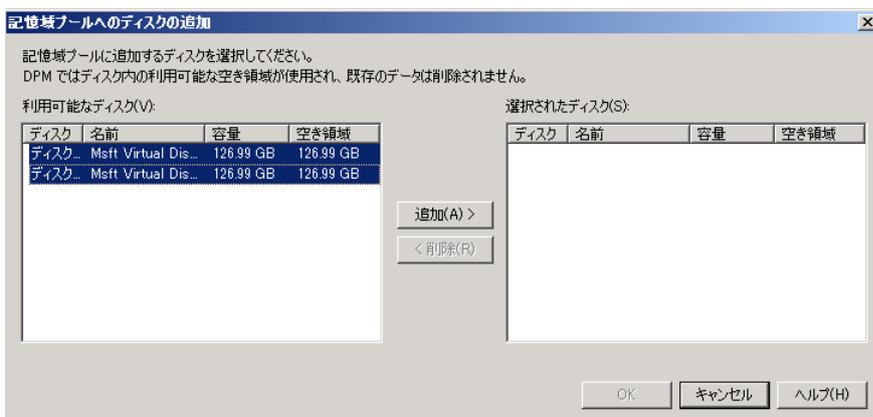
2. ナビゲーションバーから **【管理】** を選択します。



3. **【操作】** ウィンドウから **【追加】** をクリックします。



4. **【記憶域プールへのディスクの追加】** 画面で、**【利用可能なディスク】** からディスクを 2 つ選択し、**【追加】** をクリックします。



5. **【選択されたディスク】** にディスクが追加されたことを確認し、**【OK】** をクリックします。



ベーシックディスクを選択した場合は、以下の警告が表示されます。ここで、[はい] をクリックすると、ダイナミックディスクに変換されます。



6. ディスクが追加されたことを確認します。



- バックアップを実行する

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥dpmadmin
- 権限 : SCDPM サーバーのローカル Administrators グループのメンバー

1. **【DPM 2010 管理者コンソール】** を起動します。

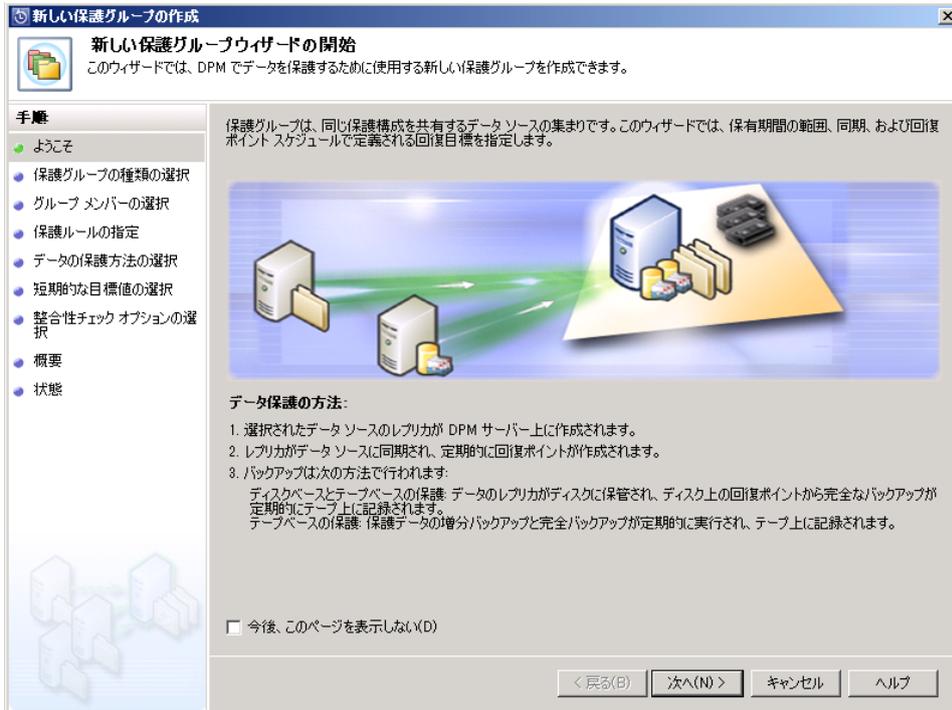
2. ナビゲーションバーから **【保護】** を選択します。



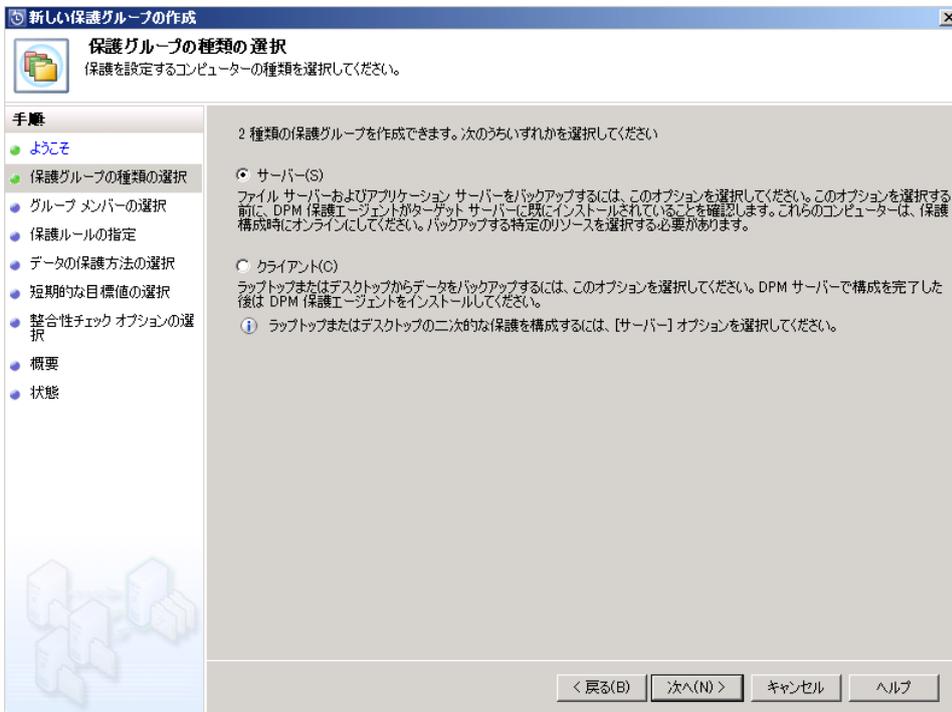
3. 右側操作ウィンドウから **【保護グループの作成】** を選択します。



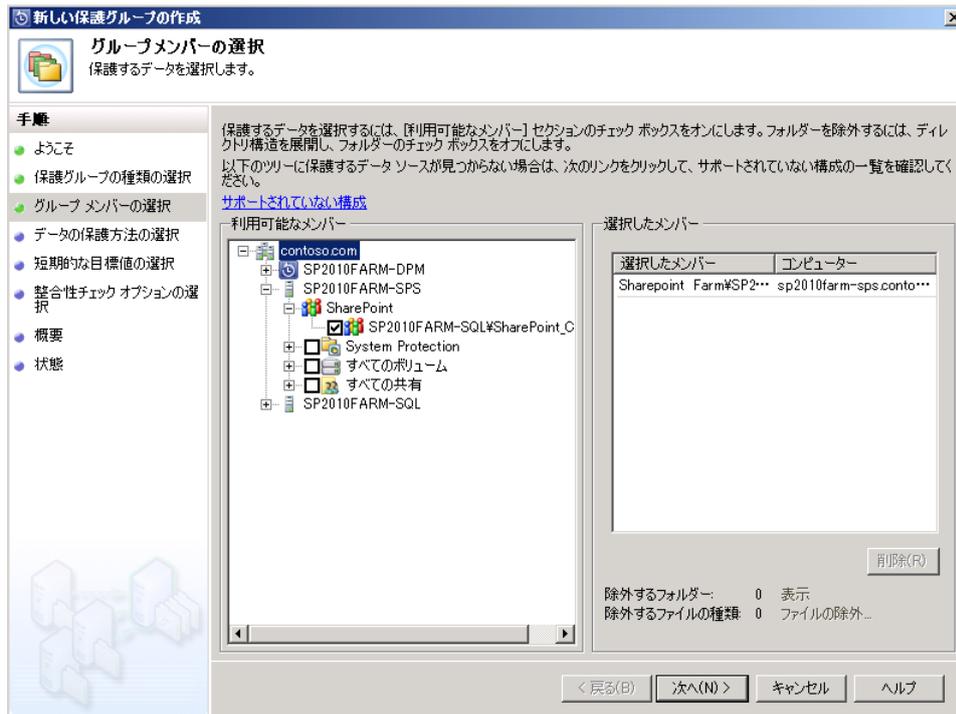
4. 【新しい保護グループウィザードの開始】画面で【次へ】をクリックします。



5. 【保護するグループの種類を選択】画面で【サーバー】を選択し、【次へ】をクリックします。



6. 【グループメンバーの選択】画面で、SharePoint サーバーを選択し、該当するファームを選択します。

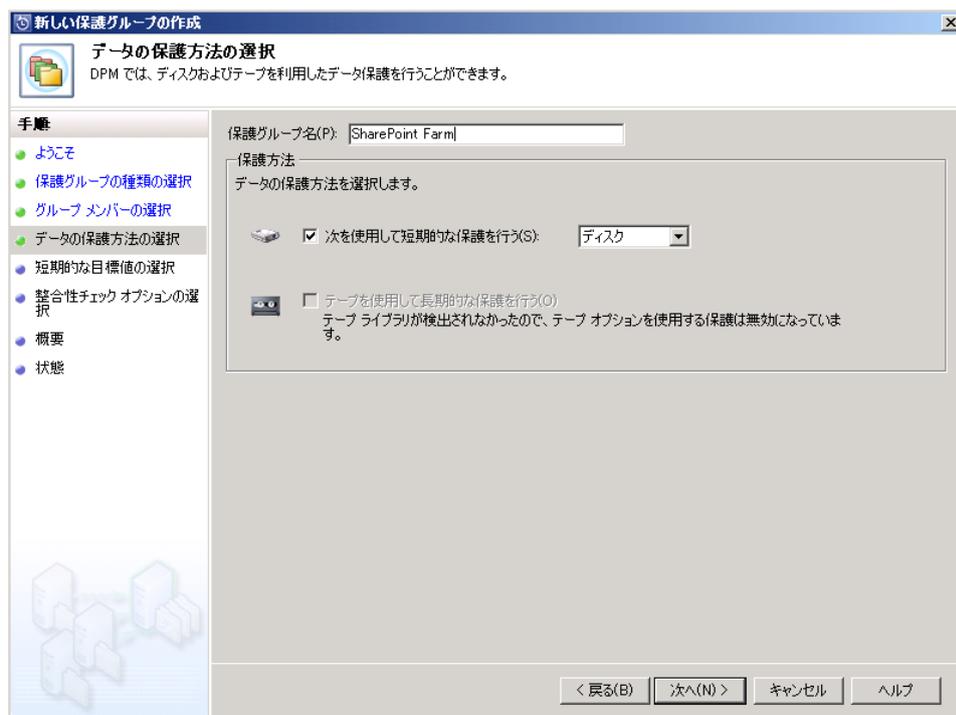


設定後、【次へ】をクリックします。

7. 【データの保護の選択】画面で、【保護グループ名】と【データの保護方法】を設定します。

ここでは、以下のように設定します。

- 【保護グループ名】：「SharePoin Farm」
- 【データの保護方法】：【次を使用して短期的な保護を行う】 - 【ディスク】

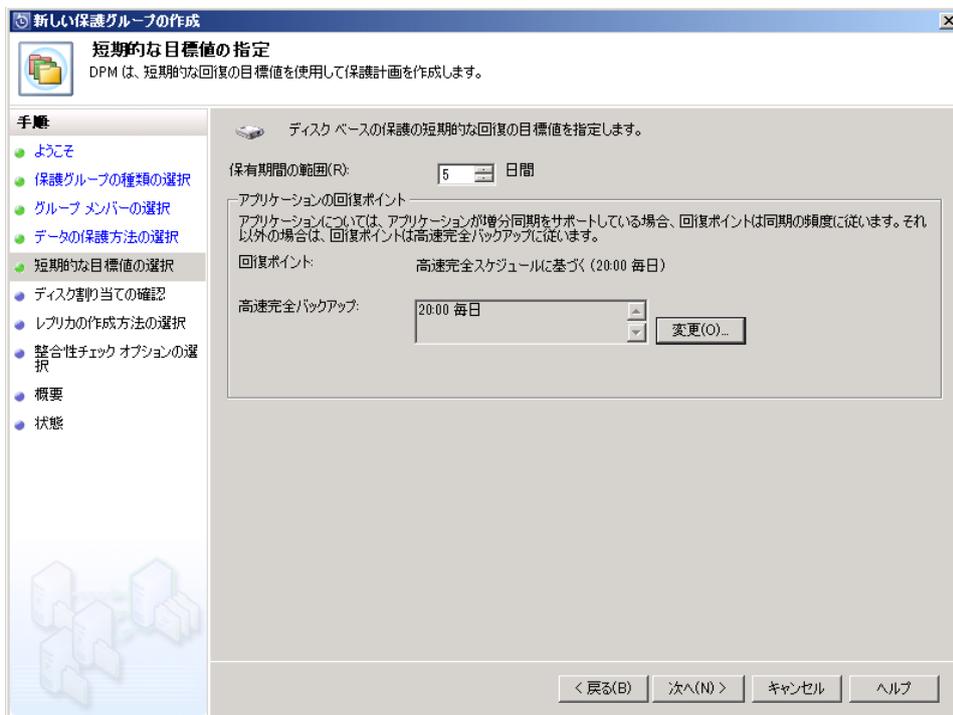


設定後、【次へ】をクリックします。

8. 【短期的な目標値の設定】画面で【保有期間の範囲】と【アプリケーションの回復ポイント】を設定します。

ここでは、以下のように設定します。

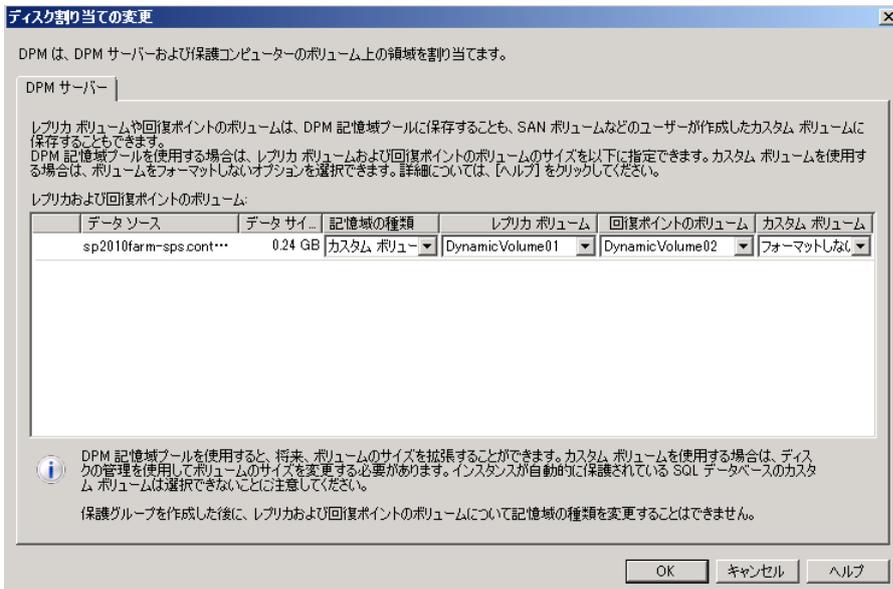
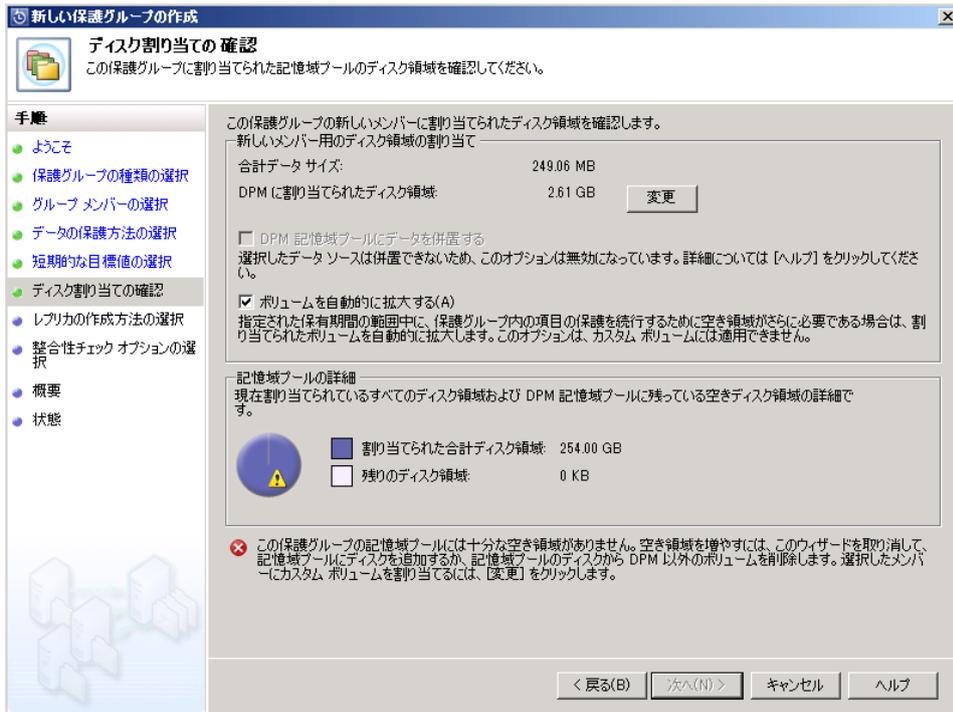
- 【保有期間の範囲】：「5」日間
- 【アプリケーションの回復ポイント】：（デフォルト）



設定後、【次へ】をクリックします。

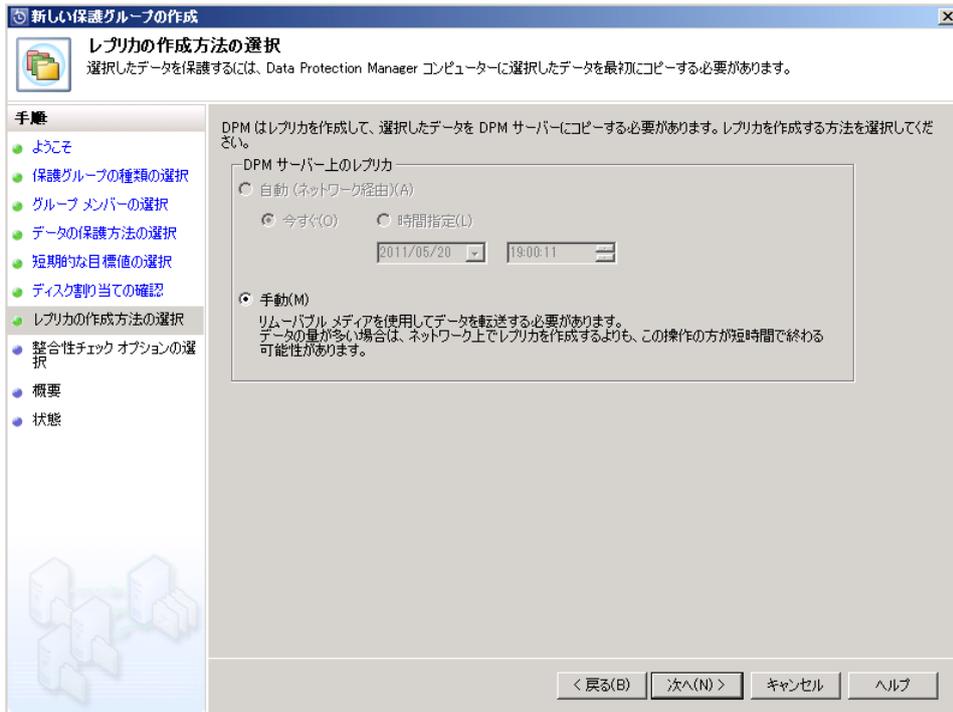
9. 【ディスク割り当ての確認】画面でディスク領域の割り当てを行います。

割り当てを行う場合は【新しいメンバー用のディスク領域の割り当て】から【変更】をクリックします。

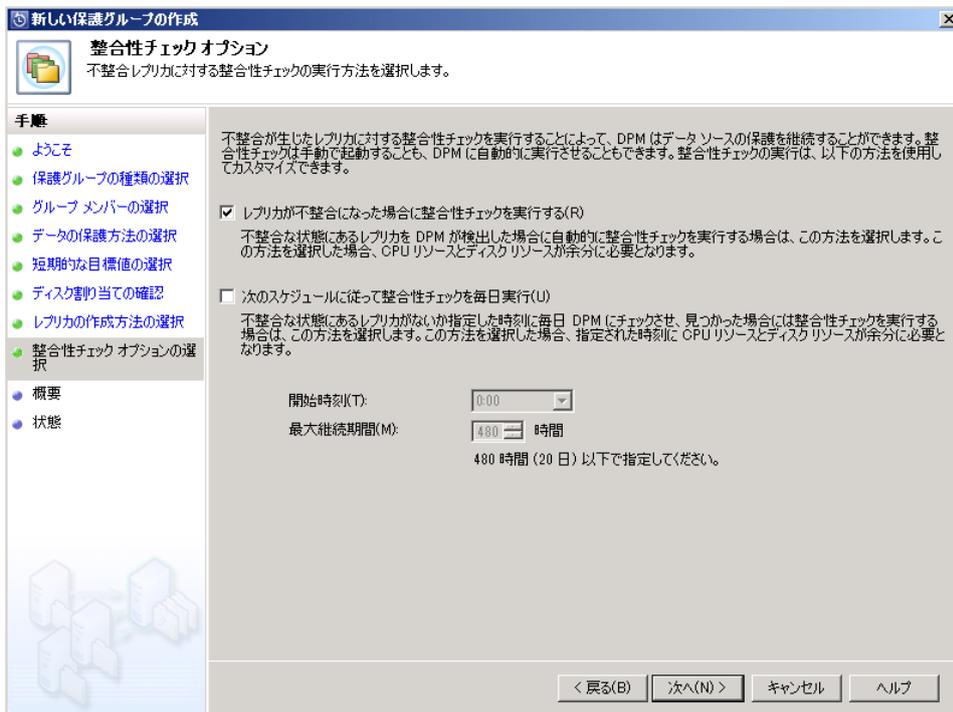


割り当てが完了したら、【ディスク割り当ての確認】画面で【次へ】をクリックします。

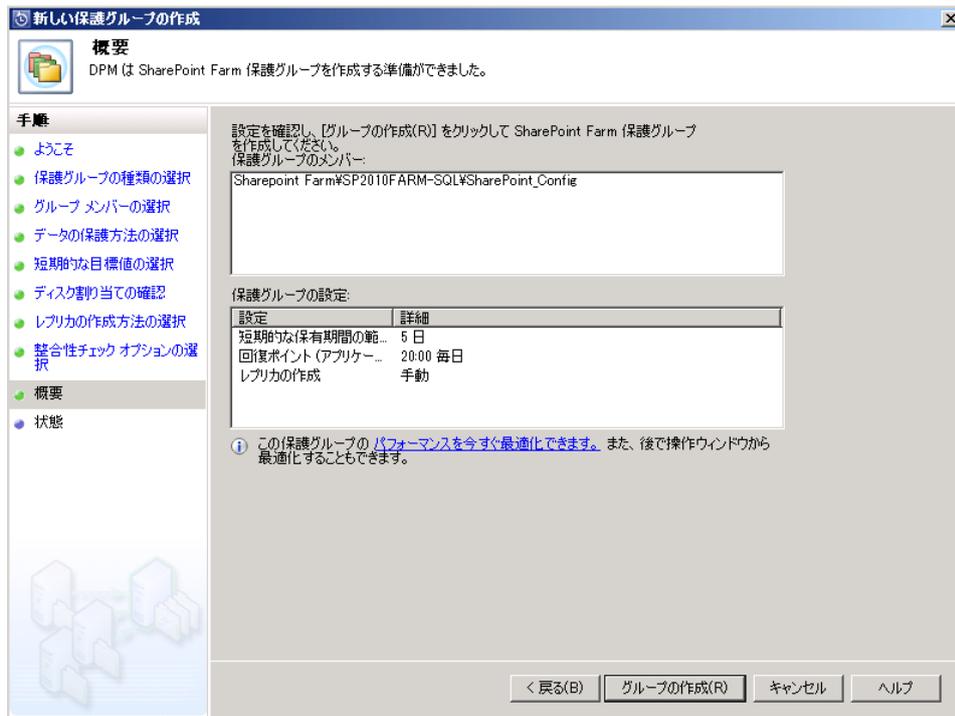
10. 【レプリカの作成方法の選択】画面で【DPM サーバー上のレプリカ】を設定し、【次へ】をクリックします。



11. [整合性チェックオプション] を選択し、[次へ] をクリックします。



12. [概要] 画面で設定内容を確認し、[グループの作成] をクリックします。



13. **【状態】** 画面で、結果が **【成功】** となっていることを確認し、**【閉じる】** をクリックします。



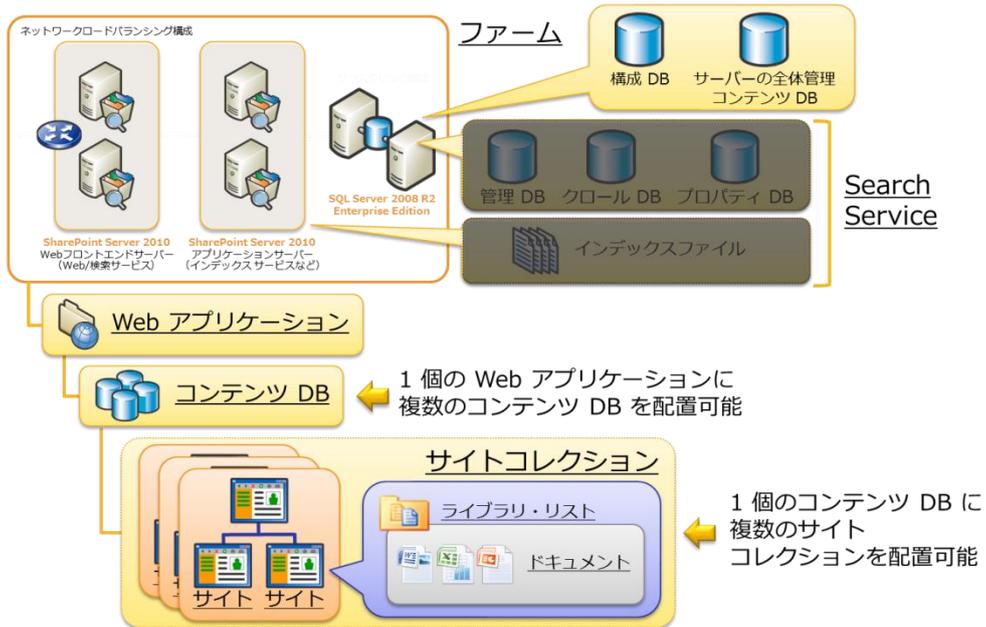
3.3 System Center Data Protection Manager 2010 を利用したリストア

SCDPM2010 を利用することで、以下のような、SharePoint2010 標準機能より高機能なリストアを実現することが

可能です。

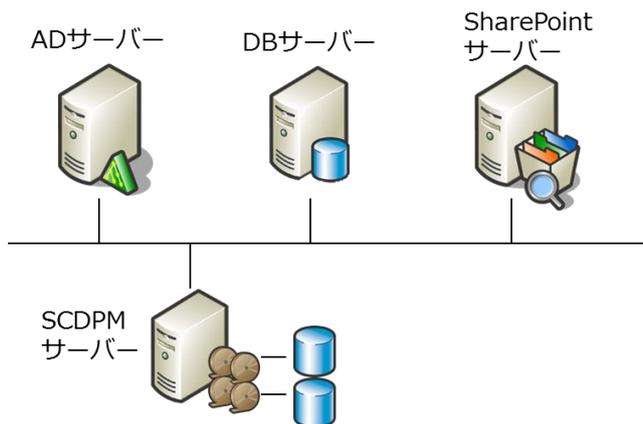
- ドキュメント・リストのアイテム単位のリストア
- リストア手順の自動化
- バックアップ履歴からのデータの検索

SharePoint2010 の標準機能では、以下に示される単位でバックアップ・リストアを行うことが可能です。
SCDPM2010 では、SharePoint2010 標準機能では対応していなかった、ライブラリ内のアイテムやリストアイテム単位でのリストアに対応しています。



本章では、SCDPM2010 を利用したリストア方法について記載します。

ここでは、SCDPM サーバー上に準備したディスクに取得されたバックアップからリストアを行います。



3.3.1 コンテンツデータベースのリストア

ここでは、以下のアカウントを使用します。

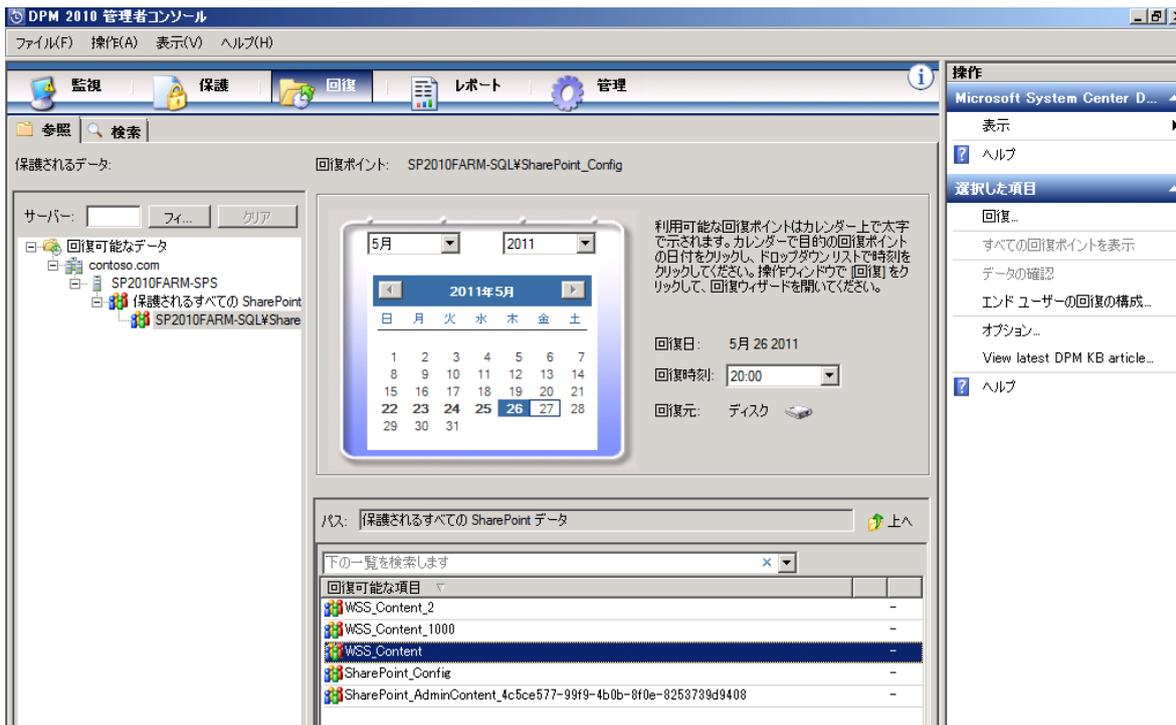
- アカウント名 : contoso¥dpmadmin
- 権限 : SCDPM サーバーのローカル Administrators グループのメンバー

1. **【DPM 2010 管理者コンソール】** を起動します。

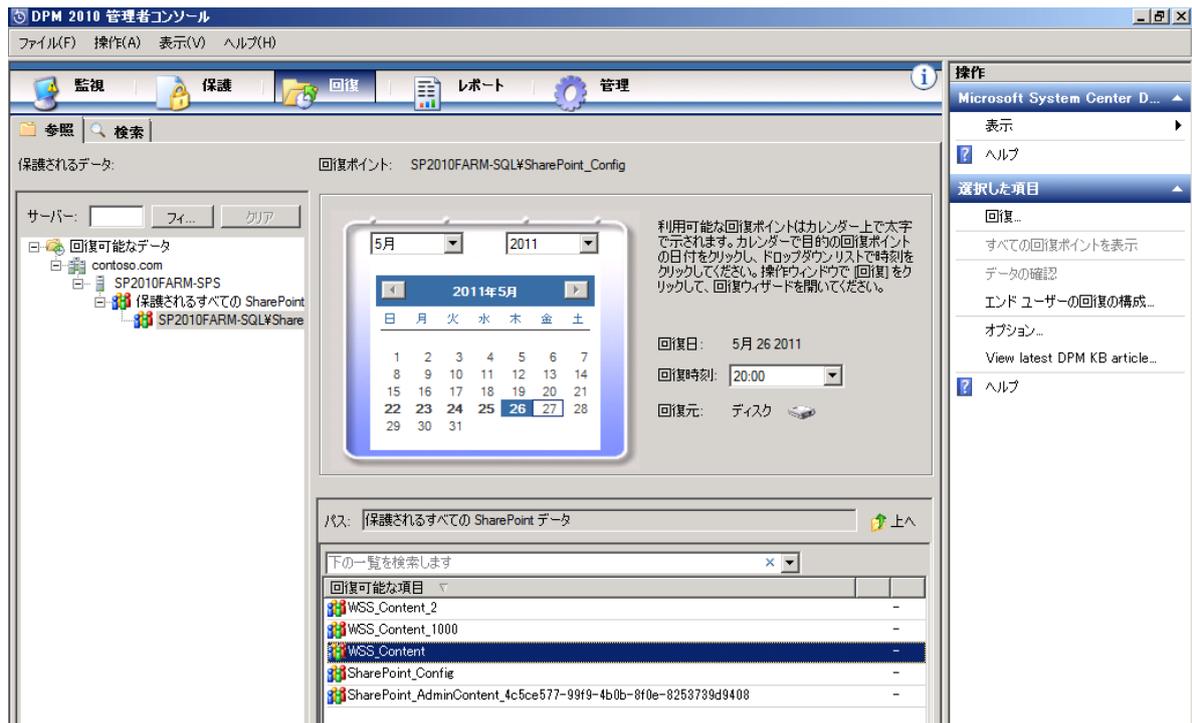
2. ナビゲーションバーから **【回復】** を選択します。



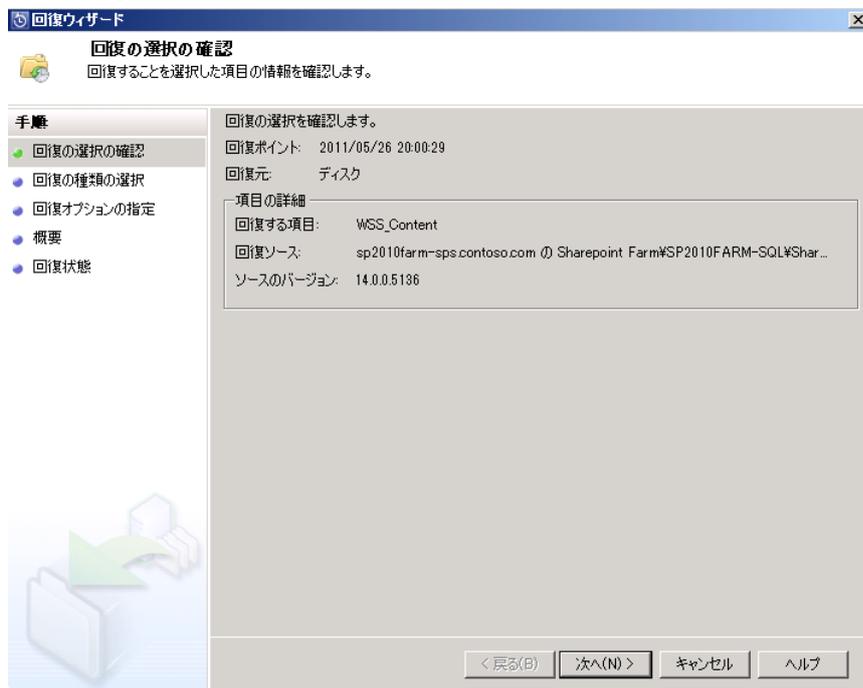
3. 画面中央のカレンダーから、復元したい **【回復ポイント】** を選択します。選択後、下に **【回復可能な項目】** が表示されます。ここから、復元対象のコンテンツデータベースを選択します。



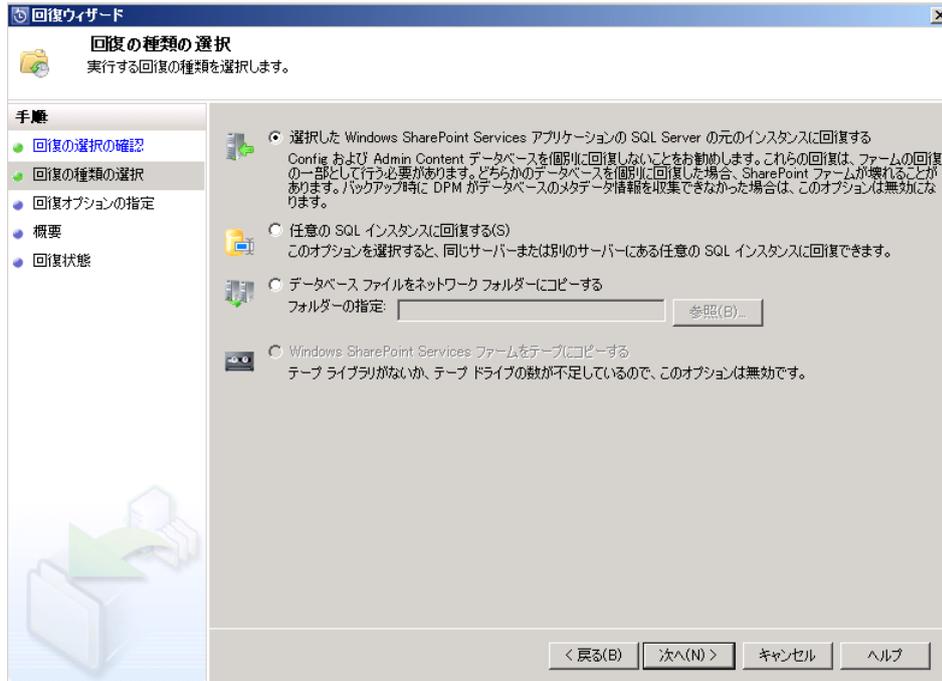
4. **【操作】** ウィンドウで **【回復】** をクリックします。



5. [回復の選択の確認] 画面で、[次へ] をクリックします。



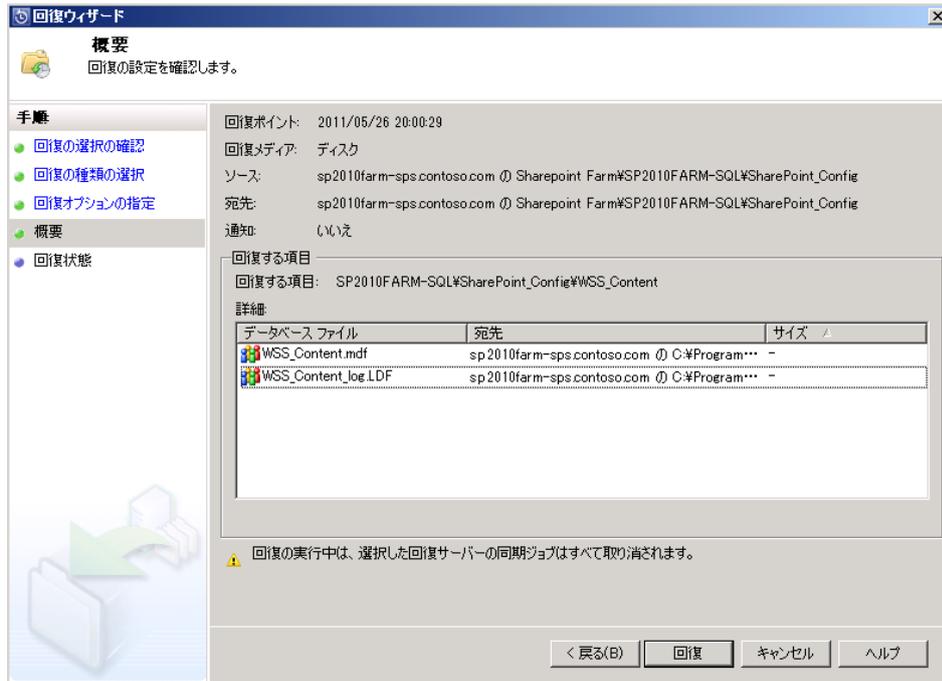
6. [回復の種類を選択] で、[選択した Windows SharePoint Service アプリケーションの SQL Server の元のインスタンスに回復する] を選択し、[次へ] をクリックします。



7. [回復オプションの指定] で、必要なオプションを選択し、[次へ] をクリックします。



8. 設定内容を確認し、[回復] をクリックします。



9. リストアが正常に完了したことを確認します。



3.3.2 コンテンツのリストア

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥dpmadmin
- 権限 : SCDPM サーバーのローカル Administrators グループのメンバー

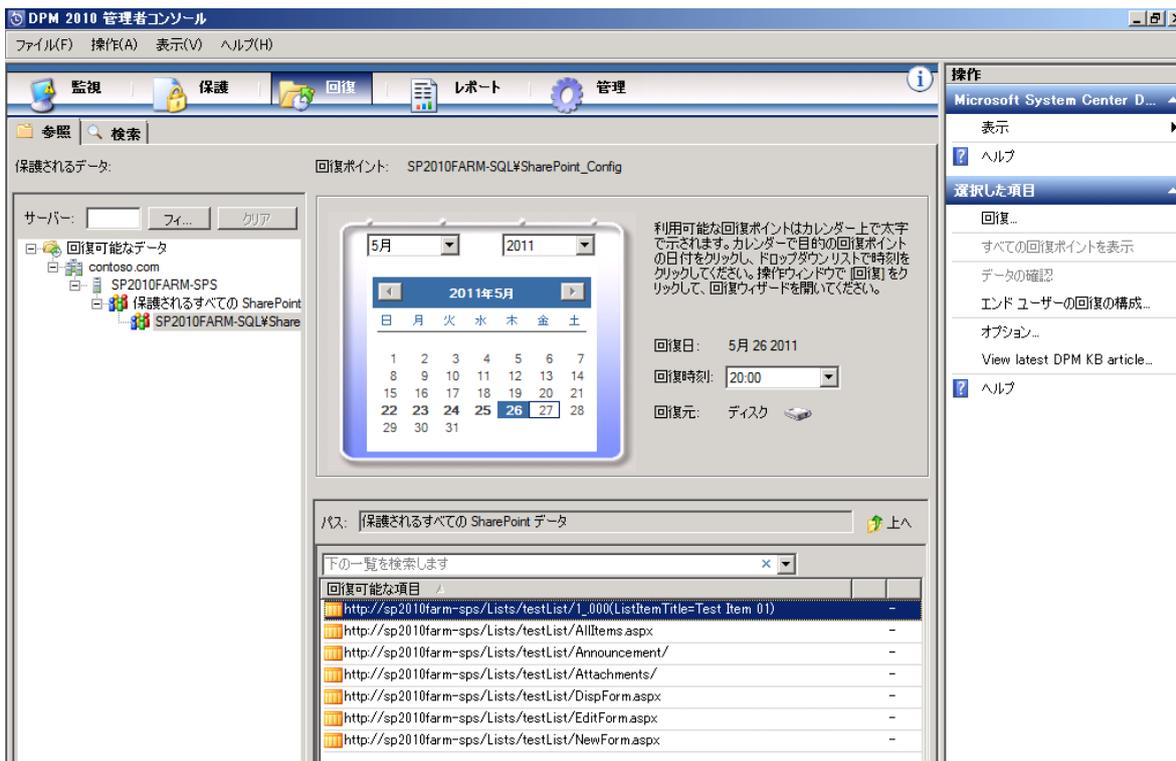
1. **【DPM 2010 管理者コンソール】** を起動します。

2. ナビゲーションバーから **【回復】** を選択します。



3. 復元対象のコンテンツを選択します。ここでは、バックアップを取得した日から復元対象のコンテンツを探して選択します。

画面左部で[参照]タブを選択した状態で、画面中央のカレンダーから、復元したい [回復ポイント] を選択します。回復ポイントの選択後、下に [回復可能な項目] が表示されます。ここから、復元対象のコンテンツを選択します。



また、上記以外の復元対象のコンテンツを選択する方法として、バックアップデータから復元対象を検索して選択する方法があります。

画面左部で[検索]タブを選択し、以下の操作を行います。

- (1) [検索パラメータ]の[検索]の値をドロップダウンで[SharePoint]を選択します。
- (2) [SharePoint 検索]にて、検索対象・検索キーワード・SharePoint ファーム名・URL を必要に応じて入力します。
- (3) [回復ポイント]にて、復元したいタイミングの回復ポイントを開始日・終了日の範囲で指定します。
- (4) 上記の設定が完了後、[検索]ボタンをクリックし、画面右部に表示された検索結果から復元対象のコンテンツを選択します。

The screenshot shows the 'DPM 2010 管理者コンソール' (Administrator Console) window. The '検索' (Search) tab is selected. The interface is divided into two main sections: '検索パラメーター' (Search Parameters) on the left and '検索結果' (Search Results) on the right.

検索パラメーター (Search Parameters):

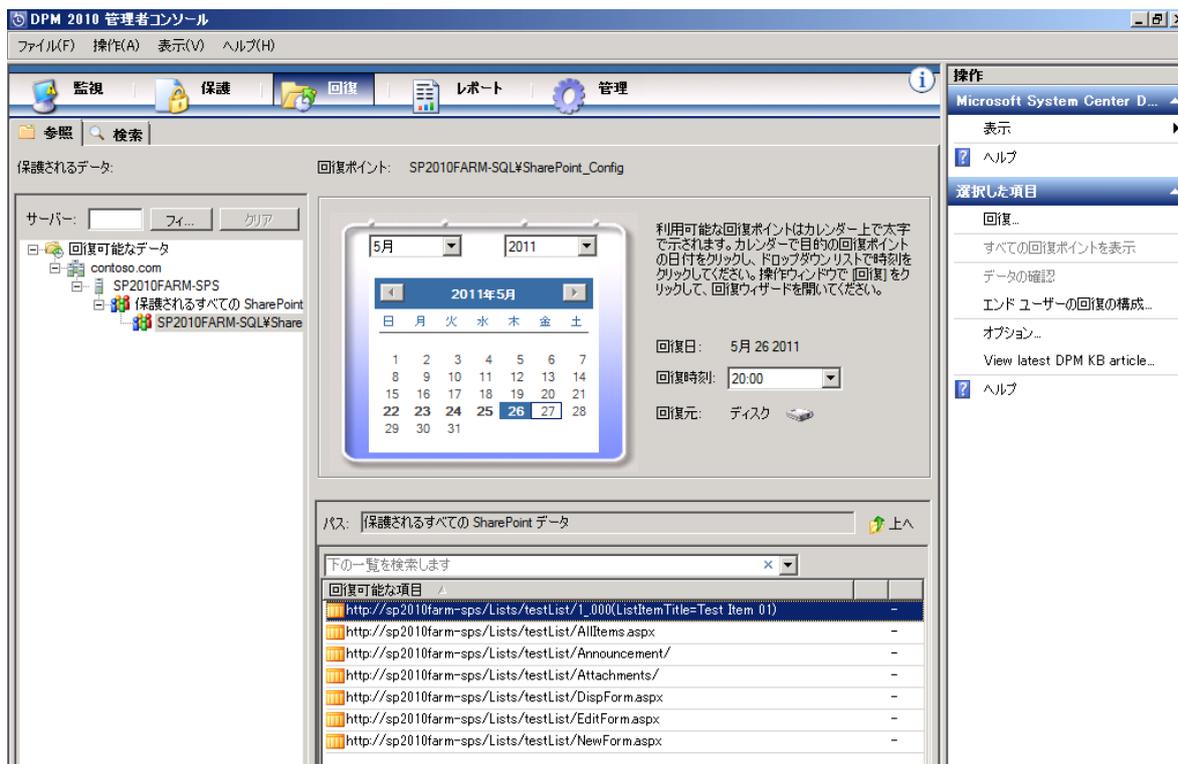
- 検索:** A dropdown menu with 'SharePoint' selected.
- SharePoint 検索 (SharePoint Search):**
 - サイトを検索する (Search sites)
 - ドキュメントを検索する (Search documents)
- 名前:** A text input field containing 'test'.
- SharePoint ファーム名:** A dropdown menu with 'SP2010FARM-SQL\$SharePoint_Config' selected.
- URL 内のみを検索する (Search only within URL)
- 例:** http://SharePoint01/sites/mysite

回復ポイント (Recovery Point):

- 回復ポイントの範囲 (Recovery Point Range):**
 - 開始:** 2011/08/12
 - 終了:** 2011/08/19

At the bottom of the search parameters section, there are two buttons: '検索(S)' (Search) and 'キャンセル(C)' (Cancel).

4. [操作] ウィンドウで [回復] をクリックします。



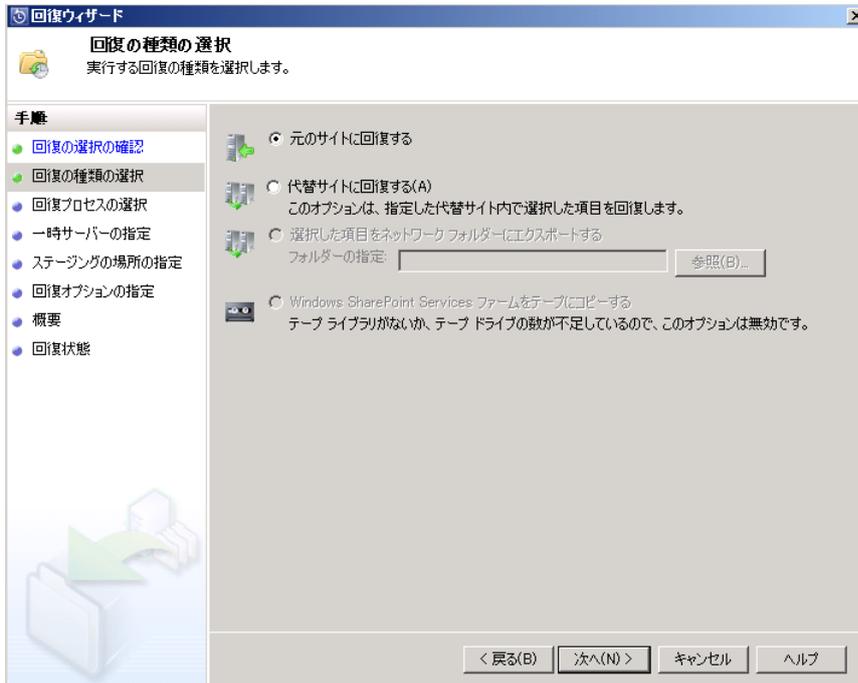
5. [回復の選択の確認] 画面で、[次へ] をクリックします。



6. [回復の種類を選択] を選択し、[次へ] をクリックします。

ここでは、以下の設定を使用します。

- [回復の種類を選択] : [元のサイトに回復する]



7. [回復プロセスの選択] を選択し、[次へ] をクリックします。

ここでは、以下の設定を使用します。

- [回復プロセスの選択] : [回復ファームを使用しないで回復する]

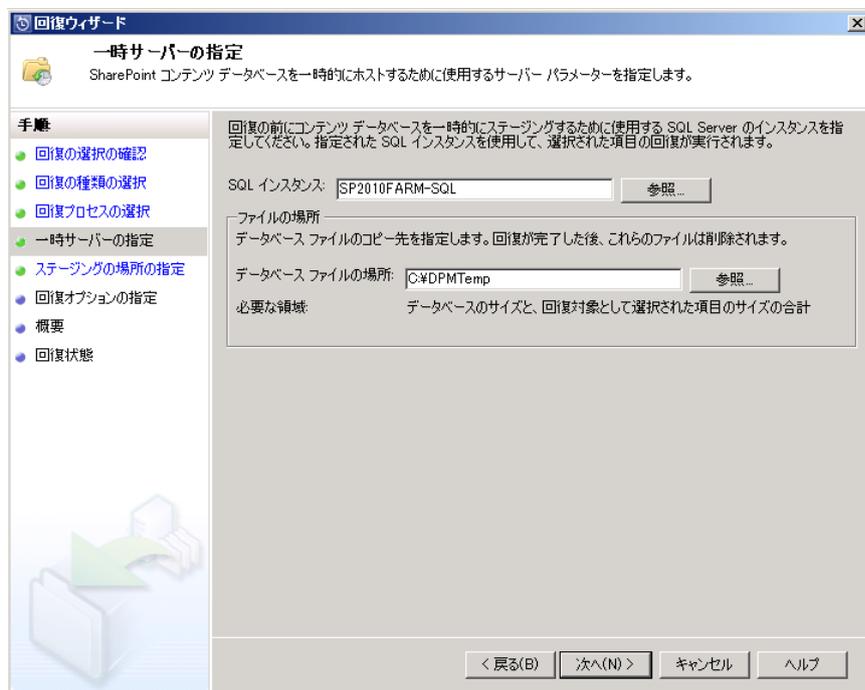


8. [一時サーバーの指定] で、コンテンツデータベースを一時的にステージングするために使用する SQL Server を指定し、

[次へ] をクリックします。

ここでは、以下の設定を使用します。

- [SQL インスタンス] : [SP2010FARM-SQL]
- [ファイルの場所] : 「C:¥DPMTemp」

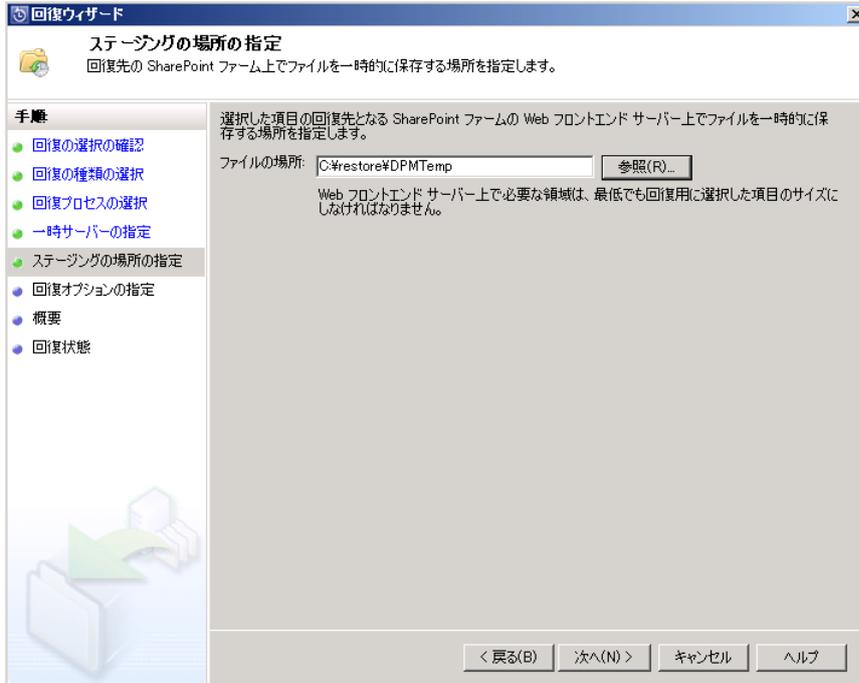


- ここで選択する SQL Server は、SharePoint ファームで利用している SQL Server のバージョンと同一、もしくはより新しいバージョンである必要があります。

9. [ステージングの場所の指定] で、SharePoint サーバー上のファイル保存場所を入力し、[次へ] をクリックします。

ここでは、以下の設定を使用します。

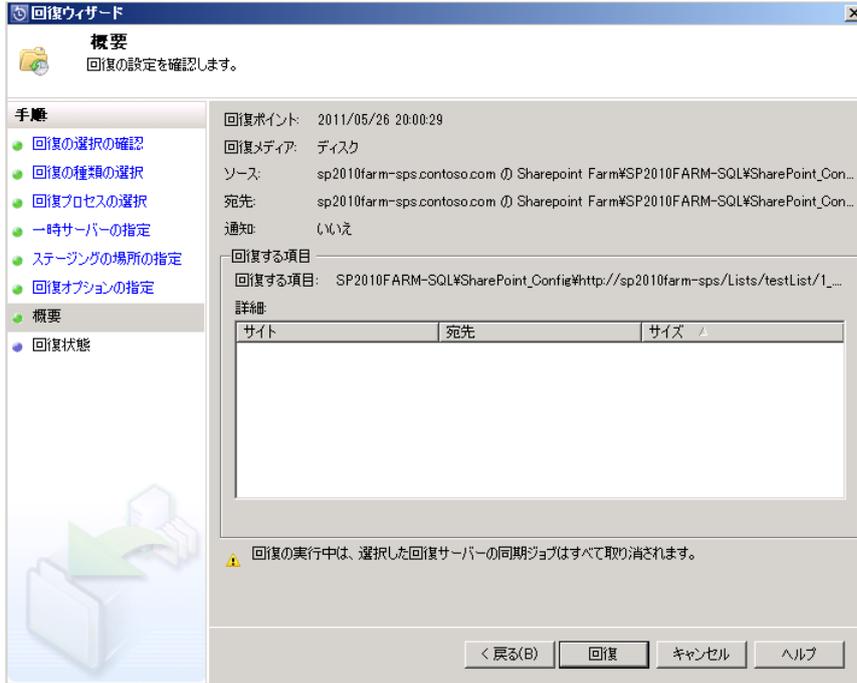
- [ファイルの場所] : 「C:¥restore¥DPMTemp」



10. [回復オプションの指定] で、必要なオプションを選択し、[次へ] をクリックします。



11. 設定内容を確認し、[回復] をクリックします。



12. リストアが正常に完了したことを確認します。



第4章 カスタムソリューションのバックアップ・リストア

4.1 カスタムソリューションの形式と展開方式

障害復旧時にカスタムソリューションのリストアを期待通りに行うには、カスタムソリューションを「ソリューションパッケージ」(.wsp ファイル)として展開することを強く推奨します。

ここでは、SharePoint 2010 サイト向けのカスタムソリューションの形式と展開方式について説明します。

SharePoint2010 では、Microsoft SharePoint Designer 2010 または Microsoft Visual Studio 2010 を使用してソリューションパッケージを作成できます。ソリューションパッケージとは、展開および再利用が可能なファイルであって、サイトに適用されるフィーチャー（機能）、サイト定義、アセンブリのセットを含めることができ、また個別に有効または無効にできるものです。ソリューションパッケージは「.wsp」という拡張子を持つ形式のファイルとして作成されます。

SharePoint 2010 では、ソリューションパッケージを用いる以外にも、エクスポートした Web パーツファイルをベースにカスタマイズを加えたものをアップロードして用いることや、Microsoft Visual Studio 2010 で作成したカスタムソリューションの dll をフィーチャーとしてではなく直接グローバルアセンブリキャッシュに登録して使用するようなことも可能ですが、カスタムソリューションの展開状況の管理やバックアップが複雑になってしまうため、ソリューションパッケージとしてカスタムソリューションの展開を行うことを強く推奨します。

ソリューションパッケージを SharePoint に対して展開する方式は 2 つ存在します。カスタムソリューションのバックアップ・リストアの方法は、どちらの展開方式かによって異なります。

- ファームソリューション
ファームもしくは Web アプリケーションレベルで展開する方式。
- サンドボックスソリューション
サイトコレクションレベルで展開を行う方式。

4.2 ファームソリューションのバックアップ・リストア

ここでは、ファームソリューションをバックアップ・リストアする方法について説明します。

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

● ファームソリューションのバックアップ

1. ソリューションパッケージ（.wsp 形式のファイル）をファイルとしてバックアップします。ここでは、別の場所へソリューションパッケージをコピーしておくことで、バックアップとします。



● ファームソリューションのリストア

ファームソリューションは、構成データベースに含まれるため、SharePoint ファームのリストアで同時に復元することが可能です。詳細な手順は、「2.2.1 SharePoint ファームのリストア」を参照してください。ただし、上記手順で正常にソリューションが展開されない場合や、ソリューションのみを個別でリストアしたい場合は、ソリューションの再展開が必要になります。ソリューションの再展開は、下記の手順を参照してください。

1. 別の場所へバックアップしておいたソリューションパッケージ（.wsp 形式のファイル）を、SharePoint サーバーにコピーします。
2. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] - [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。
3. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力し、正常に完了したことを確認します。

Add-SPSolution -LiteralPath <SolutionPath>

```
PS C:\Users\spadmin> Add-SPSolution -LiteralPath "C:\$spbackup\solutions\testWebPart01.wsp"

Name                               SolutionId                           Deployed
----                               -
testwebpart01.wsp                  4df5bbeb-1729-4580-af3c-b17c0c1dd623 False
```

4. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力し、正常に完了したことを確認します。

※ 1 つの Web アプリケーションに展開する場合

Install-SPSolution -Identity <SolutionName> -WebApplication <URLname> -GACDeployment

※ すべての Web アプリケーションに展開する場合

Install-SPSolution -Identity <SolutionName> -AllWebApplications -time <TimeToDeploy>
-GACDeployment

```
PS C:\Users\spadmin> Install-SPSolution -Identity 4df5bbeb-1729-4580-af3c-b17c0c1dd623 -GACDeployment -AllWebApplications
PS C:\Users\spadmin>
```

5. [サーバーの全体管理] サイトで [システム設定] - [ファームソリューションの管理] を選択します。



6. 展開したソリューションパッケージが「展開済み」の状態となっていることを確認します。

The screenshot shows the SharePoint 2010 interface for Solution Management. The top navigation bar includes 'サイトの操作' (Site Actions) and 'システム アカウント' (System Account). The main header displays 'Microsoft SharePoint 2010' and 'サーバーの全体管理 > ソリューション管理' (Server Management > Solution Management). Below the header, a table lists the solutions in the farm. The table has columns for '名前' (Name), '状態' (Status), and '展開先' (Deployment Target). One solution, 'testwebpart01.wsp', is listed with a status of '展開済み' (Deployed) and a deployment target of 'http://sp2010farm-sps/...'. A left-hand menu contains options like 'サーバーの全体管理', 'アプリケーション構成の管理', 'システム設定', '監視', and 'バックアップと復元'.

名前	状態	展開先
testwebpart01.wsp	展開済み	http://sp2010farm-sps/...

4.3 サンドボックスソリューションのバックアップ・リストア

ここでは、サンドボックスソリューションをバックアップ・リストアする方法について説明します。

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

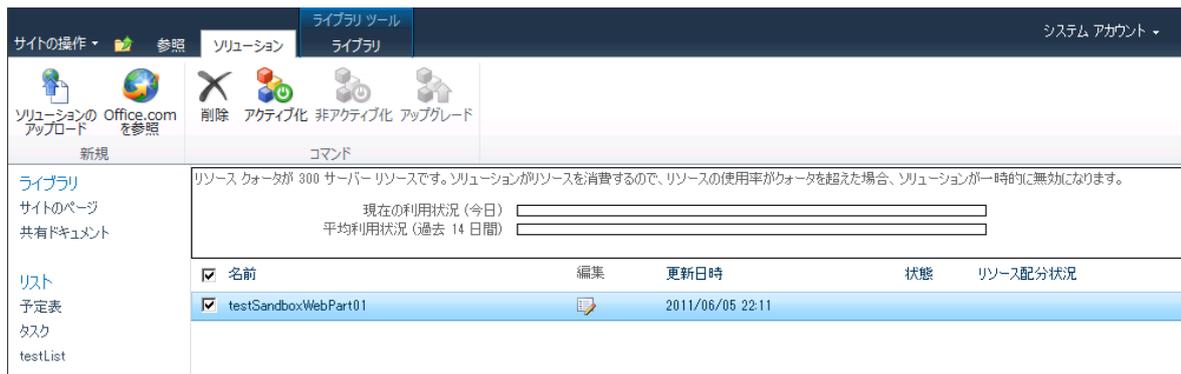
● コンテンツデータベースを用いたサンドボックスソリューションのバックアップ・リストア

サンドボックスソリューションは、コンテンツデータベースに含まれるため、コンテンツデータベースまたは Web アプリケーションのリストアで同時に復元することが可能です。詳細な手順は、「2.2.2 Web アプリケーションのリストア」、「2.2.3 コンテンツデータベースのリストア」を参照してください。コンテンツデータベースのリストア後に、以下の手順を実行してソリューションの状態をアクティブにしてください。

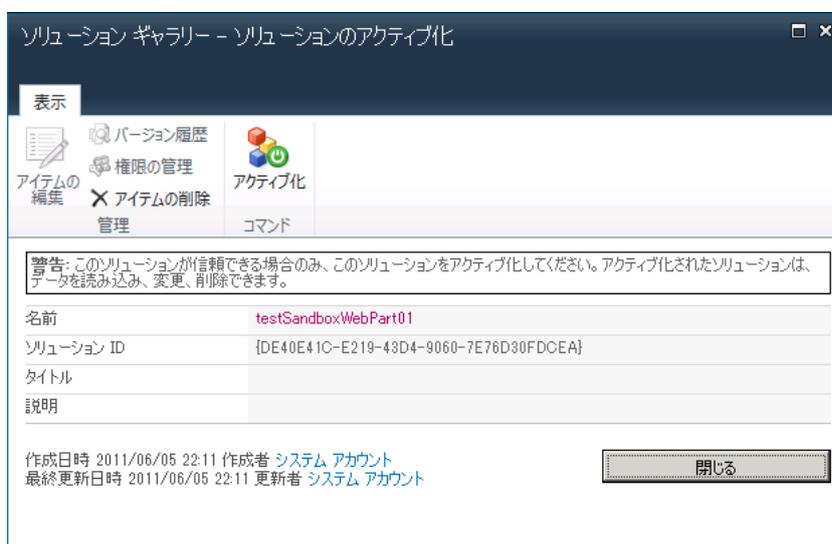
1. Internet Explorer でリストアする対象のサイトコレクションのトップサイトを開き、[サイトの操作] メニューで [サイトの設定] - [ギャラリー] から [ソリューション] を開きます。



2. [ソリューションギャラリー]の画面にて、復旧したいソリューションが表示されていることを確認します。状態が「アクティブ」となっていれば正常に展開がされています。下記の画面のように、状態が空白となっている場合は、そのソリューションのチェックボックスにチェックを入れた状態で、リボンメニューの[ソリューション]から「アクティブ化」をクリックします。



3. [ソリューションギャラリー - ソリューションのアクティブ化]の画面にて、[コマンド]内にある[アクティブ化]をクリックします。



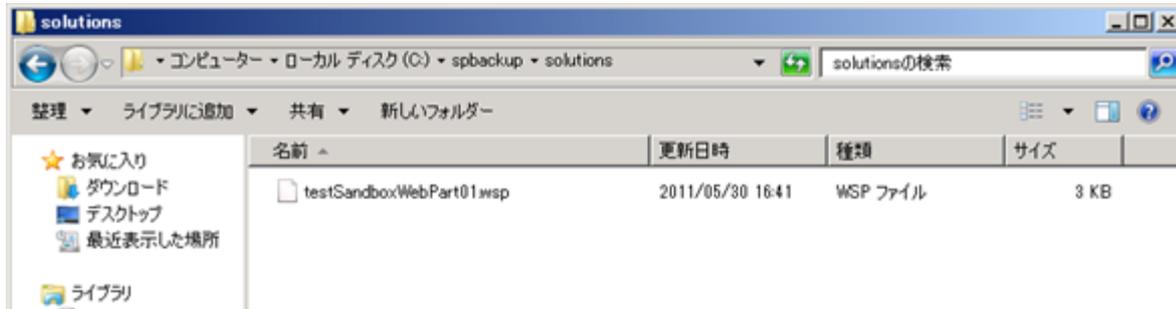
4. 以下の画面にて、展開したソリューションの[状態]列が「アクティブ」と表示されていることを確認してください。



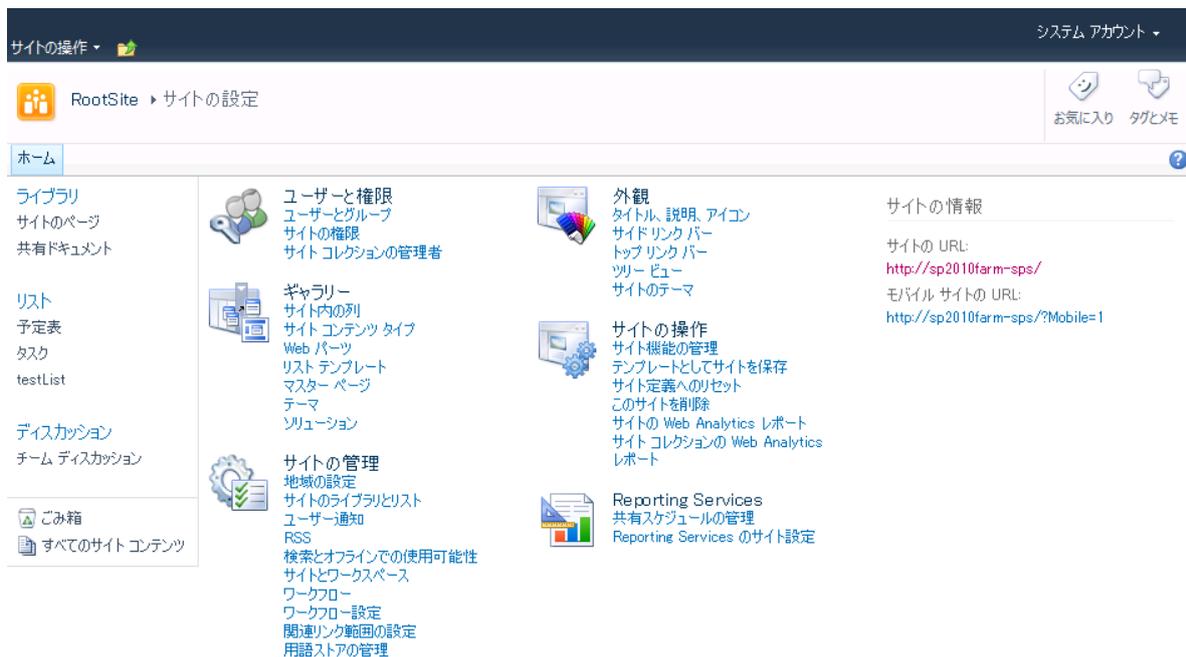
- ソリューションパッケージからの再展開によるサンドボックスソリューションのバックアップ・リストア

上述の通り、サンドボックスソリューションはコンテンツデータベースのバックアップ・リストアで復旧が可能です。何らかの理由で操作が正常に完了しない場合は、ソリューションパッケージからの再展開が必要になります。

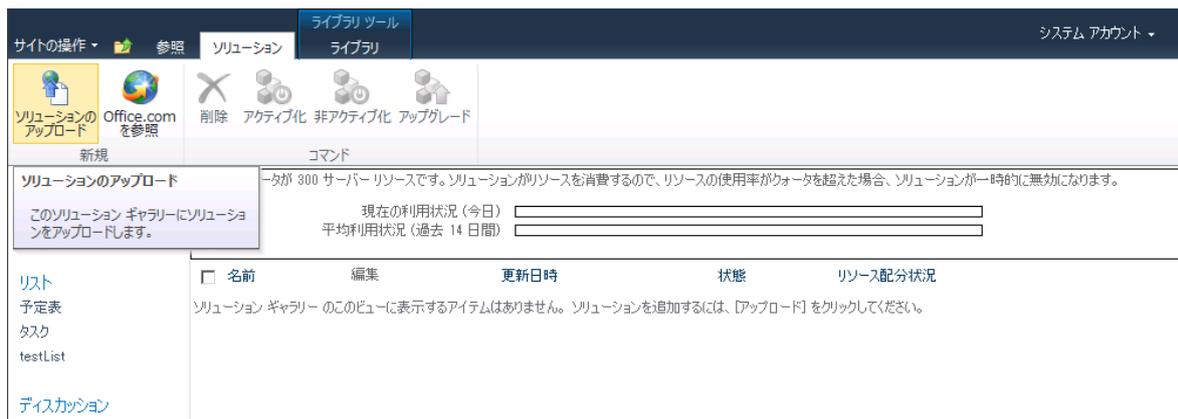
1. ソリューションパッケージ（.wsp 形式のファイル）をファイルとしてバックアップします。ここでは、別の場所へソリューションパッケージをコピーしておくことで、バックアップとします。



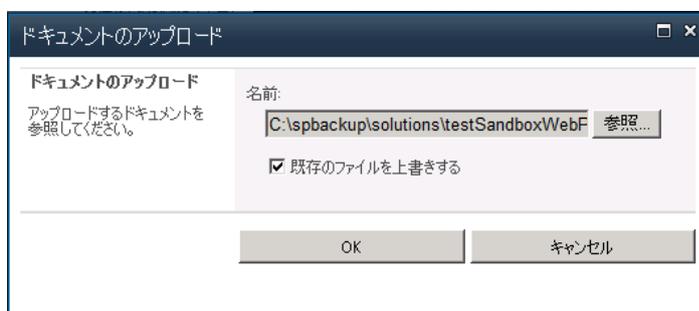
2. 別の場所へバックアップしておいたソリューションパッケージ（.wsp 形式のファイル）を、SharePoint サーバーにコピーします。
3. Internet Explorer でリストアする対象のサイトコレクションのトップサイトを開き、[サイトの操作] メニューで [サイトの設定] - [ギャラリー] から [ソリューション] を開きます。



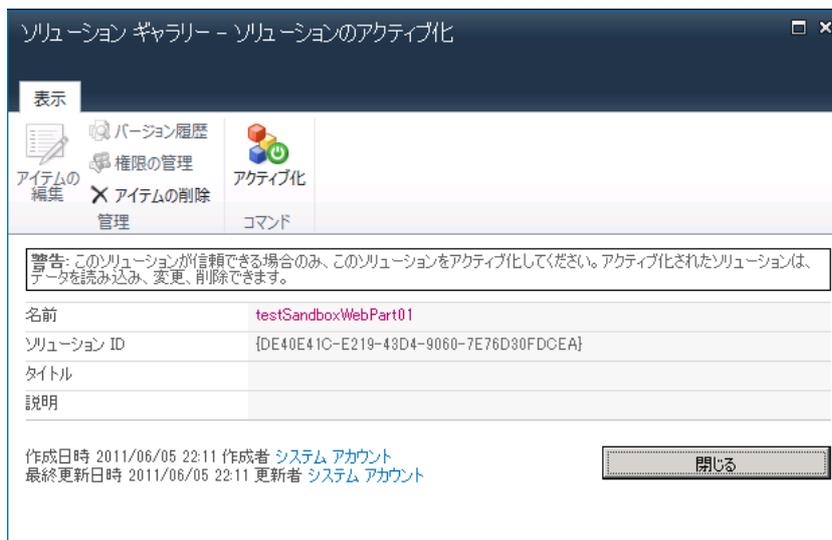
4. [ソリューション]画面にて、リボンメニューの[ソリューション]にある[ソリューションのアップロード]をクリックします。



5. [ドキュメントのアップロード]画面にて、手順 1.でコピーしたソリューションパッケージを選択肢、[OK]をクリックします。



6. [ソリューションギャラリー - ソリューションのアクティブ化]の画面にて、[コマンド]内にある[アクティブ化]をクリックします。



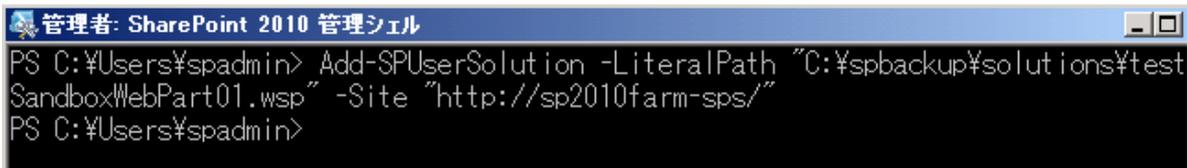
7. 以下の画面にて、展開したソリューションの[状態]列が「アクティブ」と表示されていることを確認してください。



(※) 上述の手順は、Windows PowerShell (コマンド) から行えます。その際の手順は以下のようになります。

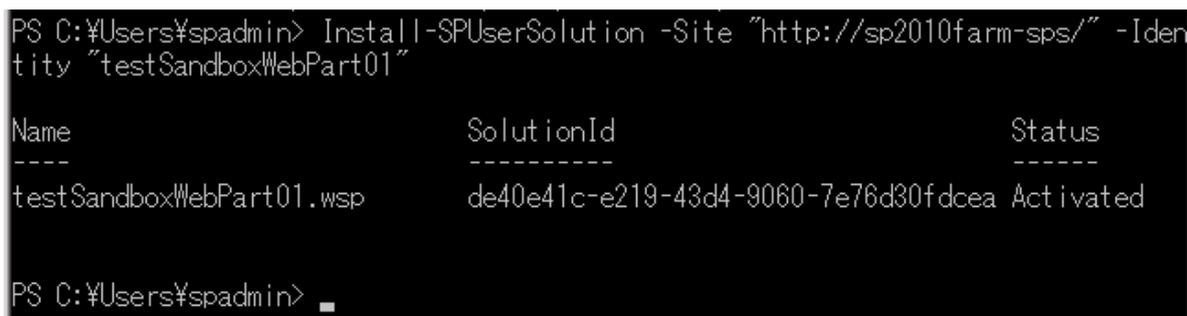
1. 別の場所へバックアップしておいたソリューションパッケージ (.wsp 形式のファイル) を、SharePoint サーバーにコピーします。
2. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。
3. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力し、正常に完了したことを確認します。

```
Add-SPUserSolution -LiteralPath <SolutionPath> -Site <SiteURL>
```

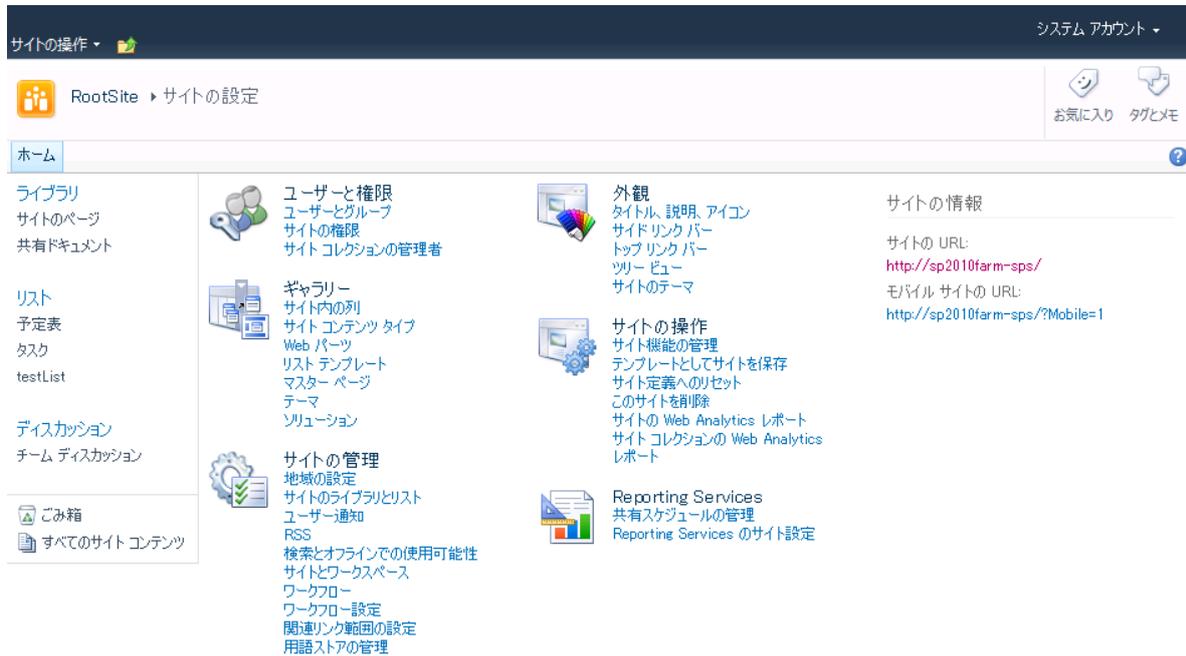


4. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力し、正常に完了したことを確認します。

```
Install-SPUserSolution -Identity <Solution> -Site <SiteURL>
```



5. 手順 2,3 で入力したサイトコレクションを開き、[サイトの設定] から [ギャラリー] – [ソリューション] を選択します。



6. 展開したソリューションが [アクティブ] の状態となっていることを確認します。



Appendix

Appendix1. PowerShell バックアップスクリプトのタスク登録

サーバーの全体管理を利用したバックアップは、必要に応じて即時にバックアップを行いたい場合に使用することができます。定期的にバックアップを実行したい場合、バックアップ用の PowerShell コマンドレットをスクリプトに記述し、タスクスケジューラで定期的に行うことで対応できます。

ここでは、タスクスケジューラを利用したバックアップスクリプトのタスク登録手順について記載します。

ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

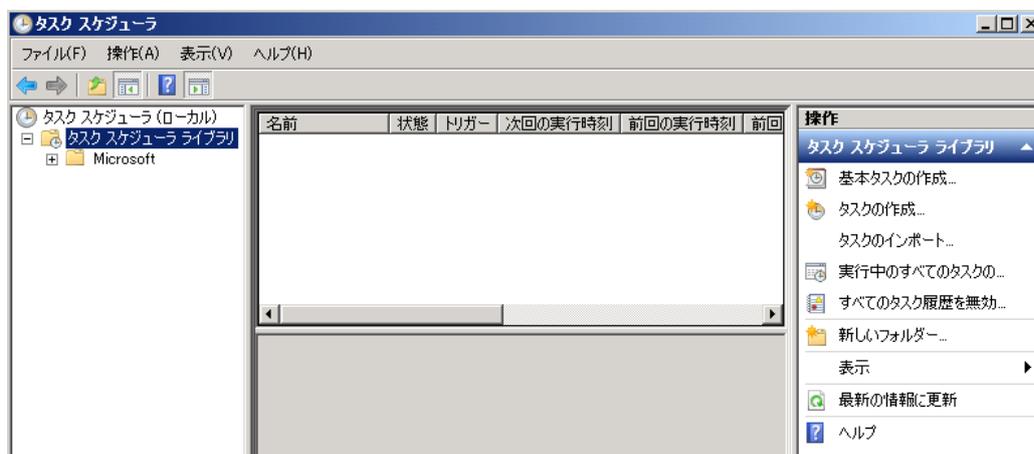
1. バックアップ用の PowerShell スクリプトを作成し、スクリプトファイル（“.ps1”形式のファイル）として保存します。

※ PowerShell による詳細なスクリプト作成方法に関しては、下記のサイトを参照してください。

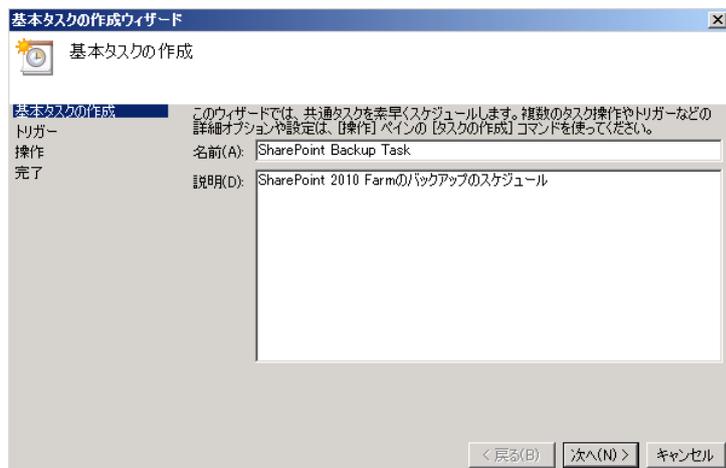
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/scriptcenter/dd742419>

2. 【タスク スケジューラ】を起動します。

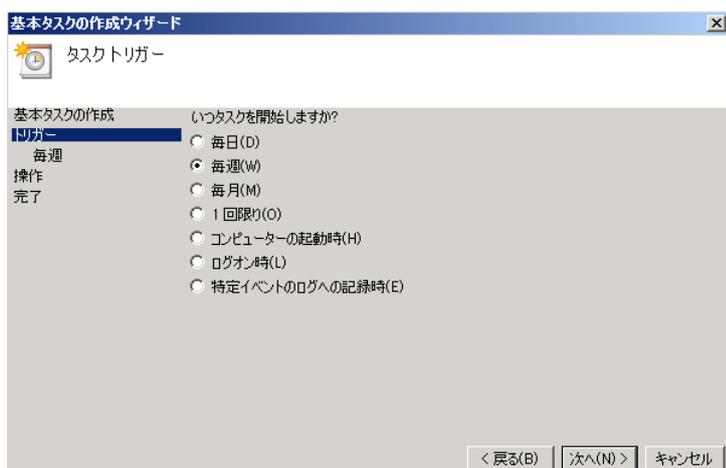
3. 【操作】 ウィンドウから【基本タスクの作成】を選択します。



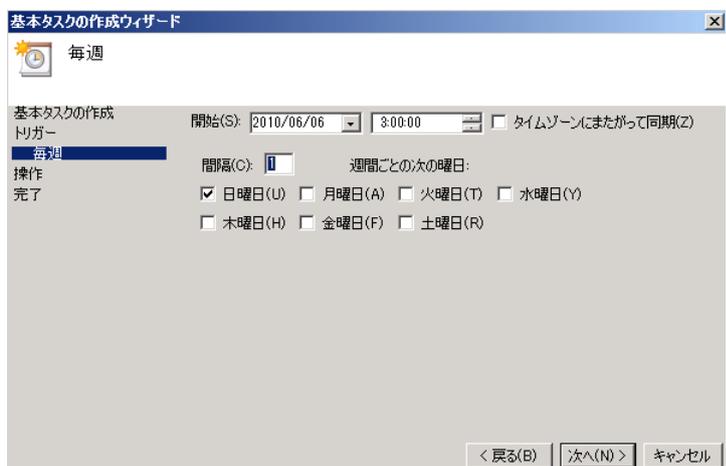
4. **【基本タスクの作成】** タブで **【名前】** と **【説明】** を入力し、**【次へ】** をクリックします。



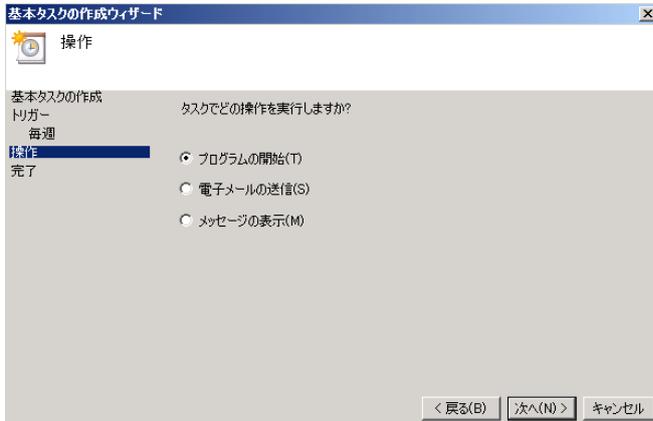
5. **【トリガー】** タブでタスクの開始条件を設定し、**【次へ】** をクリックします。



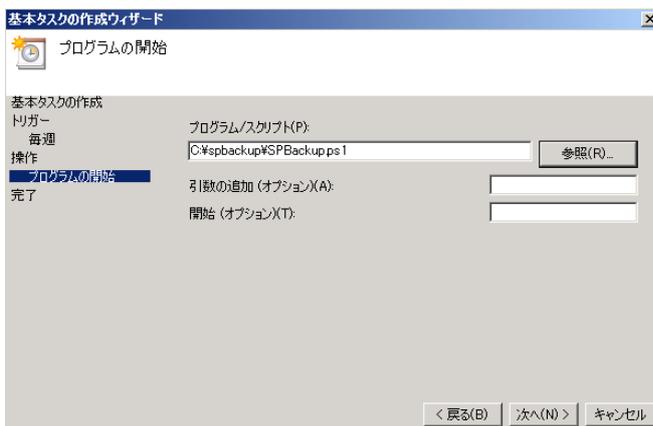
ここでは、**【毎週】** を選択しています。その場合は、**【毎週】** タブで開始日時、実行間隔を設定し、**【次へ】** をクリックします。



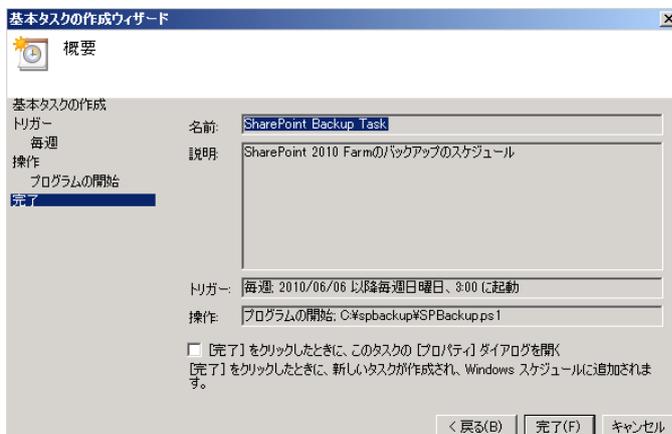
6. **【操作】** タブで実行する操作として **【プログラムの開始】** を設定し、**【次へ】** をクリックします。



7. **【プログラムの開始】** タブで、手順 1. で作成したバックアップ用の PowerShell スクリプトファイル（“.ps1”形式のファイル）を指定し、**【次へ】** をクリックします。



8. 設定内容を確認し、**【完了】** をクリックします。



Appendix2. 接続されていないコンテンツデータベースの復元

SharePoint 2010 には、SQL Server 上に存在するが SharePoint Web アプリケーションとは関連付けられていないコンテンツデータベースに接続し、そこに含まれるコンテンツを復元する機能が用意されています。復元までの流れは、まず接続したコンテンツデータベースから対象のコンテンツのバックアップファイルを作成し、次にそのバックアップファイルを元に、これまでの章で説明したリストア手順を行うことで対象の SharePoint ファーム内に復元する、という仕組みになっています。この機能を利用することで復元することのできるコンテンツは、以下の 3 種類です。

- サイトコレクション : サイトコレクションのバックアップ機能で取得されると同様の形式のバックアップファイルが作成され、それを元にサイトコレクションの復元機能を使用して復元します。
- サイト : サイトのエクスポート結果と同様の形式のバックアップファイルが作成され、それを元に対象のサイトコレクションに対してインポートして復元します。
- リストとライブラリ : リストやライブラリのエクスポート結果と同様の形式のバックアップファイルが作成され、それを元に対象のサイトコレクションに対してインポートして復元します。

本章では、非接続コンテンツデータベースの復元機能を利用した復元方法について記載します。

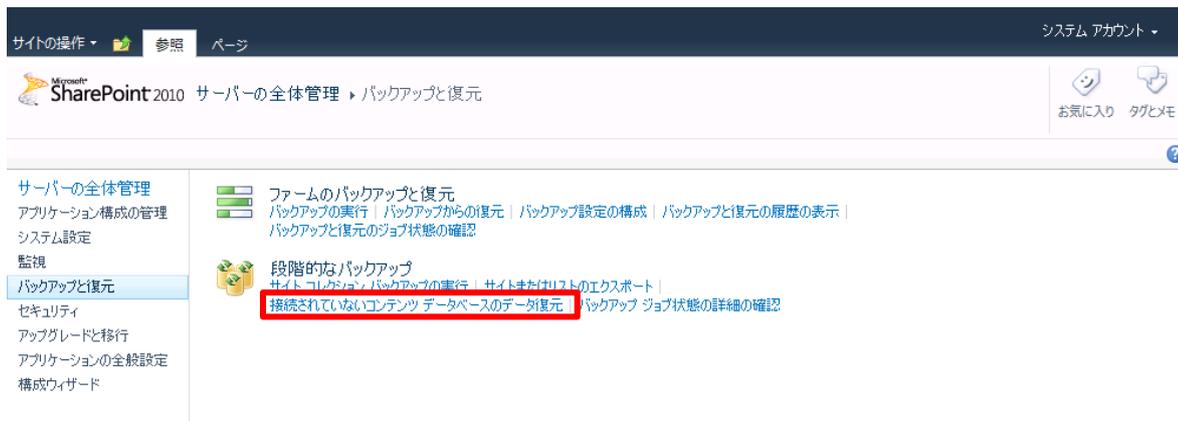
ここでは、以下のアカウントを使用します。

- アカウント名 : contoso¥spadmin
- 権限 : SharePoint サーバーのローカル Administrators グループのメンバー
SharePoint サーバーの Farm Administrators グループのメンバー

1. サーバーの全体管理サイト上で、【バックアップと復元】を選択します。



2. 「接続されていないコンテンツデータベースの復元」をクリックします。



3. 「接続されていないコンテンツデータベースの復元」画面で、「データベース名と認証」、「実行する操作」を設定します。

ここでは、以下のように設定します。

- 「データベース名と認証」-データベースサーバー : 「SP2010FARM-SQL」
- 「データベース名と認証」-データベース名 : 「WSS_Content2」
- 「データベース名と認証」-データベースの認証 : 「Windows 認証 (推奨)」
- 「実行する操作」 : 「サイトコレクションのバックアップ」



設定後、画面下部の「次へ」をクリックします。

4. 「サイトコレクションのバックアップ」画面で、復元するサイトコレクション、ファイルの場所を入力します。

ここでは、以下のように設定します。

- [サイトコレクション] : 「http://sp2010farm-sps:5555/sites/teamsite02」
- [ファイルの場所] : 「sp2010farm-sps¥spbackup¥testsite02」
- [ファイルの場所] - 既存ファイルの上書き : (チェックなし)



設定後、画面下部の【バックアップの開始】をクリックします。

5. バックアップが完了したことを確認します。



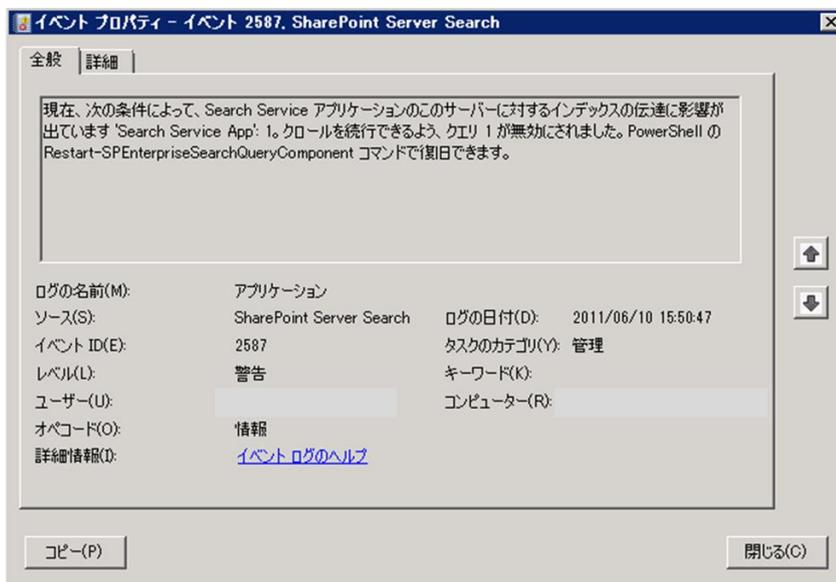
6. 手順 4 で指定した場所へサイトコレクションのバックアップファイルが作成されます。このバックアップファイルから復元を行うことができます。復元方法は「2.2 章 SharePoint Server 2010 標準機能を利用したリストア」を参照してください

い。

Appendix3. 障害によりクエリコンポーネントが認識されなくなった際の復元手順

SharePoint 2010 では、Search Service Application のトポロジ上で、クエリコンポーネントに 2 台以上割り当てることが可能です。何らかの障害で 1 つ以上のクエリコンポーネントがオフライン状態として認識されてしまった場合、以下の手順で復旧することが可能です。

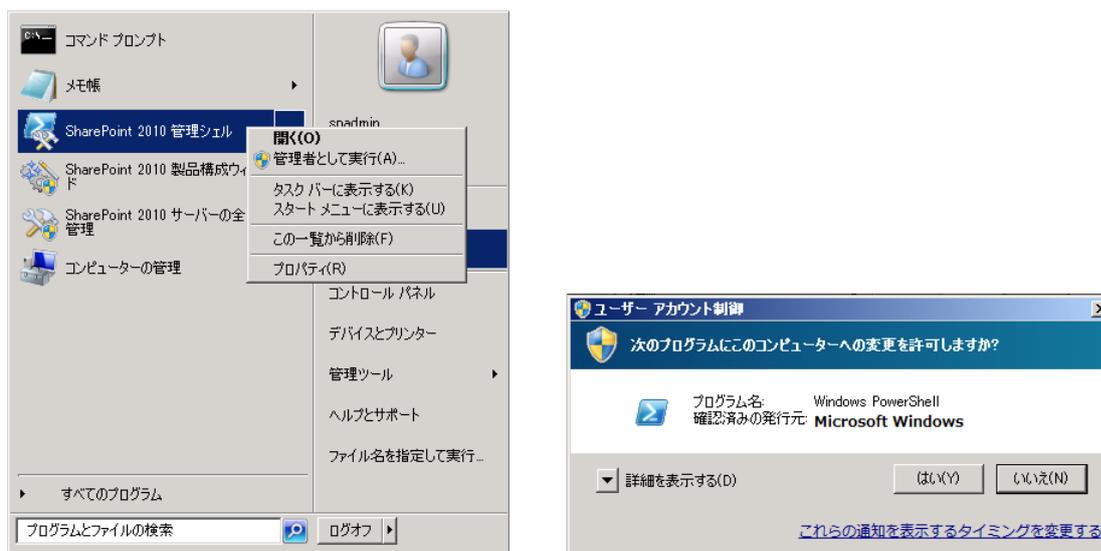
クエリコンポーネントがオフラインになっている場合、サーバーのイベントビューアーから[Windows ログ] – [アプリケーション ログ]内に下記のようなイベントが記録されます。



またクエリコンポーネントがオフラインの状態のときは、Search Service Application の管理画面において、下記のように伝達状態が「クエリサーバーから応答なし」と表示されます。

サイトの操作		参照	ページ
Microsoft SharePoint 2010 サーバーの全体管理 ▶ Search Service App: 検索管理			
管理	システムの状態		
検索管理	クロールの状態	オンライン (クローリング可能)	
ファームの検索管理	バックグラウンドの処理	なし	
	最新のクローリング レート	1 秒あたり 0.00 アイテム	
	検索可能なアイテム	38	
	最新のクエリ レート	1 分あたり 0.00 クエリ	
	伝達状態	クエリ サーバーから応答なし (7f632d0c-dfed-4003-ba77-7120f93eb1b2-query-1)	
	既定のコンテンツ アクセス アカウント		
	連絡先の電子メール アドレス		
	プロキシ サーバー	なし	
	範囲更新状態	アイドル	
	範囲更新スケジュール	自動的にスケジュール	
	更新する必要がある範囲	0	
	検索通知の状態	オフ 有効	
	クエリ ログ	オン 無効	
クエリと結果			
優先するページ			
フェデレーション対象			

1. [スタート] メニューで [すべてのプログラム] – [Microsoft SharePoint 2010 製品] から [SharePoint 2010 管理シェル] をクリックします。[ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[はい] を選択します。



2. Windows PowerShell コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
Restart-SPEnterpriseSearchQueryComponent [-Identity] <QueryComponentPipeBind>
[-AssignmentCollection <SPAssignmentCollection>] [-Confirm [<SwitchParameter>]]
[-QueryTopology <QueryTopologyPipeBind>] [-SearchApplication
<SearchServiceApplicationPipeBind>] [-WhatIf [<SwitchParameter>]]
```

ここでは、Restart-SPEnterpriseSearchQueryComponent コマンドに必要な QueryComponent を取得するために、Get-SPEnterpriseSearchServiceApplication、

Get-SPEnterpriseSearchQueryTopology、Get-SPEnterpriseSearchQueryComponent コマンドを使用し、オフライン状態となっているクエリコンポーネントを確認します。

```
管理: SharePoint 2010 管理シェル
PS C:\> $SearchApp = Get-SPEnterpriseSearchServiceApplication
PS C:\> $Topology = Get-SPEnterpriseSearchQueryTopology -SearchApplication $SearchApp
PS C:\> $Component = Get-SPEnterpriseSearchQueryComponent -QueryTopology $Topology
PS C:\> $Component

警告: 列 "IndexLocation" は表示に収まらないため、削除されました。

Name                               ServerName      Failover0 Sta
----                               -
7f632d0c-dfed-4003-ba77-7120f93ebfb2-query-1  KKMCSIW-2010B  False      Off
7f632d0c-dfed-4003-ba77-7120f93ebfb2-query-0  kmcsiw-2010    False      Rea

PS C:\> _
```

上記画面では、1 つ目のクエリコンポーネントがオフラインになっていることがわかるので、そのコンポーネントをパイプで Restart-SPEnterpriseSearchQueryComponent に受け渡して実行します。

```
PS C:\> $Component[0] | Restart-SPEnterpriseSearchQueryComponent _
```

3. コンポーネントが正常に再開されたことを確認します。

インデックス パーティション - 0 - kmcsiw-2010*Search_Service_App_PropertyStoreDB_21b209b1d66c4f84bbd85b1e07ab323d			
クエリ コンポーネント 1		KKMCSIW-2010B	回復中
クエリ コンポーネント 0		KKMCSIW-2010	オンライン